



第53回 日本植物生理学会年会

会 期：2012年3月16日(金)～18日(日)

会 場：京都産業大学
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

懇親会：京都産業大学8号館

■ Contents

会場までの主要交通機関

構内案内図

会場案内図

1. 参加登録受付
2. 昼食案内
3. クローク
4. 保育室
5. 発表される方へ
6. アプリケーションでの要旨集の閲覧について
7. ネットワークについて
8. 座長の方へ
9. 特許
10. 禁止事項
11. 年会中の連絡方法
12. ミキサー

13. 懇親会
14. 年会特別企画「高校生生物研究発表会」
15. ランチョンセミナー
16. 関連集会
17. 学会関連委員会
18. 授賞式・受賞講演

日程表

シンポジウム

学会賞授賞式・受賞講演

関連集会

本部企画／PCP特別企画

一般講演（口頭）

一般講演（ポスター）

座長リスト

第53回日本植物生理学会年会委員会

委員長	長谷あきら
副委員長	西村いくこ
総務	鹿内利治
会計	西村いくこ／鹿内利治
ミキサー・懇親会	田村謙太郎
プログラム委員	鹿内利治
シンポジウム	長谷あきら
プログラム編成	槻木竜二／望月伸悦／鈴木友美／西村芳樹／上田晴子／山岡尚平
関連集会	長谷あきら
高校生発表	小山時隆
会場	嶋田知生／本橋健／桶川友季／槻木竜二／望月伸悦／鈴木友美／西村芳樹／上田晴子／山岡正平／田村謙太郎

会場までの主要交通機関



京都産業大学までの交通案内

◎京都市営地下鉄烏丸線

JR京都駅 — 20分 — 国際会館

◎京都バス

地下鉄国際会館駅前 — 9分 — 京都産業大学前

地下鉄国際会館駅前 ~ 京都産業大学前
往路/復路とも増便を京都バスに依頼しております。

往路 国際会館駅前から京都産業大学方面ゆきのバスは、大会期間中8~9時代には概ね5分ごとに便を予定しています。

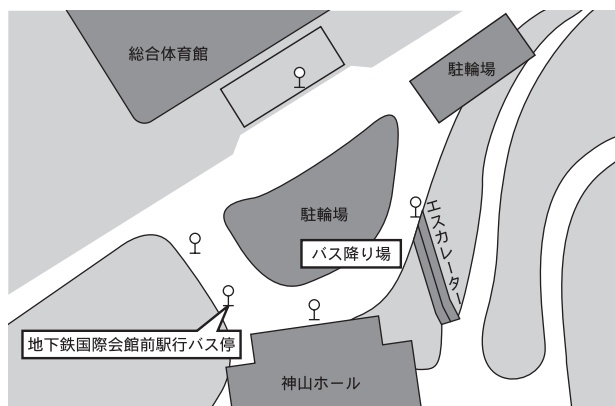
復路 京都産業大学前から発表終了時刻や懇親会、本部企画シンポジウム終了時刻に併せて国際会館駅前ゆきの増便をお願いしております。

地下鉄国際会館駅前~京都産業大学前間のバスの運賃は190円です。支払い時に混雑しないように小銭をご用意くださいますようにご協力下さい。

他にも京都産業大学への交通手段はございますが、京都バスに増便を依頼しておりますので、上記交通手段をご利用下さい。また、交通渋滞の影響が少ない上記アクセス方法をお勧めいたします。



地下鉄国際会館駅前バス停図



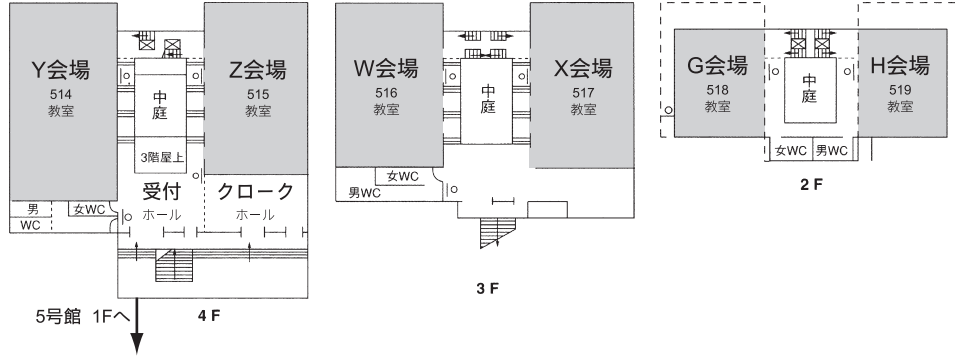
京都産業大学前バス停図

構内案内図

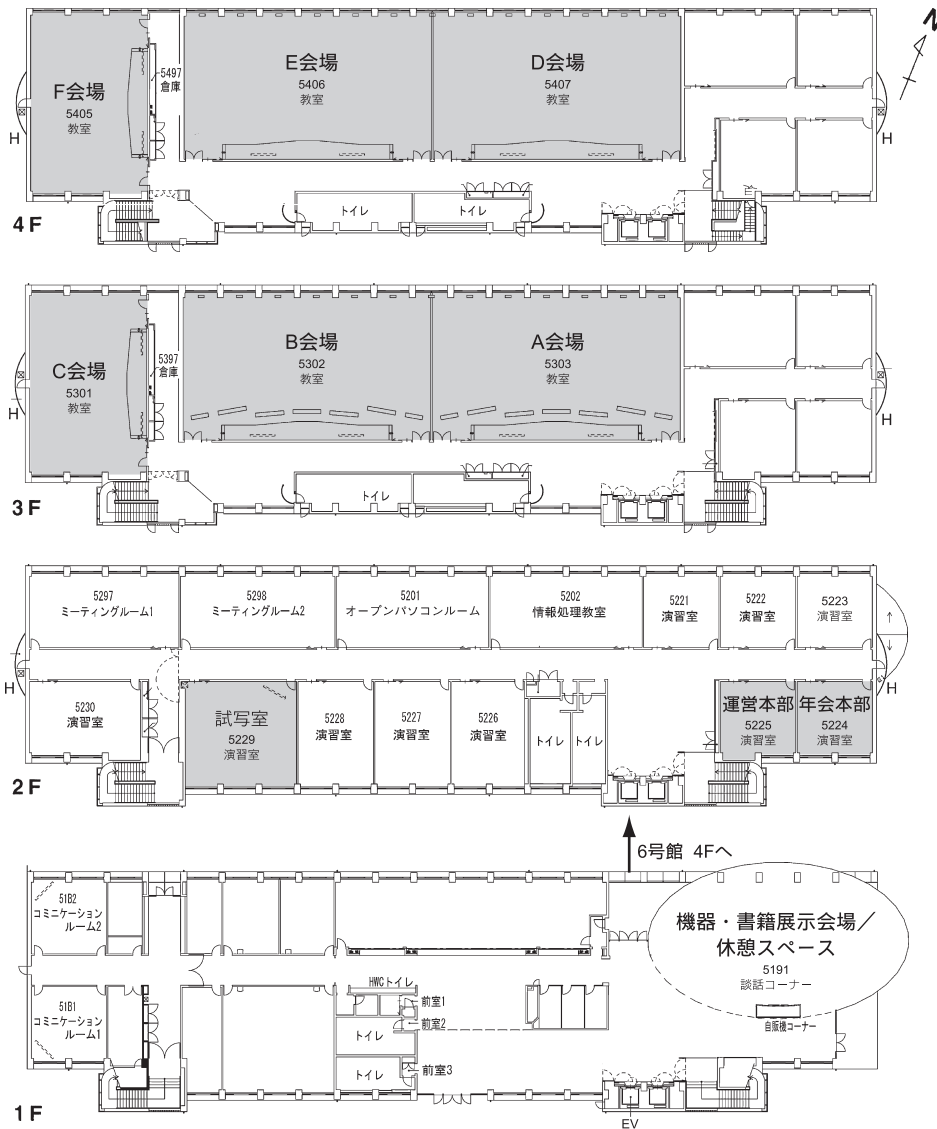


会場案内図

6号館



5号館



1. 参加登録受付

- 1) 3月16日(金)午前8時30分より、京都産業大学6号館4Fにて行います。受付の混雑を緩和する手だてを考えてはおりますが、それでも一般講演が始まる午前9時30分ごろは混雑が予想されます。特に、初日午前すぐの時間帯に発表予定の方は早めに受付を済ませてください。
- 2) 予約参加登録済みの方は、「予約参加受付」で参加受付を行ってください。
- 3) 参加申込みをしていない方(参加費を納入していない方)は、「当日参加受付」で参加手続きをしてください。当日参加の参加費等は、次の通りです。

なお事前参加登録手続きのみ行い、参加費をお払いされていない方につきましてはオンライン登録の有無に関わらず当日参加費を申し受けます。

当日年会参加費(講演要旨集代金を含む)

通常会員	10,000円
学生会員	6,000円
非会員	13,000円
懇親会費(一律)	5,000円
講演要旨集のみ	5,000円

- 4) 会場内では、常時名札を着用してください。年会委員会では随時、名札の確認を行います。
- 5) 会員・非会員を問わず、大学学部3年生以下の学生と中学校・高等学校の教員・生徒は無料で参加できます。「当日参加受付」にて身分証明書を提示し、名札を受け取ってください。無料参加者には要旨集は配布しませんが、プログラムが印刷された学会通信を先着100名に配布します。また、要旨集は会場受付とポスター会場で閲覧できます。

2. 昼食案内

年会期間中はキャンパス内で下記の食堂が臨時営業しています。なお会場周辺には飲食店等はありません。

・8号館 2階 キッチンみつばち / 3階 リブレ

営業時間 11:00～14:00(場所につきましては、構内案内図でご確認ください。)

3. クローク

クロークは京都産業大学6号館4F 受付のそばに設けます。ご利用時間帯は以下の通りです。夜間の保管はいたしませんので、必ずその日のうちに荷物をお引取り下さい。また、貴重品の入ったお荷物はお預かりできません。

1日目 3月16日(金) 9:00～18:00

2日目 3月17日(土) 8:30～17:00

3日目 3月18日(日) 8:30～18:00

4. 保育室

開催期間中の3月16日(金)～18日(日)、乳幼児同伴者のための保育室を開設いたします。保育は、年会会場となっております京都産業大学キャンパス内で行います。

場所：京都産業大学キャンパス内

時間：開催期間中、8:30～17:30

5. 発表される方へ

日本植物生理学会国際委員会より、年会の国際化を促すため口頭発表・ポスター発表とも、図表は英語で作るよう提言が出されております。その後、さらに発表形式について年会・国際化対応WGで検討しており

ましたが、京都年会の発表については下記のような指針にそって図表を作成していただきますようお願いいたします。また、図表の作成に当たっては、「色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法」のサイト <http://www.nig.ac.jp/color/> をご参照下さい。

- ①口頭発表で映写する資料の使用言語は英語とする。最後に簡潔な英語のまとめのスライドを用意する。口頭発表は英語で行うことも可とする。
- ②ポスターの言語は基本的に英語として、日本語の要約をつける。

1) 一般発表をされる方へ

①発表者の資格について

会則7条3項に、年会の研究発表者は本会会員に限ると定められています。発表者が本会の非会員である場合は発表前に入会手続きをお取り下さい。

②発表形態のご確認について

一般発表の形態（ポスターか口頭発表）については、発表申し込み時のご希望に添うように年会委員会で最終決定をさせて頂いています。決定の結果をプログラムでご確認の上、発表のご準備をお進め下さい。

③ポスター発表について

ポスターパネルは、幅90 cm×高さ210 cm（床まで）です。ポスター貼り付けのためのピンは年会側で用意いたします。幅90 cm未満、高さ120 cm前後のポスターを用意ください。

ポスターの掲示・撤去

- ・前半の部で発表される方（演題番号PFで始まる方）は、1日目の9時30分から12時30分までに掲示し、2日目の9時から12時までに撤去してください。この時間以降に掲示してあるポスターについては、年会委員会で撤去させていただきます。
- ・後半の部で発表される方（演題番号PLで始まる方）は、2日目の12時から16時までに掲示してください。撤去は、3日目の17時30分までをお願いします。それ以降に掲示してあるポスターについては、年会委員会で撤去させていただきます。

質疑応答

- ・前半の部のポスターの発表者は、1日目の16:30～18:30に、演題番号 ①奇数 ②偶数 の順番で1時間ごと
- ・後半の部のポスターの発表者は、3日目の13:00～15:00に、演題番号 ①奇数 ②偶数 の順番で1時間ごと

それぞれのポスター前にて質疑応答を行ってください。

④口頭発表について

口頭発表についての注意事項：

- ・口頭発表は質疑応答を含めて15分を予定しています。時間に沿った進行のため、12分の発表と2分30秒の質疑応答を目安にしてください。
- ・発表には液晶プロジェクターのみが使用できます。会場内によってはスクリーンが複数ありますが、複数のプロジェクターによる同時投影はできません。
- ・年会委員会では発表用のパソコンは用意いたしませんので、発表者は各自でご用意ください。
- ・発表に先立って、パソコンからの投影を試写室で必ず行い、作動確認をお願いします。試写室は5号館2階5229演習室に設けます。
- ・前演者が発表を終了するまでに、ファイルを開いておいてください。
- ・外部モニターの認識にリスタートが必要なパソコンの場合には予めリスタートしておいてください。また、接続はミニDsub15ピン外部出力コネクタを介して行いますので、マッキントシュ iBook・ソニー Vaio等、特殊な接続アダプターが必要な場合は、各自でご持参願います。

- ・機器の操作に補助が必要な場合は演者ご自身で補助者を手配してください。
- ・発表される方は演台に用意してあるケーブルを使用し、差し終えた状態で外部モニター出力に切り替えてください。終了時には次の演者用にコネクターを外してもとの位置へ戻しておいてください。

2) シンポジウム講演者の方へ

シンポジウムでの講演は、講演時間の長さが異なるほかは一般講演の口頭発表と同様に行われます。その他の必要な事項についてはシンポジウムのオーガナイザーにご確認をお願いいたします。

6. アプリケーションでの要旨集の閲覧について

今年会より、年会要旨集の携帯端末用アプリケーションを配布いたします。アプリケーションはiOS版とAndroid版があり、対応するスマートフォンやタブレット等で要旨集が閲覧できるようになります。利用される方はApp StoreならびにAndroidマーケットからダウンロードしてください（ファイルサイズが大きいいため、App StoreからのダウンロードはWi-Fiに接続するか、PCからiTunes経由でインストールする必要があります）。ダウンロードは3月9日（金）以降に可能となる予定です。アプリケーションの閲覧の際には、Plant & Cell Physiology Vol. 53 No. 1に同封の、オンラインジャーナル閲覧用のPasswordをご利用ください。要旨の閲覧は会員のみ可能です。

7. ネットワークについて

年会会場内では無線LANが使用できます。ご希望の方は総合案内にお申し出ください。IDとPWをご案内いたします。ただし、ID数が十分とは言えませんことをご承知おき下さい。

8. 座長の方へ

座長をお引き受けの方は、担当時間の15分前には会場に集合して下さい。担当される方々で、分担を決めて下さるようお願いいたします。年会の前にご相談の上、分担を決めて下さっても結構ですが、開始前に集合して確認するようお願いいたします。

9. 特許

これまで日本植物生理学会年会において発表された内容について当学会が発表証明書を発行していました。しかし、平成22年3月の「発明の新規性喪失の例外規定の適用を受けるための出願人の手引き」の改定により、現在は当該証明書を必要とする場合はないものと考えられます。（詳しくは、http://www.jpo.go.jp/shiryou/kijun/kijun2/pdf/reigai/30jo_qa_shu.pdf#page=9 を参照下さい。）そこで、本年会においては当学会による発表証明書の発行は行わないことといたします。宜しくご承知おきください。

10. 禁止事項

発表内容について、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを禁止します。

11. 年会中の連絡方法

- ・年会本部への連絡の方法

3月15日（年会前日）午後～18日（年会3日目）の年会本部へのご連絡やお問い合わせはe-mail（jspp2012@nacoss.com）をご利用下さい。

- ・年会参加者への連絡方法

年会参加者等への伝言は受付付近の「伝言板」に掲示します。会場内での呼び出し等はいりません。また、「伝言板」は年会参加者相互の連絡にも自由にご利用下さい。

12. ミキサー

年会1日目（16日）のセッション終了後に8号館3階にて、ミキサーを行いますので、ぜひご参加ください。

13. 懇親会

年会2日目の3月17日（土）18:30から8号館2F食堂で開催しますので、ぜひご参加ください。

14. 年会特別企画「高校生生物研究発表会」

年会委員会では、高校生の理科教育のレベルアップに貢献するとともに、高校生の皆さんに植物生理学会の存在を印象づけることを通して、将来一人でも多くの植物生理学者が誕生することを目指し、年会特別企画「高校生生物研究発表会」を開催いたします。生徒の皆さんの発表に学会員各位が積極的に参加し、議論をしてくださるようお願いいたします。高校生ポスター発表プログラムは別冊子として配付いたします。

日 時：年会3日目 3月18日（日） 12:30～16:00

会 場：神山ホール

主 催：第53回日本植物生理学会年会委員会

12:30～13:00 ポスター受付・掲示

13:00～13:10 開会式

13:10～14:30 ポスター説明および質疑応答、優秀ポスター投票

15:30～16:00 表彰式・閉会式

15. ランチョンセミナー

◆男女共同参画キャリアパスセミナー

「科学を支える情熱は、ジェンダーを越えて、海を越えて」

日 時：年会2日目 3月17日（土） 12:00～13:00（スケジュールの詳細は p.53 をご覧ください）

会 場：B会場 5号館5302教室

講 師：吉田 聡子（RIKEN PSC）、大坪 久子（元日本大学総合科学研究所・教授、日本大学薬学部薬学研究所・首席研究員、上智大学女性研究者支援WG・アドバイザー）、田澤 仁（東京大学名誉教授）

※200名様にお弁当とお茶を準備いたします。セミナー当日の8時30分より、引換整理券を学会本部受付で配布いたします。

◆植物研究開発のプラットフォームと実用化に向けて

1. 植物研究開発のプラットフォームについて～研究の基礎から応用に網羅したトータルサービス～
弊社のコンセプトである植物開発プラットフォームをご紹介します。植物研究の基礎から応用までの、あらゆるニーズに対応したサービスについてご説明と、最新サービス・メタボローム解析受託についてのご案内。
2. 眠っている研究成果の実用化までの手順について～特許の実用化～
研究機関や大学にて特許を取得された研究成果の製品化・実用化までの流れを、ライセンス契約や委託製造に必要な大臣承認の取得などの具体的な工程を実例と共にご紹介します。

日 時：年会2日目 3月17日（土） 12:00～13:00

会 場：E会場 5号館5406教室

講 師：菊崎綾子、中澤悠宏（株式会社インプラントイノベーションズ）

主 催：株式会社インプラントイノベーションズ

※事前予約を受け付けております。 <http://www.inplanta.jp/?p=1159> からお申込下さい。

※事前予約で100名に満たない場合は、セミナー当日の8時半から株式会社インプラントイノベーションズの展示ブースにて整理券を配布いたします。

- ◆PCP特別企画：①PCP ランチョンセミナー「ジャーナル出版の裏事情：PCP の上手な活用法」
②PCP表紙コンテスト・授賞式（日本語）

日 時：3月18日（日） 12:15～12:55（スケジュールの詳細は p.55 をご覧ください）

会 場：C会場 5号館5301教室

内 容：①今年着任された山谷知行 PCP 新編集長のご挨拶に続きまして、PCP Managing Editor の Liliana Costa とオックスフォード大学出版局の的場美希部長より、PCP の出版体制や植物学領域において強まる国際的競争力についてお話しします。また、科学論文を執筆・投稿する際のヒント、論文出版の仕組みをわかりやすくご説明、植物学領域における世界の論文出版状況を解説いたします。今後の論文投稿の際にお役立てください！

②第4回 PCP 表紙コンテストを3月1日より開催致します。2011年に出版された第52巻1～12号のなかから1番人気の表紙を選び、PCP ランチョンセミナー冒頭で結果発表並びに授賞式を執り行います。

* PCP表紙コンテストについて

PCP各号では、掲載論文の中から選ばれた優れた画像を表紙イメージとして採用、デザインして出版しています。今後も更にインパクトのある表紙作りを目指していくために、ぜひ皆様にも優れた画像を投稿していただきたく、そしてこれまで投稿して下さった著者の皆様に感謝の気持ちをこめて、表紙コンテストを毎春開催しております。オンライン投票サイト、または会場の投票箱にて、2011年出版号のお気に入りの表紙に、ぜひご投票ください。

【投票期間】

オンライン：3月1日（木）～16日（金）

会場：3月16日（金）～17日（土）正午まで

【投票場所】

オンライン：<http://www.surveymonkey.com/s/JSPPNews>

会場：オックスフォード大学出版局 展示ブース

お問い合わせ：オックスフォード大学出版局 マーケティング部 (marketing.japan@oup.com)

16. 関連集会

- ◆植物生理若手の会2012「植物を中心とした生物間情報ネットワーク」

日 時：年会1日目 3月16日（金） 18:30～21:05（スケジュールの詳細は p.52 をご覧ください）

会 場：C会場 5号館5301教室

内 容：自然環境において植物は多種多様な生物と相互作用しながら生育している。そして、これら相互作用は植物に恩恵を授けたり、時には甚大な被害を与えたりする。この生物間情報ネットワークの解明は、自然環境における植物の生育を理解する上で重要なだけでなく、作物の収量向上などに道を切り拓く極めて重要な研究課題です。本年度の講演会では、寄生植物による植物—植物間ネットワーク、植物病原菌による植物—微生物間ネットワーク、植物—昆虫間ネットワークをテーマに、様々な視点からの議論を行いたいと思います。

今年度の講演会では特別講演といたしまして、出芽酵母・植物の機械刺激受容チャネル研究の第一人者である東京学芸大学の飯田秀利先生にこれまでの御研究、今後の展望についてお話戴きます。

夕刻よりの開催ですが、皆様の御参加をお待ち申し上げます。

事前登録は不要ですが、例年通り御弁当を一括注文いたしますので、希望される方は責任者までメール (jsppmeeting@yahoo.co.jp) にてご連絡願います。

- ◆第14回植物オルガネラワークショップ「植物オルガネラ研究のマイルストーン」

日 時：年会前日 3月15日（木） 13:00～18:10（スケジュールの詳細は p.51 をご覧ください）

会 場：京都大学 北部総合教育研究棟1階 益川ホール

内 容：上記のワークショップを第53回日本植物生理学会年会のサテライトとして開催します。ワークショップへの参加は無料です。また、ミキサへの参加費は3,500円（予定）で、当日会場にて徴収します。ワークショップおよびミキサへの参加希望者は3月8日（木）までに次のホームページよりお申し込み下さい（要旨集の部数などの参考にします）。当日参加も歓迎します。

<http://sfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/pctech/workshop>

連絡先：楠見健介（九州大学）E-mail: kkususcb@kyushu-u.org

西村芳樹（京都大学）E-mail: yoshiki@pmg.bot.kyoto-u.ac.jp

◆本部企画シンポジウム

「実験に用いる生物材料（遺伝子組換え生物を含む）の入手・利活用を巡る手続き・規制に関する最近の状況」

日 時：年会3日目 3月18日（日） 15:15～17:30（スケジュールの詳細は p.54 をご覧ください）

会 場：神山ホール

目 的：本シンポジウムでは、平成22年秋に名古屋で開催された生物多様性条約締約国会議（COP10）で締約された名古屋議定書の中で述べられているABS（Access and Benefit Sharing）に基づく生物材料の取り扱い、同じく名古屋でのカルタヘナ議定書締約国会議（MOP5）で締約された「責任と救済」を含む遺伝子組換え生物の取り扱い、最近EUやアメリカ等で議論されている新しい遺伝子組換え技術を用いた生物材料の育成・開発・利用における取り扱い等、日々の研究の中で使われる生物材料の取り扱いに関する手続きや規制の最近の動向を行政担当官や関係者から情報提供していただいた上で、シンポジウム参加者との討論を通じて、関係研究者の理解を深め、今後の研究活動に適切に反映していただくことを目的としております。

17. 学会関連委員会

3月15日（木） 年会前日

14:00～15:30 [5号館5229演習室]

14:00～15:00 [5号館5223演習室]

15:30～18:30 [5号館5229演習室]

16:30～17:30 [5号館5222演習室]

17:00～18:00 [5号館5223演習室]

PCP編集委員会

学会賞選考委員会

PCP編集実行委員会

男女共同参画委員会

広報委員会

3月16日（金） 年会1日目

12:30～13:30 [5号館5223演習室]

14:00～16:00 [5号館5223演習室]

18:30～21:30 [5号館5303教室(A会場)]

常任評議員会

PCP将来検討WG

評議員会

3月17日（土） 年会2日目

12:00～13:00 [5号館5223演習室]

12:00～13:00 [5号館5222演習室]

国際委員会

広報委員・サイエンスアドバイザー懇談会

3月18日（日） 年会3日目

12:00～13:00 [5号館5223演習室]

13:30～14:30 [5号館5223演習室]

15:00～17:00 [5号館5223演習室]

GMO対応WG

功績賞選考委員会

年会引継会

18. 授賞式・受賞講演

3月17日（土） 年会2日目

16:30～18:00

神山ホール（スケジュールの詳細は p.50 をご覧ください）

Time table 2012/03/16 (Fri) 第1日目

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
A		光合成色素/光捕集					光合成・呼吸の環境応答					評議員会 (18:30 ~ 21:30)
B		植物ホルモン・成長調節物質1					植物ホルモン・成長調節物質2					
C		生殖器官の発生・分化/ 栄養器官の発生・分化1					老化・細胞死, その他	胚発生, 細胞分化				植物生理若手の会 (18:30 ~)
D		細胞骨格/オルガネラ					オルガネラ					
E		糖質・脂質 二次代謝					タンパク質修飾/分解・酵素					
F		メタボロミクス・技術開発					オミックス・バイオインフォマティクス					
G		共生・免疫					共生・UV・光受容体					
H		重力・温度					免疫					
W		シンポジウム S01 Forefront of quality improvement and sophistication of plant bioresources					シンポジウム S05 最先端イメージングが拓く 植物科学の新時代					
X		シンポジウム S02 生化学と細胞生物学の融合に よる低分子集積生物学の構築 に向けて					シンポジウム S06 Phytochemical Genomics: Genome-wide understanding of metabolic diversity in plants					
Y		シンポジウム S03 環境変動に対する植物の 生存・成長突破力					シンポジウム S07 種子の休眠と発芽制御の多様性と その分子基盤					
Z		シンポジウム S04 Response to environmental/ developmental signals and regulation of epigenetic state of chromatin					シンポジウム S08 モデル植物ゼニゴケで探る陸上植物の 普遍原理と多様性					
神山ホール		ポスター掲出				ポスター発表 (前半)				質疑応答 (奇数番号) (偶数番号)		
その他						常任評議員会 (5号館5223)					ミキサー (8号館3階)	

Time[Ⓢ] table 2012 / 03 / 17 (Sat) 第2日目

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
A	光合成・呼吸の環境応答/新技術				光化学系						
B	遺伝・生殖	光周性・リズム・時計		男女共同参画 キャリアパス セミナー	花成						
C	窒素代謝				栄養器官の発生・分化2						
D	オルガネラ				細胞周期・分裂/細胞壁						
E	遺伝子発現・代謝・輸送 (英語)					転写後制御					
F	情報伝達					小胞輸送			ランチョンセミナー 植物研究開発のプラットフォームと実用化に向けて (株式会社インプラントイノベーションズ)		
G	光受容体				光受容体						
H	イオン・塩・金属				イオン・金属・レドックス・酸化						
W	シンポジウム S09 データベース講習会				シンポジウム S13 次世代シーケンサーによる 高速分子遺伝学						
X	シンポジウム S10 Molecular mechanism of auxin regulation in plants				シンポジウム S14 植物生命がもぎだす化学物質： その応用展開の可能性						
Y	シンポジウム S11 福島第一原子力発電所事故にともなう 植物への放射性物質蓄積				シンポジウム S15 持続的農業に向けた作物研究 一肥料と汚染物質の問題						
Z	シンポジウム S12 器官が扁平になるとき： その基本メカニズムとエボデボ				シンポジウム S16 Functional role of the negative regulators in plants						
神山ホール	ポスター撤去 (前半)			ポスター掲出 (後半)				学会賞授賞式・ 受賞講演			
その他											懇親会 (8号館2F) (18:30 ~ 20:30)

Time table 2012/03/18(Sun) 第3日目

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
A	電子伝達・炭素代謝				種子形成, 休眠, 発芽							
B	成長制御											
C	栄養器官の発生・分化3				PCP 特別企画 「ジャーナル出版の裏事情: PCP の上手な活用法」 PCP 表紙コンテスト・授賞式							
D	細胞壁											
E	転写後/エピジェネティック制御, その他											
F	輸送/生体膜											
G	病害虫・傷害											
H	乾燥・水分・浸透圧											
W	シンポジウム S17 New technology for frontier research of plant environmental perception											
X	シンポジウム S18 微細藻類による燃料生産: 実現への課題と生物学からの解決策											
Y	シンポジウム S19 Open Questions on Rhythmic Response Systems in Plants											
Z	シンポジウム S20 Frontier research of plant cell differentiation				「実験に用いる生物材料(遺伝子組換え生物を含む)の 入手・利活用を巡る手続き・規制に関する最近の状況」 (15:15 ~ 17:30)							
神山ホール	ポスター発表 (後半)				質疑応答 (奇数番号) (偶数番号)		ポスター撤去 (後半)					
					高校生発表 (12:30 ~ 16:00)							
							本部企画シンポジウム					

3月16日(金) 9:30 ~ 12:15 W会場

Forefront of quality improvement and sophistication of plant bioresources

Organizer Toshihiro Kumamaru (Fac. of Agri., Kyushu Univ.)

09:30 Opening remarks Toshihiro Kumamaru

● Chairperson: Kazuhiro Sato

09:35 S01-1 Micro-Tom TILLING technology: A reverse genetics tool for the elucidation of important traits in tomato
Hiroshi Ezura, Yoshihiro Okabe (Fac. Life Environ. Sci., Univ. Tsukuba)

10:05 S01-2 Detection of SNPs by TILLING and analysis of the gene function in rice
Toshihiro Kumamaru (Fac. of Agr., Kyushu Univ.)

● Chairperson: Toshihiro Kumamaru

10:35 S01-3 Soybean mutant resource for reverse genetic study
Toyoaki Anai (Fac. of Agric., Saga Univ.)

11:05 S01-4 Analysis and Utilization of Barley Genome Diversity
Kazuhiro Sato (IPSR, Okayama Univ.)

11:35 S01-5 Characterization of TILLING Lines in Hexaploid Wheat and Its Application
Yasunari Ogihara (Kihara Inst. Biol. Res. Yokohama City Univ.)

12:05 Closing remarks Hiroshi Ezura

3月16日(金) 9:30 ~ 12:00 X会場

生化学と細胞生物学の融合による低分子集積生物学の構築に向けて

オーガナイザー 矢崎 一史 (京大・生存研)
松岡 健 (九大・院農)

●座長：村中俊哉

09:30 S02-1 脂溶性低分子のモデルとしてのシコニンの代謝と輸送蓄積
矢崎一史 (京都大・生存研)

09:55 S02-2 小胞輸送系での物質合成・輸送関連タンパク質と脂質膜ドメイン
松岡健^{1,2}, 豊岡公德³ (¹九大・院農, ²九大・生環セ, ³理研・植物センター)

●座長：松岡 健

10:20 S02-3 物質集積部位としてのミトコンドリアの動態と高次機能
堤伸造, 片山健太, 有村慎一 (東京大院農学生命科学)

10:45 S02-4 アントシアニンの蓄積形態と生合成コンパートメント
小関良宏¹, 松葉由紀², 阿部裕³, 佐々木伸大¹ (¹農工大・工, ²ミシガン大,
³国立衛研)

●座長：矢崎一史

11:10 S02-5 物質集積と駆動力形成を担う液胞イオンチャネルの解析
浜本晋, 魚住信之 (東北大・院工・バイオ工学)

11:35 S02-6 植物細胞における一次代謝経路/二次代謝経路の動的制御機構の解明に向けて
村中俊哉 (阪大院・工・生命先端)

3月16日(金) 9:30 ~ 12:15 Y会場

環境変動に対する植物の生存・成長突破力

オーガナイザー 馬 建鋒 (岡山大・資植研)
木下 俊則 (名大・院理)

09:30		はじめに	馬 建鋒
●座長：木下俊則			
09:35	S03-1	酸性土壌ストレスに打ち克つ植物の知恵 馬建鋒 (岡山大・植物研)	
10:00	S03-2	深水ストレスに適応したイネ節間伸長の分子機構 芦荊基行 (名大・生物センター)	
10:25	S03-3	耐塩性シロイヌナズナが有する塩馴化機構の解明 太治輝昭 ¹ , 香取拓 ¹ , 有賀裕剛 ¹ , 井内聖 ² , 小林正智 ² , 篠崎一雄 ³ , 吉原亮平 ⁴ , 野澤樹 ⁴ , 長谷純宏 ⁴ , 鳴海一成 ⁴ , 坂田洋一 ¹ , 林隆久 ¹ (¹ 東京農大・バイオ, ² 理研・BRC, ³ 理研・PSC, ⁴ 原子力機構・量子ビーム)	
●座長：馬 建鋒			
10:50	S03-4	表皮由来のシグナルによる器官成長の制御 梅田正明, 信澤岳 (奈良先端大・バイオ)	
11:15	S03-5	環境刺激に応答した気孔開度制御のシグナル伝達 木下俊則 (名古屋大・院理・生命理学)	
11:40	S03-6	季節を生きる植物：繁殖ダイナミクスと資源輸送ネットワークモデル 佐竹暁子 ¹ , Francois Feugier ¹ , 佐分利由香里 ¹ , 千葉由佳子 ¹ , 川越哲博 ² , 工藤洋 ² (¹ Hokkaido University, ² Kyoto University, ³ PRESTO, JST)	
12:05		総合討論	

共催

文部科学省化学研究費補助金 新学術領域研究

「植物環境突破力：大地環境変動に対する植物の生存・生長突破力の分子的統合解析」

3月16日(金) 9:30 ~ 12:00 Z会場

Response to environmental/developmental signals and regulation of epigenetic state of chromatin

Organizers Hidetoshi Saze (OIST)
Yosuke Tamada (NIBB)

09:30		Opening remarks	Yosuke Tamada
● Chairperson: Hidetoshi Saze			
09:35	S04-1	Regulation of Intragenic Heterochromatin in <i>Arabidopsis thaliana</i> <u>Hidetoshi Saze</u> ^{1,2} , Junko Kitayama ³ , Kazuya Takashima ³ , Tetsuji Kakutani ³ (¹ Okinawa Institute of Science and Technology, ² PRESTO, Japan Science and Technology Agency, ³ National Institute of Genetics)	
09:55	S04-2	Epigenome and transcriptome analyses using the histone methyltransferase mutant of <i>Physcomitrella patens</i> Takaaki Ishikawa ^{1,2} , <u>Yosuke Tamada</u> ^{1,3} , Yuji Hiwatashi ^{1,3} , Kari Thompson ² , Masumi Ohshima ² , Tetsuya Kurata ^{2,4} , Tomoaki Nishiyama ^{2,5} , Mitsuyasu Hasebe ^{1,2,3} (¹ Div. of Evol. Biol., Natl. Inst. for Basic Biol., ² ERATO, JST, ³ Sch. of Life Sci., Grad. Univ. for Adv. Stud., ⁴ Grad. Sch. of Biol. Sci., Nara Inst. of Sci. and Tech., ⁵ Adv. Sci. Res. Cntr., Kanazawa Univ.)	
10:15	S04-3	A search for novel epigenetic factors acting downstream of DNA methylation <u>Taisuke Nishimura</u> ^{1,2} , Larissa Broger ³ , Akiko Yamamoto ^{1,2} , Markus Kaufmann ³ , Yoko Tomita ^{1,2} , Katsushi Yamaguchi ⁴ , Shuji Shigenobu ⁴ , Jerzy Paszkowski ³ (¹ PRESTO, JST, Japan, ² Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya Univ., Japan, ³ Univ. of Geneva, Switzerland, ⁴ National Institute of Basic Biology, Japan)	
● Chairperson: Yosuke Tamada			
10:35	S04-4	The control of DNA demethylation and genomic imprinting by <i>SSRPI</i> <u>Yoko Ikeda</u> ¹ , Tetsu Kinoshita ² (¹ CNRS UMR6247 - INSERM U931 - GreD, ² GCOE Plant Reproductive Genetics, Grad. School of Biological Sciences, NAIST)	
10:55	S04-5	The HDA6 function in environmental stress response <u>Jong-Myong Kim</u> ¹ , Taiko Kim To ^{1,2} , Motoaki Seki ^{1,3} (¹ RIKEN PSC, ² Natl.Inst. of Genet., ³ Yokohama City Univ. Kihara Biol.Inst.)	
11:15	S04-6	A stress-induced activation and epigenetic regulation of a retrotransposon <u>Hidetaka Ito</u> ^{1,2} (¹ Fac. of Sci., Hokkaido Univ., ² Japan Science and Technology Agency, PRESTO)	
11:35	S04-7	A Role of Histone Modifications for Balanced Transcriptional Reprogramming in Plant Immunity Eva-Maria Reimer, Franziska Turck, <u>Yosuke Saijo</u> (Max Planck Institute for Plant Breeding Research)	
11:55		Closing remarks	Hidetoshi Saze

3月16日(金) 13:30 ~ 16:15 W会場

最先端イメージングが拓く植物科学の新時代

オーガナイザー 稲田 のりこ (奈良先端大・バイオ・植物グローバル)
東山 哲也 (名大・院・理, JST・ERATO)

●座長：東山哲也

13:30		はじめに	稲田のりこ
13:35	S05-1	定量イメージングで探るカビ病原体と植物の相互作用機構 稲田のりこ ¹ , 桧垣匠 ² , 馳澤盛一郎 ² (¹ 奈良先端大・バイオ・植物グローバル, ² 東京大・院・新領域, JST先端計測)	
14:00	S05-2	高輝度かつ正確なタンパク質間相互作用イメージングを目指した二分子蛍光補完法の改良 児玉豊 (宇都宮大・バイオセンター)	
14:25	S05-3	<i>in vivo</i> imaging of Florigen Activation Complex (FAC) comprising Hd3a, 14-3-3 and OsFD1 in rice 辻寛之 ¹ , 中島千佳 ¹ , 田岡健一郎 ¹ , 大木出 ² , 児嶋長次郎 ^{2,4} , 稲田のりこ ³ , 島本功 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオサイエンス・植物分子遺伝学, ² 奈良先端大・バイオサイエンス・生体高分子構造学, ³ 奈良先端大・バイオサイエンス・植物グローバル教育プロジェクト, ⁴ 大阪大・蛋白研)	

●座長：稲田のりこ

14:50	S05-4	光顕微操作とライブイメージングで迫る植物胚発生 栗原大輔 ^{1,2} (¹ 名大・院・理, ² JST, ERATO)	
15:15	S05-5	二光子顕微鏡により見えてきた重複受精の時空間的ダイナミクス 浜村有希 ¹ , 東山哲也 ^{1,2} (¹ 名大院・理, ² JST・ERATO)	
15:40	S05-6	超解像イメージングで解き明かす植物細胞膜切断装置の微細構造 藤本優 ¹ , 中野明彦 ^{1,2} , 上田貴志 ¹ (¹ 東大院・理, ² 理研・基幹研)	
16:05		終わりに	東山哲也

3月16日(金) 13:30 ~ 16:35 X会場

Phytochemical Genomics: Genome-wide understanding of metabolic diversity in plants

Organizers Toshiya Muranaka (Osaka Univ.)
Kazuki Saito (Chiba Univ., RIKEN PSC)

13:30 Celebrating the second PCP/OUP sponsored symposium Miki Matoba

● Chairperson: Toshiya Muranaka

13:35 S06-1 Introduction to phytochemical genomics – Beyond Arabidopsis
Kazuki Saito^{1,2} (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Chiba Univ., ²RIKEN PSC)13:50 S06-2 Diversity of secondary metabolites throughout gene duplication
Kousuke Hanada (RIKEN.PSC)14:15 S06-3 IKP: An International Consortium Sequencing the Transcriptomes of 1000 Phylogenetically Diverse Plant Species from Angiosperms to Algae
Gane Ka-Shu Wong^{1,2} (¹Dept. Biol. Sci. & Dept. Med., Univ. Alberta, ²BGI-Shenzhen, China)14:45 S06-4 Integrated metabolite-plant species databases for multifaceted plant researches: KNApSACK Family
Shigehiko Kanaya^{1,2} (¹NAIST, ²Riken PSC)

● Chairperson: Kazuki Saito

15:10 S06-5 Resources for genomics-enabled approaches to access of medicinal plant metabolism
Dean DellaPenna¹, Cornelius Barry¹, C. Robin Buell¹, Joe Chappell², Natalia Dudareva³, Mahmoud A. ElSohly⁴, A. Daniel Jones¹, Ikhlas A. Khan¹, Tom McKnight⁵, Basil J. Nikolau⁶, Sarah E. O'Connor⁷, Troy Smillie⁴, Eve Syrkin Wurtele⁶ (¹Michigan State University, ²University of Kentucky, ³Purdue University, ⁴University of Mississippi, ⁵Texas A&M University, ⁶Iowa State University, ⁷John Innes Institute)15:40 S06-6 Molecular Basis for Structural Diversity of Legume Triterpenoids
Hikaru Seki, Toshiya Muranaka (Dept. of Biotechnology, Grad. School of Engineering Osaka Univ.)16:05 S06-7 Synthetic Biosystems for the Production of High-Value Plant Metabolites
Peter Facchini (Univ. Calgary, Dept. Biol. Sci.)

共催

科学研究費補助金 新学術領域研究

「生合成マシナリー：生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」

生物系特定産業技術研究支援センター イノベーション創出基礎的研究推進事業

「作物における有用サポニン産生制御技術の開発」

理化学研究所 植物科学研究センター

3月16日(金) 13:30～16:25 Y会場

種子の休眠と発芽制御の多様性とその分子基盤

オーガナイザー 服部 束穂 (名大・生物機能)
川上 直人 (明大・農)

13:30 はじめに 川上直人

●座長：瀬尾光範

13:40 S07-1 種子発芽における遺伝子発現プログラムの転換
服部束穂¹, 山本章子¹, 村瀬祥子¹, 岩田昇悟¹, 吉居正勝¹, 大崎莉奈¹, 武田真¹,
加賀谷安章² (¹名古屋大・生物機能センター, ²三重大・生命科学センター)

14:05 S07-2 高温によるシロイヌナズナ種子発芽抑制の分子メカニズム
川上直人, 藤茂雄, 重山拓磨 (明大・農)

●座長：杉本和彦

14:30 S07-3 イネ低温発芽性遺伝子qLTG3-1から見る穀物の種子発芽
藤野賢治 (農研機構 北海道農業研究センター)

14:55 休憩

15:00 S07-4 コムギの種子休眠制御遺伝子の解析
中村信吾 (作物研究所)

15:25 S07-5 種子休眠性のナチュラル・バリエーションに関連する遺伝的要因と植物ホルモンの解析
矢野亮一, 竹林裕美子, 花田篤志, 神谷勇治, 瀬尾光範 (理研・PSC)

●座長：瀬尾光範

15:50 S07-6 自然変異を利用したイネ種子休眠性の解析
杉本和彦¹, マレズギサレム^{1,2}, 竹内善信³, 堀清純¹, 平林秀介³, 服部束穂⁴, 山
内歌子¹, 星野友紀¹, 矢野昌裕^{1,2} (¹生物研, ²筑波大・理, ³作物研, ⁴名大・生物
機能)

16:15 おわりに 服部束穂

3月16日(金) 13:30～16:30 Z会場

モデル植物ゼニゴケで探る陸上植物の普遍原理と多様性

オーガナイザー 荒木 崇 (京大・生命科学)
河内 孝之 (京大・生命科学)

●座長：荒木 崇

13:30 S08-1 はじめに：モデル植物ゼニゴケ
河内孝之 (京大・生命科学)

13:37 S08-2 遺伝子機能を自在に研究できるモデルへ～ゲノム・突然変異体・形質転換～
石崎公庸¹, 大和勝幸², 河内孝之¹ (¹京大院・生命科学, ²近畿大・生物理工)

14:07 S08-3 精子研究のモデルとしてのゼニゴケ
大和勝幸 (近畿大・生物理工)

●座長：河内孝之

14:27 S08-4 植物の成長相転換における制御因子の祖先的機能の探索
酒井友希, 荒木崇 (京大・院・生命)

14:47 S08-5 苔類ゼニゴケにおける *MpCLE1* と *MpWOX1* を介した生長制御
田畑亮, 本田紘章, 澤進一郎 (熊本大院・自然科学)

15:07 S08-6 ゼニゴケ無性芽のアブシジン酸応答とストレス耐性
竹澤大輔 (埼玉大院・理工)

●座長：澤進一郎

15:27 S08-7 複雑なオーキシン応答をゼニゴケを用いて単純に理解する
加藤大貴, 石崎公庸, 河内孝之 (京大・院・生命)

15:47 S08-8 陸上植物における膜交通経路の多様性
恵良厚子¹, 海老根一生², 中野明彦^{1,3}, 上田貴志¹ (¹東大院・理, ²感染研・寄生動物, ³理研・基幹研)

16:07 S08-9 ゼニゴケ葉緑体RNAポリメラーゼシグマ因子 (*MpSIG1*) の機能解析から明らかとなった陸上植物進化におけるシグマ因子の機能分化
上田実¹, 高見常明^{1,2}, Lianwei Peng¹, 鹿内利治¹, 西村芳樹¹ (¹京大院・理, ²九大院・理)

16:27 おわりに 荒木 崇

3月17日(土) 9:00 ~ 12:00 W会場

データベース講習会

オーガナイザー 矢野 健太郎 (明治大・農)
 五十嵐 香理 (明治大・農)
 大林 武 (東北大・院・情報)

09:00 S09-1 はじめに
 五十嵐香理¹, 大林武², 矢野健太郎¹ (¹明治大・農・バイオインフォマティクス,
²東北大・院・情報)

●座長：五十嵐香理

09:05 S09-2 新型シーケンサー・アーカイブDBと大量配列解析パイプライン
 神沼英里, 望月孝子, 長崎英樹, 児玉悠一, 猿橋智, 高木利久, 大久保公策, 中村保一 (遺伝研・CIB-DDBJ)

09:30 S09-3 新型シーケンサーを用いた植物ゲノム解析と関連データベース
 佐藤修正 (かずさDNA研究所)

09:55 S09-4 イネの新たな高精度版ゲノムとRAP-DB
 伊藤剛¹, 坂井寛章¹, 沼寿隆¹, 川原善浩¹, 田中剛¹, 松本隆¹, 佐々木卓治²
 (¹農業生物資源研・先端ゲノム, ²東京農大・総合研)

10:20 休憩

●座長：大林 武

10:30 S09-5 イネ統合ブラウザとイネ遺伝子発現データベース RiceXPro の紹介
 長村吉晃¹, アントニオバルタザール¹, 佐藤豊¹, 竹久妃奈子¹, 並木信和² (¹生物研,
²三菱スペース・ソフトウェア)

10:50 S09-6 RiceFOX: イネ完全長cDNA高発現シロイヌナズナ変異体表現形質データベース
 櫻井哲也¹, 篠崎一雄¹, 小田賢司², 廣近洋彦³, 松井南¹ (¹理研・PSC, ²岡山生物研,
³農業生物資源研 NIAS)

11:05 S09-7 トマト変異体データベース TOMATOMA
 Tohru Ariizumi¹, Takeshi Saito¹, Okabe Yoshihiro¹, Kanae Niinuma¹, Erika Asamizu¹,
 Chiaki Matsukura¹, Naoya Fukuda¹, Tsuyoshi Mizoguchi¹, Koh Aoki², Hiroshi Ezura¹
 (¹筑波大院・生命環境科学, ²大阪府立大院・生命環境科学)

11:20 S09-8 ARTADE2DB: ポジショナル相関解析から予測した新規遺伝子の構造と機能のデータベース
 飯田慶, 川口修治, 豊田哲郎 (理研・BASE)

11:35 植物バイオテクノロジー プロトコール集 (<http://metabolomics.jp/wiki/PlantBiotech:Home>)
 有田正規¹, 須藤浩², 村中俊哉³, 三位正洋⁴ (¹東大院・理, ²星薬科大・薬用植物,
³阪大院・工, ⁴千葉大院・園芸)

●座長：矢野健太郎

11:50 総合討論 矢野健太郎

3月17日(土) 9:00 ~ 12:00 X会場

Molecular mechanism of auxin regulation in plants

Organizers Hiroyuki Kasahara (RIKEN PSC)
Keiko Sugimoto (RIKEN PSC)

09:00 Opening Remarks Keiko Sugimoto

● Chairperson: Keiko Sugimoto

09:05 S10-1 Auxin Signaling in moss and Arabidopsis
Mark Estelle (Section of Cell and Developmental Biology, University of California, San Diego)

09:40 S10-2 Auxin biosynthesis and its regulation
Yunde Zhao (Section of cell and Developmental Biology, University of California San Diego)

10:15 S10-3 The main auxin biosynthesis pathway in plants
Hiroyuki Kasahara (RIKEN PSC, JST PRESTO)

● Chairperson: Hiroyuki Kasahara

10:45 S10-4 WIND1: A key molecular switch for plant cell dedifferentiation
Akira Iwase¹, Keiko Sugimoto¹, Masaru Ohme-Takagi² (¹RIKEN PSC, ²Bioprod.AIST)

11:20 S10-5 The Arabidopsis RWP-RK transcription factor RKD4 regulates embryonic pattern formation upstream of the auxin-dependent organogenesis
Takamitsu Waki¹, Takeshi Hiki¹, Ryouhei Watanabe¹, Tatsuya Ishida¹, Takashi Hashimoto¹, Keiji Nakajima^{1,2} (¹Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, ²PRESTO, JST)

11:55 Closing Remarks Hiroyuki Kasahara

共催

理化学研究所植物科学研究センター

3月17日(土) 9:00 ~ 11:50 Y会場

福島第一原子力発電所事故にともなう植物への放射性物質蓄積

オーガナイザー 福田 裕穂 (東大・院理・生物科学)
関本 均 (宇都宮大・農・生物生産)

09:00 はじめに 福田裕穂

●座長：佐々木秀明

09:05 S11-1 福島市在住の研究者からみた放射性物質汚染とその影響
小林大輔, 大河内利康 (福島県立医大・医)

09:25 S11-2 福島における野外植物の放射性物質被曝状況と動態
三村徹郎¹, 宮本昌明², 三村真理¹, 小宮山千代³, 北村晃³ (¹神戸大院・理・生物,
²神戸大・研究基盤センター, ³神戸大院・海事)

●座長：関本 均

09:45 S11-3 牧草地における放射性セシウムの分布
福田裕穂¹, 塩見正衛², 寺島一郎¹ (¹東京大・院理, ²放送大・茨城)

10:05 S11-4 畑作物によるセシウム吸収
山上陸¹, 小林大輔² (¹環境科学技術研究所, ²福島県立医大)

10:25 S11-5 植物種によるセシウム吸収の差違
渡部敏裕¹, 東隆行² (¹北大院農, ²北大植物園)

●座長：小林大輔

10:45 S11-6 低汚染水田における放射性セシウムの吸収抑制 (実証試験)
関本均¹, 松崎昭夫² (¹宇都宮大・農, ²元東大院・農)

11:05 S11-7 水田におけるイネによる放射性セシウムの吸収の品種間差
藤原徹 (東京大・院農)

11:25 S11-8 海藻によるセシウム吸収
佐々木秀明¹, 川井浩史² (¹いわき明星大・科学技術, ²神戸大・内海域)

11:45 おわりに 関本 均

3月17日(土) 9:00 ~ 12:00 Z会場

器官が扁平になるとき：その基本メカニズムとエボデボ

オーガナイザー 山口 貴大 (東大・院・理)
塚谷 裕一 (東大・院・理)

09:00 はじめに 山口貴大

●座長：山口貴大

09:05 S12-1 シロイヌナズナにおける扁平で左右相称な葉の形成の仕組み：ASYMMETRIC LEAVES2 (AS2)/AS1 タンパク質による制御
町田泰則¹, 岩崎まゆみ², 中川彩美², 高橋広夫², 松村葉子¹, 石橋奈々子¹, 羅麗蘭¹, 安藤沙友里², 岩川秀和², 栗原大輔¹, 東山哲也¹, 林里香¹, 大林祝³, 杉山宗隆³, Prananingrum Pratiwi¹, 笹部美知子¹, 町田千代子² (¹名古屋大院・理, ²中部大・応用生物, ³東京大院・理)

09:30 S12-2 雄蕊の向背軸極性の確立メカニズム－扁平にならないための工夫
鳥羽大陽, 平野博之 (東大・院・理)

09:55 S12-3 茎が平らになるとき－*Asparagus* 属の仮葉枝を例に－
中山北斗¹, 山口貴大², 塚谷裕一² (¹京産大・総合生命, ²東大・院・理)

●座長：塚谷裕一

10:20 S12-4 単面葉の平面化とその進化を司る遺伝子メカニズム
山口貴大, 糠塚明, 塚谷裕一 (東京大・院・理)

10:45 S12-5 植物体の扁平化：カワゴケソウ科の進化発生学
片山なつ¹, 厚井聡², 山田敏弘¹, 加藤雅啓³ (¹金沢大・院・自然科学, ²奈良先端大・バイオ, ³国立科博・植物)

11:10 S12-6 シダ類前葉体の形態形成と分裂組織
今市涼子 (日女大・理)

11:35 おわりに 塚谷裕一

3月17日(土) 13:00 ~ 15:50 W会場

次世代シーケンサーによる高速分子遺伝学

オーガナイザー 澤 進一郎(熊大)
山口 勝司(基生研)

13:00		はじめに	山口勝司
●座長：山口勝司			
13:05	S13-1	次世代シーケンサーを用いた、バッククロスを必要としない、シロイヌナズナの突然変異体の原因遺伝子同定 Shinichiro Sawa ¹ , Noriko Shimizu ¹ , Syunsuke Kiyohara ¹ , Ryo Tabata ¹ , Masashi Yamada ³ , Mitsuyasu Hasebe ² , Katsushi Yamaguchi ² , Shuji Shigenobu ² (¹ 熊大・理・自然科学, ² 基生研, ³ Duke Univ.)	
13:25	S13-2	ストレス誘導性非翻訳型アンチセンス RNA の生成メカニズムと機能 松井章浩 ¹ , 飯田慶 ² , 山口勝司 ³ , 田中真帆 ¹ , 石田順子 ¹ , 諸澤妙子 ¹ , 金鍾明 ¹ , 重信秀治 ³ , 篠崎一雄 ⁴ , 豊田哲郎 ² , 関原明 ^{1,5} (¹ 理研PSC・植物ゲノム発現, ² 理研BASE, ³ 基生研・生物機能解析センター, ⁴ 理研PSC・機能開発研究グループ, ⁵ 横浜市大・木原生研)	
13:45	S13-3	次世代シーケンサーによる植物ゲノム・トランスクリプトーム研究 倉田哲也 ¹ , 坂本智昭 ¹ , 打田直行 ¹ , 中野仁美 ¹ , 出村拓 ^{1,2} , 田坂昌生 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 理研・BMEP)	
●座長：澤 進一郎			
14:05	S13-4	基生研での実施例紹介と今後に向けた課題・工夫 山口勝司, 浅尾久世, 北爪達也, 重信秀治 (基生研・生物機能解析センター)	
14:25	S13-5	次世代シーケンサー技術の進歩と用途 花岡秀樹 (ライフテクノロジーズジャパン)	
14:45	S13-6	ゲノムワイド SNP を活用する次世代イネ育種技術開発にむけて 矢野昌裕, 山本敏央 (生物研)	
15:05	S13-7	シロイヌナズナに近縁な倍数体種のトランスクリプトーム 清水(稲継)理恵 ¹ , 山田恵 ^{2,3} , 奥田裕樹 ² , 瀬々潤 ^{2,3} , 清水健太郎 ¹ (¹ チューリッヒ大・理・進化, ² 東京工業大学・情報, ³ お茶の水女子大・情報)	
15:25	S13-8	次世代シーケンサーデータの de novo アセンブリー解析 西山智明 ¹ , 阿部淳 ² , 土金勇樹 ² , 坂山英俊 ³ , 関本弘之 ² (¹ 金沢大学・学際, ² 日本女子大・理, ³ 神戸大・理)	
15:45		終わりに	澤進一郎

共催

基礎生物学研究所, 重点共同利用研究

「次世代シーケンサーを用いた突然変異体の原因遺伝子同定法の確立」

3月17日(土) 13:00～16:00 X会場

植物生命がつむぎだす化学物質：その応用展開の可能性

オーガナイザー 浅見 忠男 (東大院・農)

13:00 はじめに 浅見忠男 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

● 座長：朽津和幸

13:05 S14-1 天然化合物アゴニストの創製：エチレン，ストリゴラクトン，アシル化ポリアミン
浅見忠男 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

13:30 S14-2 植物による生態系揮発化合物受容分子機構
松井健二¹，杉本貢一^{1,2} (¹山口大院医，²京都大・生態研)

13:55 S14-3 オーキシンの輸送・分布を可視化・制御するケミカルツール
林謙一郎 (岡山理大・生物化学)

14:20 S14-4 植物環境応答の調節と受容体型キナーゼシグナリング
刑部祐里子^{1,2}，田中秀典²，篠崎一雄¹，篠崎和子^{2,3} (¹理研・植物科学セ，²東大院・農学生命科学，³国際農研・生物資源)

● 座長：浅見忠男

14:45 S14-5 発根を促進する化合物のスクリーニング
河岡明義 (日本製紙 アグリ・バイオ研)

15:10 S14-6 植物調節物質の標的としての植物イオンチャネル
森 泉¹，泉 実²，村田芳行² (¹岡山大・植物研，²岡山大・院・自然科学)

15:35 S14-7 シグナルネットワークの制御による植物免疫の活性化
朽津和幸^{1,2}，来須孝光² (¹東京理科大・理工・応用生物科学，²東京理科大・総合研究機構)

3月17日(土) 13:00～16:00 Y会場

持続的農業に向けた作物研究 - 肥料と汚染物質の問題

オーガナイザー 藤原 徹 (東大院・農・植物栄養)
林 誠 (農業生物資源研究所)

13:00 はじめに 藤原 徹

●座長：藤原 徹

13:02 S15-1 有機栽培に適したイネ
間藤徹 (京大院農)

13:27 S15-2 イネ安定生産に向けた窒素利用を向上させる QTL 遺伝子と生産性
小原実広 (国際農研)

13:52 S15-3 低窒素環境におけるイネ共生微生物の群集構造とその機能
南澤究 (東北大学大学院生命科学研究所)

14:17 S15-4 非マメ科植物への根粒形成能の付与について
林 誠 (生物研)

●座長：林 誠

14:42 S15-5 イネのカドミウム輸送機構
浦口晋平¹, 神谷岳洋¹, 坂本卓也¹, 笠井光治¹, 佐藤豊², 長村吉晃², 吉田明希子¹,
経塚淳子¹, 鈴木伸郎³, 藤巻秀³, 石川覚⁴, 藤原徹¹ (¹東大院・農, ²生物研・ゲノム,
³原研・RI イメージング, ⁴農環研・土壌環境)

15:07 S15-6 遺伝情報を活用して実用的なカドミウム浄化イネを作る
石川覚 (農環研)

15:32 S15-7 作物による放射性セシウムの吸収
中西友子, 小林奈通子, 広瀬農, 菅野里美, 塩沢昌, 根本圭介, 田野井慶太郎
(東大院・農)

15:57 おわりに 林 誠

3月17日(土) 13:00 ~ 16:00 Z会場

Functional role of the negative regulators in plants

Organizers Toshiro Ito (Temasek Life Sciences Lab.)
Masaru Takagi (AIST)

13:00 S16-1 Negative regulators that control stress response in plants
Masaru Ohme-Takagi (BPRI AIST)

● Chairperson: Masaru Takagi

13:20 S16-2 Class B Heat Shock Factors, HsfB1 and HsfB2b, are Transcriptional Repressors Necessary for Acquired Thermotolerance
Miho Ikeda (AIST)

13:45 S16-3 Roles of TCP transcription factors in leaf development
Tomotsugu Koyama (Biostudies, Kyoto Univ.)

14:10 S16-4 Negative feedback loop in floral stem cell regulation
Toshiro Ito^{1,2} (¹Temasek Life Sci. Lab., ²Natl. Univ. of Singapore)

● Chairperson: Toshiro Ito

14:35 S16-5 Repressors for the morning time in Arabidopsis circadian system
Norihito Nakamichi^{1,2,3,4}, Takatoshi Kiba³, Takeshi Mizuno², Hitoshi Sakakibara³
(¹Institute of Adv. Sci., Nagoya Univ., ²Grad.Sch. of Agr., Nagoya Univ., ³RIKEN PSC, ⁴JST PRESTO)

15:00 S16-6 DELLA-GAF1 complex regulates gibberellin signaling in Arabidopsis
Jutarou Fukazawa^{1,2,3}, Satoru Murakoshi², Hiroshi Teramura², Kei Nasuno², Naotaka Nishida², Michiteru Yoshida², Yuji Kamiya¹, Yohsuke Takahashi³, Shinjiro Yamaguchi¹
(¹RIKEN.PSC, ²Fac. of Ind. Sci. and Tec., Tokyo Univ. of Sci., ³Dept. of Biol. Sci., Hiroshima Univ.)

15:25 S16-7 Regulation of floral patterning by flowering time genes
Hao Yu^{1,2} (¹Dept. of Biol. Sci., Natl. Univ. of Singapore, ²Temasek Life Sci. Lab)

15:50 Discussion

3月18日(日) 9:00 ~ 11:45 W会場

New technology for frontier research of plant environmental perception

Organizers Tetsuro Mimura (Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.)
Yoichiroh Hosokawa (Grad. Sch. Mat. Sci., NAIST)

09:00 Introduction Tetsuro Mimura

● Chairperson: Tetsuro Mimura

09:10 S17-1 Development of a single-cell analysis technique for plant cells; A technique for extracting small tissue sections for site-specific gene expression analysis
Tomoharu Kajiyama, Hideki Kambara (Hitachi, Ltd., Central Research Laboratory)

09:30 S17-2 Imaging mass spectrometry for identifying and locating unknown molecular species in tissue slices.
Katsutoshi Takahashi (RIIF, AIST)

09:50 S17-3 Dissecting membrane trafficking pathways by electron tomography
Marisa S. Otegui (Dept. Botany, Univ. Wisconsin-Madison)

● Chairperson: Yoichiroh Hosokawa

10:20 S17-4 Live-imaging of auxin signal transduction and morphogenesis.
Masaaki K. Watahiki (Fac. of Sci., Hokkaido Univ.)

10:40 S17-5 Fluorescence Lifetime Imaging and Analysis in Biological Systems
Po-Yen Lin, Thilo Dellwig, Vladimir Gukkasyan, Fu-Jen Kao (Inst. Biophotonics, Natl. Yang-Ming Univ.)

● Chairperson: Satoru Tokutomi

11:10 S17-6 Application of femtosecond laser processing for investigation of plant perception
Yoichiroh Hosokawa (Grad. Sch. Mat. Sci., NAIST)

● Chairpersons: Tetsuro Mimura & Yoichiroh Hosokawa

11:30 General Discussion

共催

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究
「植物の環境感覚：刺激受容から細胞応答まで」

3月18日(日) 9:00～12:00 X会場

微細藻類による燃料生産：実現への課題と生物学からの解決策

オーガナイザー 篠村 知子 (帝京大・理工・バイオ)
小俣 達男 (名大院・生命農学, JST-CREST)

09:00 はじめに 篠村知子

●座長：小俣達男

09:05 S18-1 エネルギーの視点から見た微細藻由来バイオ燃料技術開発
石田勝昭, 上田巖 (JX日鉱日石エネルギー株式会社)

09:30 S18-2 微細藻類バイオ燃料生産の進捗と今後の課題
藏野憲秀 (株式会社デンソー・基礎研)

09:55 S18-3 バイオマス資源のライフサイクルにおける課題
菊池康紀 (東京大学工学系研究科)

●座長：篠村知子

10:20 S18-4 光合成の光エネルギー変換効率改善は可能か？
園池公毅 (早稲田大学 教育・総合科学学術院)

10:45 S18-5 藻類を用いたバイオ燃料生産における窒素コスト低減の重要性と技術的方策
小俣達男^{1,4}, 愛知真木子^{2,4}, 池田和貴^{3,4} (¹名大・院・生命農学, ²中部大・応用生物,
³慶應大・先端研, ⁴JST-CREST)

11:10 S18-6 藻類の遺伝子操作の現状と課題—単細胞シャジクモ藻類ヒメミカヅキモを例として—
阿部淳, 関本弘之 (日本女子大・理)

11:35 総合討論～パネルディスカッション～

3月18日(日) 9:00 ~ 12:00 Y会場

Open Questions on Rhythmic Response Systems in Plants

Organizers Tsuyoshi Mizoguchi (Univ. Tsukuba)

● Chairperson: Tsuyoshi Mizoguchi

09:00 S19-1 Opening remarks
Tsuyoshi Mizoguchi (Gene Res. Center, Univ. Tsukuba)

● Chairperson: Salome Patrice

09:10 S19-2 Characterization of cellular circadian oscillators in plants
Tokitaka Oyama^{1,2} (¹Dept. of Bot., Grad. Sch. of Sci., Kyoto Univ., ²PRESTO, JST)

09:40 S19-3 Involvement of circadian clock in photoperiodic control of plant growth of *Arabidopsis*
Takafumi Yamashino, Takeshi Mizuno (Grad. Sch. of Bioagr. Sci., Nagoya Univ.)

10:10 S19-4 Regulation of organ elongation and flowering time by clock proteins, brassinosteroid and polyA binding protein in *Arabidopsis*
Miyuki Hara, Tsuyoshi Mizoguchi (Gene Res. Center, Univ. Tsukuba)

● Chairperson: Tsuyoshi Mizoguchi

10:25 S19-5 Modulation of circadian period by iron status: a measure of plant metabolism?
Patrice Salome (Max-Planck Institute, Tübingen)

10:55 S19-6 Roles of LHY and CCA1 in photoperiod compensation of chlorophyll amount in *Arabidopsis*
Kana Miyata, Kanae Niinuma, Taro Atsumi, Tsuyoshi Mizoguchi (Gene Res. Center, Univ. Tsukuba)

11:10 S19-7 *Arabidopsis* FT florigen in floral transition and beyond
Takashi Araki (Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ.)

11:40 General Discussion

3月18日(日) 9:00 ~ 11:50 Z会場

Frontier research of plant cell differentiation

Organizers Tomoo Shimada (Kyoto Univ.)
Ikuko Hara-Nishimura (Kyoto Univ.)

09:00 Opening remarks Tomoo Shimada (Kyoto Univ.)

● Chairperson: Tomoo Shimada

09:10 S20-1 An Idioblast 'Myrosin Cell' – A Model of Cell Differentiation in Plants –
Makoto Shirakawa, Haruko Ueda, Tomoo Shimada, Ikuko Hara-Nishimura (Graduate School of Sci., Kyoto Univ.)

09:40 S20-2 Secondary Wall Patterning by a Novel Plasma Membrane-Anchored Microtubule-Associated Protein During Xylem Differentiation
Yoshihisa Oda^{1,2}, Hiroo Fukuda¹ (¹Graduate School of Sci., Univ. of Tokyo, ²JST, PRESTO)

10:10 S20-3 Stomagen responsible for cell-to-cell signaling and environmental response of stomatal development
Shigeo Sugano, Tomoo Shimada, Ikuko Hara-Nishimura (Graduate School of Sci., Kyoto Univ.)

● Chairperson: Ikuko Hara-Nishimura

10:40 S20-4 Frontier Lecture
Cell fate specification in the Arabidopsis stomatal lineage
Dominique Bergmann, Jessika Adrian, Bas Bargmann, Kelli Davies, Charles Hachez, On sun Lau, Cora MacAlister, Juliana Matos, Kyoko Ohashi-Ito (Stanford University, Department of Biology and Howard Hughes Medical Institute)

11:40 General discussion

3月17日(土) 16:20～18:15 神山ホール

日本植物生理学会授賞式
学会賞・功績賞・奨励賞・PCP論文賞・フェローシップ

16:20	日本植物生理学会功績賞(2011年度)賞状授与 宮地重遠(東京大学名誉教授)	会長
16:30	選考経過報告	各選考委員会委員長
16:45	賞状授与	会長
16:52	日本植物生理学会若手海外共同研究フェローシップ 賞状授与 第10回「植物オルガネラ遺伝子発現を統御する PPR蛋白質によるRNA配列認識機構の解明」 奥田賢治(中央大学・理工学部) 第11回「FESEMを用いた表層微小管とセルロース微繊維の 平行性に対する新阻害剤コプトリンの作用の解析」 米田新(理化学研究所)	会長

日本植物生理学会賞・受賞講演

16:55	A01	日本植物生理学会賞 「植物の青色光応答の研究—気孔開口を中心にして」 島崎研一郎(九州大学大学院・理学研究院)
17:15	A02	日本植物生理学会奨励賞 「アブシジン酸受容および情報伝達機構に関する研究」 西村宜之(農業生物資源研究所・遺伝資源センター・放射線育種場)
17:35	A03	日本植物生理学会奨励賞 「植物における細胞内自己分解システム・オートファジーの分子機構とその生理機能に関する研究」 吉本光希(理化学研究所・植物科学研究センター)
17:55	A04	PCP論文賞 近藤竜彦(名古屋大学大学院・生命農学研究科) Tatsuhiko Kondo, Ryoko Kajita, Aya Miyazaki, Mayumi Hokoyama, Touko Nakamura-Miura, Satoko Mizuno, Yuichi Masuda, Kazuhiro Irie, Yuki Tanaka, Shinobu Takada, Tatsuo Kakimoto, and Youji Sakagami (2010) Stomatal Density is Controlled by a Mesophyll-Derived Signaling Molecule. (<i>Plant Cell Physiol.</i> 51(1): 1-8.)

3月15日(木) 13:00～18:10 京都大学 北部総合教育研究棟1階 益川ホール

(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/intro/facilities/kyoshokuin/hokubu/index.htm>)

(アクセス：<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/modules/tinycontent9/index.php?id=1>)

第14回植物オルガネラワークショップ 「植物オルガネラ研究のマイルストーン」

世話人(五十音順)：小保方潤一，加藤裕介，河野重行，楠見健介，
小林裕和，西村芳樹，林田信明，宮沢豊

13:00 開会 世話人挨拶

セッション1：オルガネラが関わる植物機能 (13:05～15:05)

13:05 「ライブイメージングと顕微細胞操作で解く植物生殖のしくみ」
東山哲也 (名古屋大学)

13:35 「植物防御応答における葉緑体の役割」
野村裕也¹，椎名隆² (¹名古屋大学，²京都府立大学)

14:05 「植物の概日リズム現象」
中道範人 (名古屋大学)

14:35 「葉緑体遺伝子発現の光スイッチ」
清水正則 (浜松大学)

15:05 休憩

セッション2 オルガネラ機能の相互作用 (15:20～16:50)

15:20 「高等植物におけるオルガネラDNA修復とUVB抵抗性-CPD光回復酵素の細胞内局在」
高橋正明，高橋さやか，寺西美佳，日出間純 (東北大学)

15:50 「植物細胞における小胞体ダイナミクス」
上田晴子¹，横田悦雄²，朽名夏磨³，嶋田知生¹，田村謙太郎¹，新免輝男²，西村いくこ¹ (¹京都大学，²兵庫県立大学，³東京大学)

16:20 「細胞内自己分解システム・オートファジーによるオルガネラ分解」
吉本光希¹，石田宏幸²，和田慎也²，大隅良典³，白須賢⁴ (¹INRA Versailles，²東北大学，³東京工業大学，⁴理化学研究所)

16:50 休憩

17:00 特別講演「植物環境応答におけるペルオキシソーム分化の動態」
西村幹夫 (基礎生物学研究所)

18:00 総合討論

18:10 閉会

18:30～20:30 ミキサー「京都韓国鉄板焼き キッチン 百万遍店」
(<http://www.kicchan.com/category/shophyakuman>)

3月16日（金） 18:30～21:05 B会場

植物生理若手の会 2012（第30回講演会）
植物を中心とした生物間情報ネットワーク

18:30	開会の御挨拶	門田康弘
18:35	特別講演「出芽酵母と植物に固有のCa ²⁺ チャンネル—その構造と役割—」 飯田秀利（東京学芸大学）	
19:15	「寄生植物ストライガの寄生機構の解明に向けて」 吉田聡子（理化学研究所植物科学研究センター）	
19:50	「MAMPシグナリングの改変による植物の耐病性向上の試み」 岸本久太郎（農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所）	
20:25	「香りを介した植物と昆虫の共生関係—天敵を誘引する香り成分の放出—」 小澤理香（京大大学生態学研究センター）	
21:00	閉会の御挨拶	古市卓也

責任者：門田康弘（理化学研究所 植物科学研究センター）
古市卓也（名古屋大学 エコトピア科学研究所）

E-mail：jsyppmeeting@yahoo.co.jp

植物生理若手の会 website：http://www014.upp.so-net.ne.jp/jsypp/

3月17日(土) 12:00～13:00 B会場

男女共同参画キャリアパスセミナー(ランチョンセミナー)
「科学を支える情熱は、ジェンダーを越えて、海を越えて」

進行：本橋令子(男女共同参画委員)

12:00	学会長挨拶	町田泰則 会長
12:03	男女共同参画学協会連絡会における日本植物生理学会の活動報告および、アンケート調査集計結果報告 吉田聡子(RIKEN PSC)	
12:13	「空気をかえる・空気はかわる ～女性研究者の能力発揮、これまでとこれから～」 大坪久子(元日本大学総合科学研究所・教授, 日本大学薬学部薬学研究所・上席研究員, 上智大学女性研究者支援WG・アドバイザー)	
12:33	「女性科学者像」 田澤 仁(東京大学名誉教授)	
12:53	相互討論総括	男女共同参画委員会 委員長 篠村知子

*本セミナーはランチョンセミナーです。お弁当とお茶をご用意いたします。セミナー当日の8時30分より、引換整理券を学会本部受付で配布いたします。

3月18日（日） 15:15～17:30 神山ホール

実験に用いる生物材料（遺伝子組換え生物を含む）の
入手・利活用を巡る手続き・規制に関する最近の状況

15:15	開会にあたって	町田泰則（日本植物生理学会会長）
15:20	生物材料の取り扱いに関する最近の動向 木村好克（文部科学省ライフサイエンス課）	
16:10	質疑応答	
16:20	NBT（New Breeding Techniques）を巡る議論 鎌田博（筑波大学）	
16:50	質疑応答	
17:00	総合討論	

企画責任者：鎌田 博（日本植物生理学会 GMOワーキンググループ委員長）

3月18日(日) 12:15 ~ 12:55 C会場

PCP 特別企画

ジャーナル出版の裏事情：PCP の上手な活用法
A word from the inside: publishing with PCP in 2012

12:15

ご挨拶・PCP表紙コンテスト授賞式(日本語)
Welcome speech and award ceremony for PCP cover contest winners (Japanese)
山谷知行(PCP編集長)
Tomoyuki Yamaya (Editor-in-Chief, PCP)

12:20

植物学領域における世界の出版事情(日本語)
Current publishing trends in the plant sciences (Japanese)
的場美希(オックスフォード大学出版局 Global Academic Publishing 部長)
Miki Matoba (Director, Global Academic Publishing, OUP)

12:35

PCP から世界へ—PCP の上手な活用法—(英語)
Publishing with PCP in 2012 and beyond (English)
リリアナ・コスタ(PCP Managing Editor)
Liliana Costa (PCP Managing Editor)

*本セミナーはランチョンセミナーです。ランチボックスとお茶をご用意いたします。3月17日(土)より、オックスフォード大学出版局株式会社の書籍展示ブースで整理券を配布いたします。先着順110名様まで。

*本セミナーのプレゼンテーションは日本語、あるいは英語で行われます。

*All attendee will have a free lunchbox and tea.

** The presentations will be either in Japanese or English.

一般講演（口頭）プログラム

● 第1日 3月16日(金) 午前(9:30-12:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成色素/光捕集	植物ホルモン・成長調節物質 1	生殖器官の発生・分化/ 栄養器官の発生・分化 1	細胞骨格/オルガネラ
9:30	1aA01 RNA-editingによる暗所作動型プロトクロロフィルド還元酵素の活性調節 山本治樹 ¹ , 楠見淳子 ² , 藤田祐一 ^{1,3} (1名大・院生命農, 2九大・院理, 3JST さきかけ)	1aB01 助細胞が分泌する花粉管誘引ペプチドの特徴 出口恭子 ¹ , 奥田哲弘 ¹ , 筒井大貴 ¹ , 佐々木成江 ¹ , 東山哲也 ^{1,2} (1名大・院・理, 2JST・ERATO)	1aC01 花芽形成のマスター制御因子LEAFYの祖先的機能の探索 酒井友希 ¹ , 伊藤美沙 ¹ , 川本麻美 ¹ , 宮下結衣 ¹ , 宇山和樹 ¹ , 辻井由香 ¹ , 遠藤求 ¹ , 石崎公庸 ¹ , 大和勝幸 ² , 河内孝之 ¹ , 荒木崇 ¹ (1京大・院・生命, 2近畿大・生物理工)	1aD01 Atypical kinase PHS1は微小管の脱重合を促進する 藤田智史 ¹ , Jaromir Pytel ¹ , 野村有子 ² , 加藤壮英 ¹ , 高林周平 ¹ , 中神弘史 ² , 橋本隆 ¹ (1奈良先端大・バイオ, 2理研・PSC)
9:45	1aA02 ラン藻 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803における複数の経路の検証 青木里奈 ¹ , 武田誠也 ¹ , 小俣達男 ^{1,2} , 井原邦夫 ² , 藤田祐一 ^{1,4} (1名大・院生命農, 2JST CREST, 3名大・遺伝子, 4JST さきかけ)	1aB02 花粉管の誘引物質LUREsへの応答能を付与する母体因子AMORの糖鎖に着目した解析 水上茜 ¹ , 清水(稲継) 理恵 ² , 小竹敬久 ³ , 円谷陽一 ² , 森仁志 ¹ , 佐々木成江 ¹ , 東山哲也 ^{1,5} (1名大・院・理, 2Fuc Sci., Zurich Univ., 3埼玉大院・理工, 4名大・院・生命農, 5JST・ERATO)	1aC02 イネ小穂の側生器官の発生とメリステムのオーガナイゼーションを制御する <i>TONGARIBOUSHI (TOBI)</i> 遺伝子の単離と機能解析 田中若奈 ¹ , 鳥羽太陽 ¹ , 大森良弘 ¹ , 河合新 ¹ , 吉田明希子 ² , 榎田智子 ³ , 市川裕章 ³ , 光田展隆 ⁴ , 高木優 ⁴ , 平野博之 ¹ (1東大院・理・生物科学, 2東大院・農学生命科学, 3農業生物資源研究所, 4産業技術総合研究所)	1aD02 スベックル顕微鏡法による微小管の動きの可視化 村田隆 ^{1,2} , 野中茂紀 ^{2,3} , 長谷部光泰 ^{1,2} (1基生研・生物進化, 2総研大・生命科学, 3基生研・時空間制御)
10:00	1aA03 シロイヌナズナのクロロフィルb分解における複数の経路の検証 下田洋輔 ^{1,2} , 伊藤寿 ^{1,2} , 田中歩 ^{1,2} (1北大・低温研, 2JST, CREST)	1aB03 シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合に関与するANAC071・RAP2.6L転写因子の植物ホルモンによる発現制御 朝比奈雅志 ^{1,2,3} , 東克也 ² , ビタクサンカーン ウィーラサック ² , 山崎貴司 ² , 光田展隆 ⁴ , 高木優 ⁴ , 山口信次郎 ² , 神谷勇治 ² , 岡田清孝 ² , 西村岳志 ² , 小柴共一 ⁵ , 横田孝雄 ² , 鎌田博 ² , 佐藤忍 ² (1帝京大・理工・バイオ, 2筑波大・院・生命環境, 3理研PSC, 4産総研・生物プロセス, 5基生研, 6首都大・院・理工)	1aC03 アラビノシル化修飾を受けたCLEペプチドの化学合成 篠原秀文, 松林嘉克 (基生研)	1aD03 ジャジクモ・シロイヌナズナキメラミオン XIによる原形質流動高速化はシロイヌナズナを大型化する 富永基樹 ^{1,4} , 木村篤司 ³ , 山本啓一 ³ , 中野明彦 ^{1,2} , 伊藤光二 ³ (1理研・基幹研・中野生体膜, 2東京大・院・理・生物科学, 3千葉大・院・理・生物, 4科学技術振興機構・さきかけ)
10:15	1aA04 Light-harvesting chlorophyll-binding proteinと共通するモチーフを持つタンパク質、LIL3の機能解析 高橋香織 ¹ , 高林厚史 ^{1,2} , 田中歩 ^{1,2} , 田中亮一 ^{1,2} (1北大・低温研, 2CREST/JST)	1aB04 ジャスモン酸シグナル伝達に関わる転写因子JAM1の解析 中田克 ¹ , 光田展隆 ¹ , Marco Herde ² , Javier E. Moreno ² , Abraham J. K. Koo ² , Gregg A. Howe ² , 鈴木馨 ¹ , 高木優 ¹ (1産総研・生物プロセス, 2DOE-PRL, Michigan State Univ.)	1aC04 維管束幹細胞の分化を制御するTDIFシグナル伝達機構の解析 近藤佑貴, 福田裕穂 (東大・院・理)	1aD04 アクチン繊維動態を評価するための動画像クラスタリング法の開発 湖城恵 ¹ , 松垣匠 ^{1,2} , 朽名夏磨 ¹ , 馳澤盛一郎 ^{1,2} (1東京大・院・新領域, 2JST先端計測)
10:30	1aA05 シロイヌナズナにおける新規Light-harvesting-likeタンパク質の機能解析 加藤由佳子 ^{1,2} , 高林厚史 ^{1,2} , 田中歩 ^{1,2} , 田中亮一 ^{1,2} (1北大・低温研, 2CREST/JST)	1aB05 アブジジン酸受容体アンタゴニストASn竹内純 ¹ , 岡本昌憲 ² , 武藤拓也 ² , Sean Cutler ² , 平井伸博 ⁴ , 轟泰司 ³ (1静大院・創造, 2静大院・農, 3University of California, Riverside, 4京大院・農, 5静大・農)	1aC05 高温時におけるCLEペプチドを介した花粉・雌蕊相互作用の役割 遠藤暁詩, 福田裕穂 (東京大・院・理)	1aD05 Two actin isoforms, ACT7 and ACT8 regulate Arabidopsis root meristem development through modulating intracellular auxin gradient Takahiro Numata ¹ , Muthugapatti Kandasam ² , Richard Meagher ² , Abidur Rahman ¹ (1Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University, Morioka, Japan, 2Department of Genetics, Division of Life Sciences Complex, University of Georgia, Georgia, USA)
10:45	1aA06 シアノバクテリアKC1株の色素分析 藤沼大毅 ¹ , 環慎也 ¹ , 近藤義孝 ¹ , 布留川隼人 ¹ , 亀山真由美 ² , 小野裕嗣 ² , 大久保智司 ³ , 宮下英明 ³ , 小林正美 ³ (1筑波大・物質工科学, 2食品総合研究所, 3京大院・人間・環境)	1aB06 アブジジン酸はヒメツリガネゴケ葉緑体の分裂を促進する 鈴木寛久, 荒金篤史, 太治輝昭, 林隆久, 坂田洋一 (東京農大・院・バイオ)	1aC06 Ribonucleotide reductase complex activity controls plastid DNA degradation during Arabidopsis pollen development Lay Yin Tang, Wataru Sakamoto (Institute of Plant Science and Resources, Okayama Univ.)	1aD06 植物の細胞質分裂におけるactin繊維の機能 在間健悟 ¹ , 野中茂紀 ² , 新免輝男 ¹ , 園部誠司 ¹ (1兵庫県大・院・生命理学, 2基生研・時空間制御)

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
糖質・脂質	メタボロミクス・技術開発	共生・免疫	重力・温度	シンポジウム01 Forefront of quality improvement and sophistication of plant bioresources (9:30-12:15)	シンポジウム02 生化学と細胞生物学の融合による低分子集積生物学の構築に向けて (9:30-12:00)	シンポジウム03 環境変動に対する植物の生存・成長突破力 (9:30-12:15)	シンポジウム04 Response to environmental/developmental signals and regulation of epigenetic state of chromatin (9:30-12:00)	9:30
1aE01 リン欠生育条件下でのシロイヌナズナ葉における貯蔵脂質蓄積の解析 下嶋美恵 ¹ , 円由香 ¹ , 山道桂子 ² , 小泉遼太 ³ , 遠藤圭二 ⁴ , 尾崎克也 ⁴ , 太田啓之 ¹ (東工大・バイオセンター, 東工大・バイオ技術センター, 東工大・生命理工, 花王・生科研)	1aF01 シロイヌナズナの4倍体化に伴う代謝産物プロファイルの変化 塚谷裕一 ¹ , 澤田有司 ^{2,3} , 石川直子 ¹ , 平井優美 ^{2,3} (東大・院・理, 理研・植物科学研究センター, JST・CREST)	1aG01 Recapitulation of parasitic nematode secretion activity in plant cells Chiharu Nakano ¹ , Tomomichi Fujita ² , Naoki Miyazawa ¹ , Mituru Osaki ¹ , Derek Goto ^{1,3} (Grad Sch Agr, Hokkaido Uni, Fac Adv Lif Sci, Hokkaido Uni, CRIS, Hokkaido Uni)	1aH01 Effects Of Gravistimuli On Osmoregulation In Azuki Bean Epicotyls Yan Zhang, Kouichi Soga, Kazuyuki Wakabayashi, Takayuki Hoson (Dept. Biol., Gradu. School of Sci., Osaka City Univ.)					9:45
1aE02 シロイヌナズナの細胞死抑制因子AtBI-1と相互作用するスフィンゴ脂質Δ8不飽和化酵素の機能解析 岩瀬光 ¹ , 中曾根光 ¹ , 長野裕 ¹ , 石川寿樹 ¹ , 内宮博文 ^{1,4} , 川合真紀 ^{1,4} (埼玉大・理工, 奈良先・バイオサイエンス研究所, 岩手生工研, 埼玉大・環境科学研究センター)	1aF02 複数の質量分析計の組み合わせによるイネコアクレーションの包括的代謝物プロファイルと有用農業的性質との相関解析 草野都 ^{1,2} , Henning Redestig ¹ , 福島敦史 ¹ , 岡咲洋三 ¹ , 及川彰 ² , 松田史生 ¹ , 小林誠 ¹ , 藤田(追留)那緒子 ³ , 藤田直子 ³ , 江花薫子 ⁴ , 齊藤和季 ^{1,5} (理研・PSC, 横浜市大・本原生物研, 秋田県大・生物資源, 生物資源研, 千葉大・院・薬)	1aG02 ビタミンB6分解というミヤコグサ・根粒菌共生の新たな意義 富永晃好 ^{1,2} , 井手愛子 ² , 有馬進 ^{1,2} , 鈴木草弘 ^{1,2} (鹿児島大・連農, 佐賀大・農)	1aH02 シロイヌナズナ重力屈性に関与する新規遺伝子DGE2及びDTLの単離と解析 谷口雅俊, 飯島功大, 伏田豊仁, 田坂昌生, 森田(寺尾)美代 (奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究所)					10:00
1aE03 安定同位体C13を用いた脂質代謝の解析 佐藤直樹 ^{1,2} (東京大・総合文化, JST・CREST)	1aF03 イネ戻し交雑自殖系統群を用いたメタボロームQTL解析、特異代謝物構造解析および生成関連遺伝子の解析 園咲洋三 ¹ , 松田史生 ¹ , 及川彰 ² , 草野都 ¹ , 中林亮 ¹ , 菊地淳 ¹ , 米丸淳一 ³ , 江花薫子 ⁴ , 矢野昌裕 ² , 齊藤和季 ^{1,3} (理研・PSC, 農業生物資源研究所, 千葉大・院・薬)	1aG03 アーバスキュールの形成と崩壊が植物から菌根菌への炭素の受け渡しに不可欠である 小八重善裕, 畑信吾 (名大院・生命農)	1aH03 LAZY1とARG1を介するシロイヌナズナ花茎の重力シグナル伝達系の解析 佐々木秋 ¹ , 佐藤敦子 ² , 綿引雅昭 ² , 山本興太郎 ² (北大院・生命, 北大院・理)					10:15
1aE04 シロイヌナズナの胚におけるホスファチジルグリセロールの機能解析 田上遼 ¹ , 小林恵 ² , 片山健太 ³ , 永田典子 ² , 和田元 ¹ (東大院・総合文化, 日本女子大・理, 東大院・農)	1aF04 ReSpect: 植物代謝産物のMS/MSデータベース 澤田有司 ¹ , 中林亮 ¹ , 山田豊 ¹ , 鈴木実 ¹ , 佐藤直樹 ¹ , 坂田あかね ¹ , 秋山顕治 ¹ , 櫻井哲也 ¹ , 松田史生 ^{1,2} , 青木俊夫 ³ , 平井優美 ^{1,4} , 齊藤和季 ^{1,5} (理研・植物科学研究センター, 神戸大・自, 日大・生物資源, JST・CREST, 千葉大・院・薬)	1aG04 ③ Expression Analysis of Arbuscular Mycorrhiza-Inducibile Acyltransferase and Esterase Genes of Rice Thongkhoun Sisaphathong, Yoshihiro Kobae, Shingo Hata (Grad. Sch. Bioagricult. Sci., Nagoya Univ.)	1aH04 ③ The Root Gravitropic Response Gene DRO1 Enhances Drought Avoidance In Rice Yusaku Uga ¹ , Kazuhiko Sugimoto ¹ , Jagadish Rane ² , Manabu Ishitani ² , Yuka Kitomi ³ , Yoshiaki Inukai ³ , Kazuko Ono ¹ , Noriko Kanno ¹ , Naho Hara ¹ , Jianzhong Wu ¹ , Takashi Matsumoto ¹ , Kazutoshi Okuno ⁴ , Masahiro Yano ¹ (Nat. Inst. of Agr. Sci., Int. Cen. for Trop. Agr., Nagoya Univ., Tsukuba Univ.)					10:30
二次代謝	1aF05 エンゾギンギシのシユウ酸合成阻害におけるメタボローム解析 宮城敦子 ¹ , 川合真紀 ^{1,2} , 内宮博文 ^{1,3} (埼玉大・IEST, 埼玉大・院・理工, 岩手生工研)	1aG05 ③ Role of haustorial hairs in plant parasitism analyzed with root-hair mutants of <i>Phtheirospermum japonicum</i> SATOKO YOSHIDA, Akiko Ueno, Ken Shirasu (RIKEN, PSC)	1aH05 ③ UBP1b is related to heat stress responses in plants Thi Cam Chau Nguyen ¹ , Shuhei Kobayashi ¹ , Yukio Kurihara ² , Kentaro Nakaminami ² , Motoaki Seki ^{1,2} (Department of Genome System Science, Yokohama City University, Plant Genomic Network Research Team, RIKEN Plant Science Center)					10:45
1aE06 ③ CYP716A サブファミリーメンバーはトリテルペンサポニン生成においてマルチファンクショナルP450として機能する 福島エリオデット ^{1,2,3} , 関光 ^{1,2,3} , 大山清 ^{1,4} , 小笠原一郎 ⁵ , 梅本直行 ⁶ , 水谷正治 ¹ , 齊藤和季 ^{1,3} , 村中俊哉 ^{1,2,3} (横浜市大・本原生研, 阪大院・工・理研・PSC, 東工大・院・理工, サントリー・植物科学研, キリン(株)・フロンティア研, 神戸大院・農, 千葉大・院・薬)	1aF06 セシウムおよびストロンチウムの植物への集積と最終処分方法の検討 室伏祥子 ¹ , 渡部敏裕 ² , 野瀬裕之 ¹ , 伊藤隆政 ¹ , 須田俊之 ¹ , 久保田伸彦 ¹ (株) I H I, 北海道大学 大学院農学研究院)	1aG06 ③ Palmitoylation plays an important role in the localization and the immune responses of NB-LRR-type R protein Pit Yoji Kawano, Ai Yao, Yusuke Housen, Ko Shimamoto (Biosci., NAIST)	1aH06 ③ 低温生育条件下におけるボブラ分泌性ホスファターゼの基質探索による生理的機能解析 磯村史織 ¹ , 海田のみ ² , 津吹聡 ³ , 石森和佳 ¹ , 中村彰男 ⁵ , 西道隆臣 ¹ , 金子亮子 ⁴ (日本女子大・院・理, 東京農大・バイオ, 理化学研究所脳科学センター, 日本女子大・理・物生, 群馬大・院・医学系・病態薬理)					

③ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月16日(金) 午前(9:30-12:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
11:00	<p>1aA07 酵素および野菜による <i>Ch1a → d</i> 変換 藤田純一¹, 伊藤慎吾², 青木啓輔¹, 近藤義孝¹, 宮下英明¹, 小林正美¹ (筑波大・物質工学系, ²京大院・人間・環境)</p>	<p>1aB07 Unique function of Arabidopsis seed- predominant PP2Cs, AHG1 and AHG3, in ABA response in seeds and early seedlings Shoh Ushiyama¹, Masato Otogiri², Yoko Ino¹, Taishi Umezawa³, Takashi Hirayama⁴ (¹Grad. Sch.Bionano, Yokohama City Univ., ²BMEP, RIKEN, ³BASF, TUAT, ⁴IPSR, Okayama Univ.)</p>	<p>1aC07 植物における受精補完作用の発見 笠原竜四郎¹, 丸山大輔¹, 浜村有希¹, Sakakibara Takashi¹, Higashiyama Tetsuya^{1,2} (¹名大・院・理・生命理学, ²JST, ERATO, 東 山ライプホロニクスプロジェクト)</p>	<p>1aD07 シロイヌナズナ花茎の重力屈性に関する <i>SHOOT GRAVITROPISM 6</i> の機能解析 橋口泰子¹, 矢野大輔¹, 齊藤知恵子², 中野明 彦², 田坂昌生¹, 森田(寺尾)美代¹ (¹奈良先 端大・バイオ, ²理研・中野生体膜研究室)</p>
11:15	<p>1aA08 顕微蛍光スペクトル測定で捉えたヘテロ シスト形成過程のチラコイド膜変化 明里将志, 長谷川慎, 寺嶋正秀, 熊崎茂二 (京都大学大学院理学研究科)</p>	<p>1aB08 ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 <i>bil5</i> 原因遺伝子による細胞分化制御の分子 機構とイネ <i>bil1</i> 形質転換体の解析 中野雄司^{1,6}, 山上あゆみ¹, 嶋田勢津子¹, 森昌樹², 中野明彦^{1,4}, Joanne Chory², 浅見忠 男^{1,3} (¹理研・基幹研, ²Salk Inst., ³東大院・ 農生科, ⁴東大院・理, ⁵農業生物資源研, ⁶JST・さきかけ)</p>	<p>1aC08 シロイヌナズナの多精拒否の開始は卵細 胞と中央細胞の両方の受精によって制御 される 丸山大輔¹, 東山哲也^{1,2} (¹名大・院・理, ²JST ERATO 東山ライプホロニクスプロジェク ト, 名大)</p>	<p>1aD08 シロイヌナズナ液胞タンパク質 ERM03は 転写因子 NAI1 と協調して小胞体形態維持 に関わる 中野亮平¹, 松島良², 永野淳³, 深尾陽一朗⁴, 藤原正幸¹, 近藤真紀⁵, 西村幹夫², 西村いく こ¹ (¹京大・院・理, ²岡山大・資源生物科学 研, ³京大・生恵研, ⁴奈良先端大・植物グロー バル, ⁵基生研・細胞生物)</p>
11:30	<p>1aA09 One-helix protein which belongs to the LHC superfamily is essential for photosynthesis in Arabidopsis. Fumiyoshi Myouga^{1,2}, Anett Kiss Z², Ryoichi Tanaka³, Noriko Nagata⁴, Christiane Funk², Stefan Jansson², Kazuo Shinozaki¹ (¹RIKEN Plant Science Center, ²Umea Plant Science Centre, Sweden, ³Inst. Low Temp. Sci., Hokkaido Univ., ⁴Dept. Chem. Biol. Sci., Japan Women's Univ.)</p>	<p>1aB09 ブラシノステロイド情報伝達因子 BIL4の 細胞内局在と分子機能の解析 山上あゆみ¹, 齊藤知恵子¹, 中澤美紀², 松井 南², 作田正明³, 中野明彦^{1,4}, 浅見忠男^{1,5}, 中野雄司^{1,6} (¹理研・基幹研, ²理研・PSC, ³お茶大院・人間文化創成科学, ⁴東大院・理, ⁵東大院・農生科, ⁶JST・さきかけ)</p>	<p>1aC09 シロイヌナズナ花粉管誘引シグナルの in vivo での時空間的变化 武内秀憲¹, 丸山大輔¹, 浜村有希¹, 東山哲 也^{1,2} (¹名大・院・理, ²JST・ERATO)</p>	<p>1aD09 植物細胞におけるゴルジ体ダイナミクス の解析 伊藤谷子¹, 植村知博¹, 庄田恵子², 藤本優¹, 上田貴志¹, 中野明彦^{1,2} (¹東大・院・理・生 物科学, ²理研・基生研・中野生体膜)</p>
11:45	<p>1aA10 ㊦ MAPPING PROTEIN-PROTEIN INTERACTIONS USING HALO-TAG NAPPA MICROARRAYS REVEALS HORMONE SIGNALING CROSSTALK IN ARABIDOPSIS Junshi Yazaki¹, Mary Galli¹, Alice Kim¹, Kazumasa Nito¹, Katherine Chang¹, Rosa Quan¹, Rosa Castanon¹, Anna Bartlett¹, Hien Noguyen¹, Liang Song¹, Jose Alvarez¹, Joanne Chory¹, Niroshan Ramachandran¹, Joshua LaBaer², Marc Vidal¹, David Hill¹, Pascal Braun¹, Anne-Ruxandra Carvunis¹, Matija Derez¹, Samuel Pevzner¹, Joseph Ecker¹ (¹Salk Institute for Biological Studies, ²Life Technologies, Inc., ³Arizona State University, ⁴Dana-Farber Cancer Institute)</p>	<p>1aB10 ブラシノステロイド情報伝達突然変異体 <i>bss1</i> 原因遺伝子のシグナル伝達上における 機能とイネ <i>OsBSS1</i> 形質転換体の解析 嶋田勢津子¹, 小松知之^{1,2}, 中澤美紀², 松井 南², 森昌樹¹, 川出洋², 安部浩², 夏目雅裕², 中野明彦^{1,5}, 浅見忠男^{1,6}, 中野雄司^{1,7} (¹理 化学研究所・基幹研, ²東京農工大・院・³理 化学研究所・植物センター, ⁴農業生物資源研, ⁵東大院・理・生物, ⁶東大院・農生科・応生化, ⁷JST・さきかけ)</p>	<p>1aC10 花粉管内標的遺伝子の機能阻害と花粉管 誘引アッセイに対する新アプローチ 水多陽子^{1,2}, 洞出光洋^{1,2}, 加地範匠², 後藤宏 旭¹, 新田英之^{1,2}, 東山哲也^{1,2} (¹名大・院・理, ²JST・ERATO, ³名大・院・工)</p>	<p>1aD10 シロイヌナズナの葉表皮組織における細 胞内局在の解析 秋田佳恵¹, 松垣匠^{1,2}, 小林忠³, 佐藤真美子⁴, 永田典子⁵, 上田貴志⁵, 朽名夏磨¹, 馳澤盛一 郎^{1,2} (¹東京大・院・新領域, ²JST・先端計測, ³日本女子大・理, ⁴日本女子大・電頭, ⁵東京 大・院・理)</p>
12:00	<p>1aA11 葉緑体チラコイド膜構造のライブセルイ メージング 岩井優和^{1,2}, 中野明彦^{1,3} (¹理研・基幹研, ²JST・さきかけ, ³東大・院理系)</p>	<p>1aB11 ㊦ Interaction between phosphate and cytokinin on strigolactone production Kaori Yoneyama, Xionan Xie, Takaya Kisugi, Takahito Nomura, Koichi Yoneyama (Weed Science Center, Utsunomiya Univ.)</p>	<p>1aC11 シロイヌナズナの花粉管先端生長におけ る活性酸素種生成酵素の機能解析 賀屋賀屋¹, 岩野恵², 中島諒¹, 金岡雅浩³, 浜 村有希³, 東山哲也^{3,4}, 高山誠司², 朽津和幸¹ (¹東京理科大・理工・応用生物, ²奈良先端 大・バイオサイエンス, ³名古屋大・理・生 命理学・生殖分子情報, ⁴ERATO 東山ライ プホロニクスプロジェクト)</p>	<p>1aD11 統計的画像処理による蛍光タンパク質の 細胞内局在解析 松垣匠^{1,2}, 朽名夏磨¹, 馳澤盛一郎^{1,2} (¹東京 大・院・新領域, ²JST・先端計測)</p>
12:15			<p>1aC12 シロイヌナズナ NADPH oxidase AtRbohA -J の比較解析 河原崎朋子 (東京理科大・院・理工・応用 生物)</p>	

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>1aE07 ブドウゲノム上でオペロン様遺伝子クラスターを作る CYP716AはトリテルペンC28位酸化酵素である。 小笠原一郎¹, 福島エリ^{2,3,4}, 梅基直行⁵, 関光^{2,3,4}, 村中俊哉^{2,3,4}, 水谷正治⁶ (1)サントリー・植物科学研, 2)大阪大院・工, 3)横浜市大・木原研, 4)理研・植物科学センター, 5)キリン・フロンティア研, 6)神戸大院・農)</p>	<p>1aF07 改良酵母ワンハイブリッド法を活用したシロイヌナズナとイネの転写制御ネットワーク解明の試み 光田展隆¹, 戸部文絵¹, 石塚徹¹, 瀧口裕子¹, 穂田(間山)智子², 市川裕章², 高木優¹ (1)産総研・生物プロセス, 2)生物研・植物科学)</p>	<p>1aG07 E Hypersensitive reaction of potato cell: The suppressor and PiP elicitor signal transduction with Ca2+ dependent protein kinase(CPK) in AOS generation with NADPH oxidase (rho) in the host cells Naotaka Furuichi, Kazutoshi Yokokawa, Masahiro Ohta (Sch. of Sci. and Tech., Niigata U.)</p>	<p>1aH07 シロイヌナズナの低温ショックドメインタンパク質AtCSP2が示す多面的な調節機能 佐々木健太郎^{1,2}, 金明姫¹, 瀬尾光範³, 神谷勇治³, 今井亮三^{1,2} (1)農研機構・北農研, 2)北大・農学院, 3)理研・PSC)</p>	シンポジウム01	シンポジウム02	シンポジウム03	シンポジウム04	11:00
<p>1aE08 ダイズSg-1タンパク質は新規トリテルペンサポニン配糖体化酵素である 小笠原一郎¹, 堀川学², 高木恭子¹, 佐山貴司¹, 塚本知玄³, 石本政男⁴ (1)サントリー・植物科学研, 2)サントリー生有研, 3)岩手大・農, 4)農業生物資源研)</p>	<p>1aF08 DNA断片連続連結法を利用した共発現遺伝子の機能解析 戸松創¹, 尾形善之², 柴田大輔¹ (1)かずさDNA研究所・ゲノムバイオ, 2)理研PSC・先端NMRメタボミクス)</p>	<p>1aG08 E ジャガイモ疫病菌が分泌するRXLRエフェクターAVR3aの病原性機能にはホスファチジルイノシトールリン酸との結合が必要である 八丈野孝¹, 李華², Angela Chaparro-Garcia³, Sebastian Schornack³, 小柴生造², 渡部暁², 木川隆則², Sophien Kamoun¹, 白須賢¹ (1)理研・PSC, 2)理研・SSBC, 3)The Sainsbury Laboratory)</p>	<p>1aH08 シロイヌナズナのCSP3タンパク質と相互する核型のポリA結合タンパク質 (AtPABN1) 機能解析 金明姫¹, 園田裕^{1,2}, 佐々木健太郎^{1,2}, 今井亮三^{1,2} (1)農研機構・北農研, 2)北大院・農)</p>	Forefront of quality improvement and sophistication of plant bioresources (9:30-12:15)	生化学と細胞生物学の融合による低分子集積生物学の構築に向けて (9:30-12:00)	環境変動に対する植物の生存・成長突破力 (9:30-12:15)	Response to environmental/developmental signals and regulation of epigenetic state of chromatin (9:30-12:00)	11:15
<p>1aE09 独立成分分析によるアントシアニン修飾関連配糖化酵素遺伝子の機能同定 機原圭子^{1,2}, 福島敦史¹, 中林亮^{1,3,4}, 花田耕介¹, 松田史生¹, 菅原聡子¹, 井上恵理¹, 黒森崇¹, 伊藤卓也¹, 篠崎一雄¹, WangwattanaBunyapa⁵, 山崎真巳^{3,4}, 斉藤和季^{1,5} (1)理研・PSC, 2)横浜市立大院・生命ナノ, 3)千葉大院・薬, 4)CREST・JST, 5)理研・基幹研)</p>	<p>1aF09 形質転換ネットワークと高粱の形質転換化 栗山朋子, 松井南 (理化学研究所植物科学研究センター)</p>	<p>1aG09 E Phosphoproteomics-based screening identified novel components in plant immune signaling Hidenori Matsui, Yuko Nomura, Fumiko Kato, Ken Shirasu, Hiroshi Nakagami (RIKEN PSC)</p>	<p>1aH09 E OsMKK6-OsMPK3 signaling pathway regulates chilling stress tolerance in rice Guosheng Xie^{1,3}, Hideki Kato¹, Kentaro Sasaki^{1,2}, Ryozo Imai^{1,2} (1)Hokkaido Agric. Res. Ctr., NARO, 2)Grad. School. Agric., Hokkaido Univ., 3)Huazhong Agric. Univ.)</p>					11:30
<p>1aE10 DOPA dioxygenase の生化学的比較解析 田口真菜¹, 春名敦子², 高橋加奈¹, 由良敬¹, 作田正明¹ (1)お茶の水大院・生命科学, 2)お茶の水大・理・生物)</p>	<p>1aF10 単細胞性紅藻シゾンにおける外来遺伝子安定導入系の確立 佐藤洋¹, 渡辺智¹, 大沼みお², 千葉櫻拓¹, 田中寛³, 吉川博文¹ (1)東京農大・バイオ, 2)立教大・理学研究科, 3)東京工業大学・資源化学研究所)</p>	<p>1aG10 病害応答性MAPKに依存した細胞死を制御する新規WRKY型転写因子の単離 安達広明¹, 石濱伸明¹, 加藤有里¹, 八丈野孝¹, 白須賢¹, 吉岡博文¹ (1)名大院・生命農, 2)理研・PSC)</p>	<p>1aH10 E ICE1相互作用因子MYC67, 70は低温シグナルを負に調節する 三浦謙治, 太田賢, 佐藤愛子 (筑波大・生命環境)</p>					11:45
<p>1aE11 ニチニチソウ細胞における二次代謝産物の合成と液胞機能の解析 山本浩太郎¹, 大西美輪¹, 姉川彩², 七條千津子¹, 山崎真巳², 深城英弘¹, 三村徹郎¹ (1)神戸大院・理・生物, 2)千葉大院・薬)</p>	<p>1aF11 ジंकフィンゲルヌクレアーゼおよびエキソヌクレアーゼを用いた高頻度遺伝子ターゲティング系の開発 刑部敏史^{1,2}, 廣田耕志³, 島田浩章⁴, 武田俊一³, 土岐精一^{2,5} (1)埼玉大・環境科学研究七, 2)生物研・先端ゲノム研究七, 3)京大・放射線遺伝学, 4)東京理科大・基礎工, 5)横浜市大・木原生物研)</p>	<p>1aG11 病害応答性MAPKの基質であるWRKY型転写因子を利用した耐病性ジャガイモの作出 吉岡博文¹, 石濱伸明¹, 金原佳子¹, 高野義孝¹, 吉岡博文¹ (1)名大院・生農, 2)京大院・農)</p>	<p>1aH11 植物細胞におけるオルガネラ凍結動態とその機構へのアプローチ 小林紫苑¹, Karen Tanino², 上村松生¹, 河村幸男¹ (1)岩手大・農・寒冷バイオ, 2)Dept. Plant Sci., Univ. of Saskatchewan)</p>					12:00
	<p>1aF12 内在のレトロトランスポゾンLORE1を用いたミヤコガサの大規模遺伝子タギング系の開発 深井英吾^{1,2}, 征矢野敬¹, 梅原洋佐¹, 中山しのぶ², 平川英樹², 田畑哲之², 佐藤修正², 林誠¹ (1)生物研, 2)かずさDNA研)</p>	<p>1aG12 OsPtilaにより制御される病害抵抗性シグナル経路の解明 高橋章, 松井英諒, 瀬尾茂美, 廣近洋彦 (生物研)</p>	<p>1aH12 FOX huntingにより得られたTsalsuginea 耐熱性付与転写因子の解析 東由佳理¹, 石川智子¹, 坂田洋一¹, 林隆久¹, 関原明¹, 篠崎一雄², 篠崎和子³, 太治輝昭¹ (1)東京農大・バイオ, 2)理研・PSC, 3)東大院・農学生命科学)</p>					12:15

E = 発表の言語は英語

●第1日 3月16日(金) 午後(13:30-16:30)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成・呼吸の環境応答	植物ホルモン・成長調節物質2	老化・細胞死, その他	オルガネラ
13:30	1pA01 葉緑体においてPEPカルボキシラーゼとPEPカルボキシキナーゼを過剰発現させることによるタバコ(C3植物)の高CO2条件下での水利用効率(WUE)の向上 泉井桂 ^{1,2} , 藪田弘樹 ³ , 橋詰恵丞 ² , 有川慶大 ² , 濱口祐子 ¹ , 横正健剛 ² , 横田明徳 ³ , 秋田求 ² (¹ 近畿大・先端技術研, ² 近畿大・生物理工, ³ 奈良先端大・バイオサイエンス)	1pB01 植物培養細胞におけるストロゴラクトン代謝の解析 山中宏一 ¹ , 謝肖男 ¹ , 米山香織 ¹ , 来生貴也 ¹ , 上野琴巳 ² , 浅見忠男 ³ , 秋山康紀 ⁴ , 山口信次郎 ⁵ , 米山弘一 ¹ , 野村崇人 ¹ (宇都宮大・雑草科学, ² 神戸大院・農, ³ 東大院・応生化, ⁴ 大阪府大・生命環境, ⁵ 理研・植物科学)	1pC01 植物細胞におけるアルミニウムによる細胞死誘発機構の解析 山本洋子 ¹ , Tijen Demiral ¹ , 佐々木孝行 ¹ , 佐野俊夫 ³ , 馳澤盛一郎 ² , 泉洋平 ¹ (岡山大・植物研, ² 東京大・院新領域, ³ 法政大・生命科学, ⁴ Harran大・自然・人文科学)	1pD01 葉のオイルボディに関わる変異体の解析 島田貴士 ¹ , 高野義孝 ¹ , 嶋田知生 ² , 西村いくこ ² (京大・院農, ² 京大・院理)
13:45	1pA02 OsRBCSを個別に発現抑制したイネの光合成特性 菅野圭一, 鈴木雄二, 小川瞬, 牧野周(東北大院・農)	1pB02 イネジベレリン13位水酸化酵素変異体の表現型解析 真藤達, 野村崇人, 花田篤志, 武田一神谷紀子, 神谷勇治, 山口信次郎(理研・植物科学研究センター)	1pC02 シロイヌナズナにおけるストレス誘導性シス型へプタブレニル二リン酸合成酵素AtCPT5の機能解析 解良康太 ¹ , 高橋征司 ¹ , 須藤剛 ² , 横山隆亮 ³ , 西谷和彦 ³ , 古山種俊 ² , 中山亨 ¹ (東北大院・工, ² 東北大・多元研, ³ 東北大院・生命科学)	1pD02 胚軸プラスチドにおけるデンプン蓄積の制御 田中美名, 義則有美, 中山朋美, 林誠, 西村幹夫(基生研・細胞生物)
14:00	1pA03 気孔密度の増減がシロイヌナズナのガス交換およびバイオマス生産におよぼす影響 田中佑, 菅野茂夫, 嶋田知生, 西村いくこ(京大・理)	1pB03 植物の進化過程において、ジベレリン受容システムは既存のGAMYBを制御するために誕生した 安益公一郎 ¹ , 日渡祐二 ^{2,3} , 小嶋美紀子 ⁴ , 榎原均 ⁵ , 上口(田中)美弥子 ¹ , 長谷部光泰 ^{4,5} , 松岡信 ¹ (¹ 名大・生物機能研究センター, ² 基生研・生物進化, ³ 総研大・生命科学, ⁴ 理研・植物科学研究センター, ⁵ JST・ERATO)	1pC03 グルタチオンのシロイヌナズナに対する効果-CO ₂ の取込み 濃野純 ^{1,2} , 岩崎(葉田野)郁 ¹ , 小川健一 ^{1,2} (岡山生物研, ² 科学技術振興機構・CREST)	1pD03 ユビキチン系に異常を示すペロオキシソームタンパク質輸送変異体apem7の解析 真野昌二 ^{1,2} , 曳野和美 ¹ , 荒木雅美 ¹ , 中森ちひろ ¹ , 西村幹夫 ^{1,2} (基生研・細胞生物, ² 総合研究大学院大・生命科学)
14:15	1pA04 変動光に対する高等植物の光合成応答: O ₂ 依存オルタナティブ電子伝達経路の役割 河野慶, 寺島一郎(東大・院・理・植物生態)	1pB04 TAAとYUCによるインドール-3-酢酸の生合成 増口潔 ¹ , 田中慧太 ^{1,2} , 酒井達也 ³ , 菅原聡子 ¹ , 夏目雅裕 ² , 川出洋 ² , 花田篤志 ¹ , 八丈野孝 ¹ , 白須賢 ¹ , Hong Yao ⁴ , Paula McSteen ⁴ , Yunde Zhao ⁵ , 林謙一郎 ⁶ , 神谷勇治 ¹ , 笠原博幸 ¹ (理研・PSC, ² 農工大・院・連合農学, ³ 新潟大・院・自然科学, ⁴ ミズーリ大学コロムビア校, ⁵ カリフォルニア大学サンディエゴ校, ⁶ 岡山理大・生物化学)	1pC04 ㊦ シロイヌナズナの根端成長に関する数理モデルを用いた定量解析 岩元明敏 ¹ , 近藤衣里 ¹ , 杉山宗隆 ² (¹ 東京学芸大・自然・生命科学, ² 東京大学大学院理学系研究科附属植物園)	1pD04 ペロオキシソームタンパク質輸送におけるAPEM10タンパク質の機能解析 後藤(山田)志野 ¹ , 真野昌二 ^{1,2} , 中森ちひろ ¹ , 近藤真紀 ¹ , 山脇隆一 ³ , 加藤朗 ^{3,4} , 西村幹夫 ^{1,2} (基生研・細胞生物, ² 総合研究大学院大学・生命科学, ³ 新潟大・院・自然科学, ⁴ 新潟大・理・生物)
14:30	1pA05 窒素栄養条件の変動とAOX発現量の変動を結びつけている転写因子の探索 愛知平達, 峰谷卓士, 野口航(東大院・理)	1pB05 オーキシン生合成阻害剤の構造最適化と作用機構解析 成川恵 ¹ , 喜久里真 ^{1,2} , 佐藤明子 ¹ , 田代早苗 ² , 三谷由佳 ^{1,2} , 三井麻利江 ¹ , 中村郁子 ¹ , 小倉岳彦 ² , 軸丸裕介 ² , 神谷勇治 ² , 林謙一郎 ² , 浅見忠男 ³ , 添野和雄 ³ , 藤岡昭三 ³ , 吉田茂男 ^{1,2} , 嶋田幸久 ^{1,2} (横浜市大・木原生研, ² 理研・PSC, ³ 岡山理大・理, ⁴ 東大院・農生科, ⁵ 農研機構・近中四農研, ⁶ 理研・基幹研)	1pC05 シロイヌナズナ class IV HD-ZIP 遺伝子の多重変異による植物形態異常 鎌田直子 ¹ , 米田好文 ¹ , 高橋卓 ² (¹ 東大院・理, ² 岡山大・理)	1pD05 シロイヌナズナのオートファジー変異株peup1におけるペロオキシソーム凝集体形成機構の解明 柴田美智太郎 ^{1,2} , 及川和聡 ¹ , 真野昌二 ^{1,2} , 近藤真紀 ¹ , 吉本光希 ³ , 大隅良典 ⁴ , 西村幹夫 ^{1,2} (基生研・細胞生物, ² 総研大・生命科学, ³ 理研・植物科学研究センター, ⁴ 東工大・統合研究院)
14:45	1pA06 高等植物におけるoxidoreductase (OR)の生理学的解析 ~植物もカルボニル化合物による危険にさらされている~ 齊藤亮太 ¹ , 岩本達弥 ¹ , 伊福健太郎 ² , 佐藤文彦 ² , 杉本敏男 ¹ , 尼子克己 ³ , 三宅親弘 ¹ (神戸大・農, ² 京大・生命, ³ 神戸学院大・栄養)	1pB06 トウモロコシ幼葉鞘を用いたIAA合成および輸送阻害剤のケミカルスクリーニング 松本さちこ ¹ , 西村岳志 ¹ , 林謙一郎 ² , 俣野由行 ¹ , 森島大智 ¹ , 坂口祐介 ¹ , 駒野照弥 ¹ , 久保稔 ² , 長谷部光泰 ³ , 笠原博幸 ⁴ , 神谷勇治 ¹ , 小柴共一 ¹ (¹ 首都大院・理工, ² 岡山理大・生物化学, ³ 基生研・生物進化, ⁴ 理研・植物科学センター)	胚発生, 細胞分化 1pC06 シロイヌナズナMERISTEM DISORGANIZATION1(MDOI) 遺伝子は頂端分界組織における未分化細胞の維持に必要である 橋村直樹, 上口智治(名古屋大・生物機能開発利用センター)	1pD06 定量プロトミクスを用いたダイズ子葉のペロオキシソーム機能転換の解析 中井鑑 ^{1,2} , 林誠 ^{1,2} , 深尾陽一朗 ³ , 吉瀬(新井)祐子 ⁴ , 西村幹夫 ^{1,2} (基生研・細胞生物, ² 総合研究大学院大学・生命科学, ³ 奈良先端大・バイオ・植物グローバル, ⁴ 東京農大・生物資源ゲノム解析センター)

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
タンパク質修飾／ 分解・酵素	オミックス・ バイオインフォマティクス	共生・UV・光受容体	免疫	シンポジウムS-05	シンポジウムS-06	シンポジウムS-07	シンポジウムS-08	
1pE01 環境ストレス応答におけるシロイヌナズナDREB2Aタンパク質の安定性の解析 森本恭子 ¹ , 溝井順哉 ¹ , Feng Qin ² , 佐久間洋 ¹ , 篠崎和子 ^{1,2} (東大院・農学生命科学, ² 国際農研・生物資源利用, ³ 理研・植物科学セ)	1pF01 単細胞紅藻チロモ(<i>Porphyridium purpureum</i>)の葉緑体ゲノム構造解析 田島直幸 ^{1,2} , 佐藤修正 ³ , 丸山史人 ⁴ , 黒川顕 ^{2,5} , 太田啓之 ^{2,6} , 田畑哲之 ² , 関根康介 ¹ , 森山崇 ^{1,2} , 佐藤直樹 ² (東京大・院・総合文化, ² JST・CREST, ³ かずさDNA研究所, ⁴ 東京医科歯科大, ⁵ 東工大・院・生命理工, ⁶ 東工大・バイオセンター)	1pG01 Re-evaluation of Arbuscular Mycorrhizal Phenotypes in Root Nodule Symbiosis Mutants Reveals a Novel Common Symbiosis Factor in <i>Lotus japonicus</i> . Naoya Takeda ¹ , Martin Parniske ² , Masayoshi Kawaguchi ¹ (NIBB/SOKENDAI, ² LMU Munich)	1pH01 マイクロアレイデータに基づいた有用微生物によって誘導される植物の全体的抵抗性に関する転写制御配列の予測 吉岡洋平 ¹ , 日恵野綾香 ¹ , Most. Hushna AraNazmin ¹ , 百町満朗 ¹ , 時澤睦朋 ¹ , 小林佑理子 ¹ , 小山博之 ¹ , 井内聖 ² , 小林正智 ² , 圓山恭之進 ³ , 篠崎和子 ³ , 坂井優作 ³ , 趙成日 ¹ , 山本義治 ¹ (岐阜大・応生, ² 理研BRC, ³ 国際農研)	最先端イメージングが拓く植物科学の新时代 (13:30-16:15)	Phytochemical Genomics: Genome-wide understanding of metabolic diversity in plants (13:30-16:35)	種子の休眠と発芽制御の多様性とその分子基盤 (13:30-16:25)	モデル植物ゼニゴケで探る陸上植物の普遍原理と多様性 (13:30-16:30)	13:30
1pE02 COP9シグナロソームと相互作用するTrihelix proteinの機能解析 中井秀人 ¹ , 安喜史織 ¹ , Alexander Heyl ¹ , 青山卓史 ¹ , 柘植知彦 ¹ (京大・化研, ² Institute of Biology, Free University of Berlin)	1pF02 植物ゲノムに隠れている形態形成に関係する新規の遺伝子の網羅的同定 花田耕介 ^{1,2,3,4} , 樋口美栄子 ¹ , 岡本正憲 ⁵ , 吉積毅 ¹ , 清水みなみ ¹ , 田中真帆 ¹ , 堀井陽子 ¹ , 川嶋美香 ¹ , 松井敬子 ¹ , 豊田哲郎 ² , 篠崎一雄 ¹ , 関原明 ¹ , 松井南 ¹ (理研・PSC, ² 理研・BASE, ³ 名古屋・農, ⁴ CREST, ⁵ University of California, Riverside)	1pG02 ミヤコグサ新規根粒非着生変異体daphneの解析 養老瑛美子 ^{1,2} , 寿崎拓哉 ^{1,2} , 川口正代司 ^{1,2} (基生研・共生システム, ² 総研大・生命科学)	1pH02 有用微生物による病害抵抗性誘導時の気孔開度を制御する転写制御配列のin silico予測 日恵野綾香 ¹ , Naznin Most, Hushna Ara ¹ , 吉岡洋平 ¹ , 百町満朗 ¹ , 時澤睦朋 ¹ , 小林佑理子 ¹ , 小山博之 ¹ , 井内聖 ² , 小林正智 ² , 光田展隆 ³ , 高木優 ³ , 坂井優作 ³ , 趙成日 ¹ , 山本義治 ¹ (岐阜大・応生, ² 理研・BRC, ³ 産総研)					13:45
1pE03 COP9シグナロソームとその結合因子のSAP130は花粉形成において重要な役割を担う 安喜史織, 中井秀人, 岡原宏, 青山卓史, 柘植知彦 (京大・化研)	1pF03 全ゲノム塩基配列解析による再分化イネのソマクローナル変異解析—トランスポゾン転移とコピー数多型の検出— 宮尾安藝雄 ¹ , 中込マリコ ¹ , 佐々木晴美 ¹ , 金森裕之 ¹ , 高橋章 ¹ , 片寄裕一 ¹ , 松本隆 ¹ , 廣近洋彦 ³ (農業生物資源研・先端ゲノム, ² 農業生物資源研・植物科学, ³ 農業生物資源研)	1pG03 CASTOR・POLLUX機能分担の解明 鹽路, 下田宜司, 今泉(安楽)温子 (農業生物資源研究所)	1pH03 シロイヌナズナの翻訳伸長因子eEF1αは基礎抵抗性の誘導に関与する 中口翔太, 粟林祥子, 西本奈未, 上中弘典 (鳥取大・農)					14:00
1pE04 プロテインキナーゼNtCDPK1による14-3-3の転写因子RSGへの転移モデルの検証 伊藤岳 ¹ , 安部悠理 ¹ , 石田さらみ ² , 高橋陽一郎 ² , 柳川由紀 ³ , 山口淳二 ¹ (北大・院生命, ² 奈良先端大・バイオ・植物グローバル, ³ 理化学研究所 植物科学研究センター)	1pF04 次世代シーケンサーを用いたシロイヌナズナの転写開始位置のゲノムワイドな解析 時澤睦朋 ¹ , 山中啓史 ¹ , 小林佑理子 ¹ , 小山博之 ¹ , 櫻井哲也 ² , 黒谷篤之 ² , 篠崎一雄 ² , 鈴木稜 ³ , 菅野純夫 ³ , 小俣方潤一 ⁴ , 山本義治 ¹ (岐阜大・応用生物, ² 理研・PSC, ³ 東大・医科研, ⁴ 京都府大・生命環境)	1pG04 Activation mechanism of CCaMK during root nodule and arbuscular mycorrhizal symbioses Yoshikazu Shimoda ^{1,2} , Lu Han ^{1,2} , Toshimasa Yamazaki ¹ , Rintaro Suzuki ¹ , Makoto Hayashi ¹ , Haruko Imaizumi-Anraku ^{1,2} (NIAS, ² PROBRAIN)	1pH04 青枯病菌抵抗性におけるホスファチジン酸の関与 中野真人 ^{1,2} , 西原昌宏 ³ , 大西浩平 ⁴ , 曳地康史 ² , 木場章範 ² (愛媛連大・農, ² 高知大・農, ³ 岩手生工研, ⁴ 高知大・総研セ)					14:15
1pE05 26Sプロテアソームによる色素体タンパク質移行の制御機構 金井知行 ¹ , 佐古香織 ¹ , 佐藤長緒 ¹ , 深尾陽一郎 ² , 柳川由紀 ³ , 山口淳二 ¹ (北大・院生命, ² 奈良先端大・バイオ・植物グローバル, ³ 理化学研究所 植物科学研究センター)	1pF05 シロイヌナズナ・イネ・ダイズの高温ストレス環境下における主要転写経路に関与するシス因子の推定 圓山恭之進 ¹ , 浦野薫 ² , 篠崎一雄 ² , 篠崎和子 ^{1,3} (国際農研・生物資源利用, ² 理研・植物科学セ, ³ 東大院・農学生命科学)	1pG05 タルウマゴヤシ根粒形成過程におけるオーキシンキャリアーの役割 Shibasaki Kyohei, Michael Udvardi (The Samuel Roberts Noble Foundation)	1pH05 イネ培養細胞のタンパク質性エリシター誘導性感染防御応答制御におけるCa ²⁺ 透過チャネルOsTPC1の機能 濱田晴康 ¹ , 能鹿島央司 ¹ , 清塚正弘 ¹ , 来須孝光 ² , 大熊英治 ³ , 小谷野智子 ¹ , 岡田憲典 ⁴ , 古賀仁一郎 ⁵ , 山根久和 ¹ , 村田芳行 ¹ , 杉津和幸 ^{1,2} (東京理科大・院・理工・応用生物科学, ² 東京理科大・総合研究機構, ³ 岡山大・院・自然科学, ⁴ 東京大・生物生産工学セ, ⁵ (株)明治・食機能科学研)					14:30
1pE06 蘇類ヒメツリガネゴケにおけるアルドノラクトナーゼの機能解析 西川仁 ¹ , 丸田隆典 ¹ , 澤嘉弘 ¹ , 重岡成 ² , 石川孝博 ¹ (高根大・生資料, ² 近畿大・農)	1pF06 Characterizing coexpression modules using graph clustering and differential coexpression approaches in <i>Solanum lycopersicum</i> Atsushi Fukushima ¹ , Tomoko Nishizawa ¹ , Mariko Hayakumo ² , Shoko Hikosaka ² , Kazuki Saito ^{1,3} , Eiji Goto ² , Miyako Kusano ^{1,4} (RIKEN Plant Science Center, ² Grad. Sch. of Hort., Chiba Univ., ³ Grad. Sch. of Pharm. Sci., Chiba Univ., ⁴ Kihara Inst. for Biol. Res.)	1pG06 ㊦ Light-Dependent Nuclear Positioning Reduces UV-Induced DNA Damage in Plants Kosei Iwabuchi ¹ , Jun Hidema ² , Kentaro Tamura ¹ , Shingo Takagi ³ , Ikuo Hara-Nishimura ¹ (Grad. Sch. of Sci., Kyoto Univ., ² Grad. Sch. of life Sci., Tohoku Univ., ³ Grad. Sch. of Sci., Osaka Univ.)	1pH06 ササゲにおける細胞外ペロキシダーゼを介した活性酸素生成と細胞壁アラビナーゼによる制御 田中佳織 ¹ , 豊田和弘 ¹ , 山岸紀子 ² , 吉川信行 ² , 稲垣善茂 ¹ , 一瀬勇規 ¹ , 白石友紀 ¹ (岡山大院・自然科学, ² 岩手大・農)					14:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月16日(金) 午後(13:30-16:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
15:00	<p>1pA07 未成熟葉の陽葉化/陰葉化は成熟葉の光環境がシステミックに規定する 吉田千枝, 種子田春彦, 野口航, 寺島一郎 (東京大学・院・理・生科)</p>	<p>1pB07 YUCCAを標的とする新規IAA合成阻害剤の探索 西村岳志¹, 林謙一郎², 笠原博幸³, 神谷勇治⁴, 小柴共一¹ (首都大院・理工,²岡山理大・生物化学,³理研・植物科学センター)</p>	<p>1pC07 MERISTEM DISORGANIZATION1 (MDO1) 遺伝子は胚発生能力を持つ配偶子の形成に必要である 中上朋美, 上口智治 (名大・生物機能開発利用センター)</p>	<p>1pD07 ㊦ Identification of novel peroxisomal biogenesis factors binding to PEX7 Songkui Cui^{1,2}, Yoichiro Fukao³, Makoto Hayashi^{1,2}, Mikio Nishimura^{1,2} (Dept. Cell Biol., Nati. Inst. Basic Biol., ²Grad. Univ. Advanced Studies., ³Plant Sci. Edu. Unit, NAIST)</p>
15:15	<p>1pA08 低気温環境下において地温はイネ幼苗の光化学系II複合体構成タンパク質に影響を及ぼす 鈴木健策, 大森幸美 (東北農業研究センター)</p>	<p>1pB08 Physiological and genetic characterization of novel indole-3-butyric acid resistant mutants Taiki Hanzawa¹, Gloria Muday², Abidur Rahman¹ (Cryobiofrontier Research center, Iwate University, ²Biology Department, Wake Forest University)</p>	<p>1pC08 ATML1 regulates epidermal cell differentiation in Arabidopsis shoots. Shinobu Takada, Ayaka Yoshida (Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, Osaka University)</p>	<p>1pD08 ㊦ Essential Role of VIPP1 in Chloroplast Envelope Integrity Maintenance Rather Than Thylakoid Membrane Biogenesis in Arabidopsis Lingang Zhang¹, Yusuke Kato¹, Koji Saigo¹, Stephanie Otters², Ute C. Vothknecht², Wataru Sakamoto¹ (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University, ²Center for Integrated Protein Science (München) of Department of Biology, Ludwig-Maximilians-Universität München)</p>
15:30	<p>1pA09 ㊦ 通性CAM植物アイスプラント・プラスチック型リン酸輸送体の基質特異性 是枝晋¹, 野澤彰², 岡田有右², 隆一輝³, 西山佳孝⁴, 大西純一³, 戸澤諒² (埼玉大・分析センター,²愛媛大・無細胞センター,³埼玉大・理工)</p>	<p>1pB09 植物腫瘍化遺伝子AK-6bによるオーキシン局在の改変と発現解析 大澤雪, 沢田泰樹, 小川敦史, 上田健治, 我彦広祝 (秋田県立大・生物資源)</p>	<p>1pC09 ㊦ Coordination of Embryonic Shoot Meristem Formation by CUC1 and CUC2 Mitsuhiro Aida¹, Ayano Kariya¹, Yuka Tsubakimoto¹, Satoko Shimizu¹, Hiroyuki Ogiu¹, Masako Kamiya¹, Yukimi Taniguchi¹, Md. Rezaul Karim¹, Seiji Takeda², Masao Tasaka¹ (Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, ²Grad. Sch. Life Environ. Sci., Kyoto Pref. Univ)</p>	<p>1pD09 ㊦ Discrimination between thylakoid and inner envelope membranes of chloroplasts by the polytopic membrane protein, Cor413im1 Takehito Inaba¹, Hitoshi Inoue², Kumiko Okawa¹, Katsuhiko Nakayama¹, Yasuko Ito-Inaba¹, Danny Schnell² (Interdisciplinary Research Organization, University of Miyazaki, ²Department of Biochemistry and Molecular Biology, University of Massachusetts, Amherst)</p>
15:45	<p>1pA10 ㊦ FtsH, DEG プロテアーゼによる光化学系II反応中心タンパク質D1の協調的分解 加藤裕介, 坂本亘 (岡山大・植物研)</p>	<p>1pB10 オーキシン応答カイネチクスで明らかになったmsg2-1の傾斜屈性の存在 岡本崇¹, 山本興太郎², 綿引雅昭² (岡山大・自然,²北大・理)</p>	<p>1pC10 受精点と受精卵の極性軸形成および不等分裂面形成位置の関係性 岡本龍史, 佐藤明子, 中島啓介 (首都大・理工)</p>	<p>1pD10 ㊦ Rapid evolution of pentatricopeptide repeat genes involved in organelle gene regulation Sota Fujii¹, Charles Bond², Toshiharu Shikanai¹, Ian Small^{2,3} (Grad. Sch. Sci., Kyoto-Univ., ²Univ. Western Australia, ³ARC Centre of Excellence for Plant Energy Biology)</p>
16:00	<p>1pA11 非光化学消光 (NPQ) に関与する遺伝子LAPIの機能解析 佐藤諒一¹, 高市真一², 太田啓之³, 増田真二^{3,4} (東工大・院・生命理工,²日本医大・生物,³東工大・バイオセンター,⁴JST・さきがけ)</p>	<p>1pB11 A Chemical Biology Approach Reveals an Opposite Action between Thermospermine and Auxin in Xylem Development in Arabidopsis thaliana Kaori Yoshimoto¹, Yoshiteru Noutoshi², Ken-ichiro Hayashi², Ken Shirasu¹, Taku Takahashi¹, Hiroyasu Motose¹ (Grad. Sch. of Natl. Sci. and Tech., Okayama Univ., ²RCIS, Okayama Univ., ³Okayama Univ. of Sci., ⁴Plant Science Center, RIKEN)</p>	<p>1pC11 LONESOME HIGHWAYは胚発生におけるvascular initial cell形成を制御する 伊藤(大橋)恭子, 福田裕穂 (東大・院・理・生物科学)</p>	<p>1pD11 A pentatricopeptide repeat protein acts as a site-specificity factor at multiple RNA editing sites with unrelated cis-acting elements in plastids Kenji Okuda¹, Toshiharu Shikanai² (Faculty of Science and Engineering, Chuo University, ²Graduate School of Science, Kyoto University)</p>
16:15	<p>1pA12 緑藻のNPQに関与する光化学系タンパク質超合体の精製 得津隆太郎 (基生研・環境光生物)</p>	<p>1pB12 シロイヌナズナにおけるポリアミン耐性変異株の解析 Wurina xxx¹, 今井章裕², 田畑亮³, 山田昌史⁴, 山口勝司², 重信秀治², 長谷部光泰², 澤進一郎², 本瀬宏康¹, 高橋卓¹ (岡山大・院・自然科学,²基生研,³熊本大・院・自然科学,⁴東京大・院・生物科学)</p>	<p>1pC12 維管束構造決定に関わるLONESOME HIGHWAYのパラログ遺伝子の解析 松川愛未, 伊藤(大橋)恭子, 福田裕穂 (東大・院・理・生物科学)</p>	<p>1pD12 Pentatricopeptide repeat (PPR) モチーフのRNA認識コード 八木祐介^{1,2}, 林晋平³, 小林啓子^{1,2}, 平山隆志⁴, 中村崇裕^{1,2} (九大・院・農,²九大・高等研,³生物研,⁴岡山大・IPSR)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>1pE07 食虫植物ウツボカズラの捕虫器内溶液に含まれる新規アスパラギン酸プロテアーゼ 田中純¹, 波多野直哉^{2,3}, 榎本俊樹⁴, 濱田達朗¹ (石川県大・資源研,²理研・Spring-8, ³神戸大・質量分析総合センター, ⁴石川県大・食品)</p>	<p>1pF07 ㊦ Positional correlation analysis improves reconstruction of full-length transcript and elucidates splicing dynamics from next generation sequencing data Shuui Kawaguchi, Kei Iida, Hiromi Toyoshima, Tetsuro Toyoda (BASE, RIKEN)</p>	<p>1pG07 イオンビーム誘発UVB耐性変異体イネ<i>utr319</i>の解析 高野成央¹, 高橋祐子¹, 山本充¹, 寺西美佳¹, 長谷純宏², 坂本綾子², 田中淳², 日出間純¹ (東北大・院・生命,²日本原子力機構・量子ビーム)</p>	<p>1pH07 Ca2+依存性プロテインキナーゼによる免疫反応である活性酸素発生の制御機構 榎村麻友, 上坂有矢, 韓宇龍, 蔡晃植 (長浜バイオ大・バイオ)</p>	シンポジウムS-05	シンポジウムS-06	シンポジウムS-07	シンポジウムS-08	15:00
<p>1pE08 アガパンサスにおけるアシルグルコース依存型アントシアニン配糖化酵素の解析 宮原平, 高橋真理子, 小関良宏, 佐々木伸大 (農工大・工・生命)</p>	<p>1pF08 ㊦ Computational Prediction and Characterization of Antisense RNAs in Arabidopsis thaliana Using mRNA-seq Data Kei Iida¹, Shuui Kawaguchi¹, Akihiro Matsui², Motoaki Seki², Tetsuro Toyoda¹ (BASE, RIKEN, ²PSC, RIKEN)</p>	<p>1pG08 フィトクロムによるトマト芽生えのフック巻込みには胚乳因子が必要である 謙平清江¹, 松村菜里子², 姉川彩¹, 大西美輪¹, 深城英弘¹, 三村徹郎¹, 橋本徹², 七條千津子¹ (神戸大・院・理,²神戸大・理,³魚崎生科研)</p>	<p>1pH08 植物病原細菌由来の鞭毛タンパク質フラジエリンのイネにおける認識機構の解析 柱本雄也, 小栗章成, 柁山航介, 梶本博文, 田中佑佳, 高井亮太, 蔡晃植 (長浜バイオ大・院・バイオ)</p>	最先端イメージングが拓く植物科学の新时代 (13:30-16:15)	Phytochemical Genomics: Genome-wide understanding of metabolic diversity in plants (13:30-16:35)	種子の休眠と発芽制御の多様性とその分子基盤 (13:30-16:25)	モデル植物ゼニゴケで探る陸上植物の普遍原理と多様性 (13:30-16:30)	15:15
<p>1pE09 Characterization of Rice Long-Chain Base Δ4 Desaturase Toshiki Ishikawa¹, Minoru Nagano², Hirofumi Uchimiyama^{3,4}, Maki Kawai-Yamada^{1,3} (Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ., ²Grad. Sch. Biol. Sci., NAIT, ³IEST, Saitama Univ., ⁴Iwate Biotech. Res. Cent.)</p>	<p>1pF09 ㊦ Normalization, Multiplicity of tests, Principal Component Analysis, and Noise of Microarray and RNA-seq Data. Tomokazu Konishi (Akita Pref. Univ.)</p>	<p>1pG09 ㊦ シロイヌナズナの形態形成や生長相転換時期を制御する相同転写因子の解析 藤原すみれ¹, 木越君子¹, 四方雅仁^{1,2}, 光田展隆¹, 高木優¹ (産総研・生物プロセス,²生物研・植物科学)</p>	<p>1pH09 病原菌エフェクターの標的であるOsRLCKを介したキチンシグナル伝達機構の解析 山口公志¹, 石川和也¹, 山田健太¹, 石濱信明², 濱田聡², 津下誠治⁴, 吉岡博文², 鳥本功³, 川崎努¹ (近畿大学・バイオサイエンス,²名大院・生命農学,³奈良先端大・バイオサイエンス,⁴京府大・院・生命環境)</p>					15:30
<p>1pE10 Biochemical characterization of a novel apyrase, MP67, from <i>Mimosa pudica</i> Shogo Ueda, Riku Okuhata, Nobuyuki Kanazawa (Fac. of Sci. & Tech., Sophia Univ)</p>	<p>1pF10 ㊦ Transcriptional analysis of the rice genes encoding GABA-transaminase and manipulation of GABA shunt for sustained accumulation of GABA in the rice grain Kazuhiro Akama, Yasuka Shimajiri, Kae Ozaki, Kumiko Kainou (Dept. of Biol. Sci., Shimane Univ.)</p>	<p>1pG10 ㊦ Isolation of rice (<i>Oryza sativa</i>) mutants defective in UV-B-specific anthocyanin accumulation response Nobushige Seo, Mitsuhiro Suzuki, Moritoshu Iino (Botanical Gardens, Grad. Sch. of Sci., Osaka City Univ.)</p>	<p>1pH10 植物免疫におけるOsPUB44の機能とType IIIエフェクターXoo3222による阻害機構 石川和也¹, 山口公志¹, 坂本一明¹, 村口由一郎¹, 津下誠治², 鳥本功³, 児嶋長次郎⁴, 川崎努¹ (近畿大・農,²京府大・院・生命環境,³奈良先端大・バイオ,⁴大阪大・蛋白質研)</p>					15:45
<p>1pE11 シロイヌナズナにおいてリグニン合成へ関与するペルオキシダーゼの基質酸化能の解析 重藤潤, 堤祐司, 近藤隆一郎 (九大・農)</p>	<p>1pF11 マイクロアレイと次世代シーケンサーデータに基づく植物遺伝子発現解析データベースCoPの機能拡張 尾形善之^{1,2}, 鈴木秀幸², 櫻井望², 菊地淳^{1,2}, 柴垣大輔² (理研・P S C,²かずさDNA研,³横浜市大・生命ナノ)</p>	<p>1pG11 ㊦ Biochemical characterization of light-dependent signal transmission from PixD to PixE Shukun Ren¹, Masato Sawada², Koji Hasegawa¹, Hiroyuki Ohta¹, Shinji Masuda^{1,4} (Cent. of Biol. Resources and Inform. Tokyo Inst. of Tech., ²Grad. School of Bios. Biotech. Tokyo Inst. of Tech., ³Advancesoft Corp. Akasaka, Tokyo., ⁴PREST. JST)</p>	<p>1pH11 シロイヌナズナのキチン認識におけるLysM型受容体の役割 新屋友規¹, 元山記子¹, 早船真広¹, 神谷光太¹, 谷本匠¹, 鳴坂真理², 鳴坂義弘², 賀来華江¹, 渋谷直人¹ (明治大・農,²岡山生物研)</p>					16:00
<p>1pE12 The role of the C-terminal extension in the ferredoxin-NADP⁺ oxidoreductase from the green sulfur bacterium <i>Chlorobium tepidum</i> and the gram-positive bacterium <i>Bacillus subtilis</i> Daisuke Seo¹, Tomoya Asano², Genji Kurisu³, Yoshiki Higuchi⁴, Takeshi Sakurai¹ (Grad. Sch. of Nat. Sci. and Tec., Kanazawa Univ., ²Adv. Sci. Res. Cent., Kanazawa Univ., ³Inst. for Prot. Res., Osaka Univ., ⁴Grd. Sch. of Lif. Sci., Univ. of Hyogo)</p>	<p>1pF12 植物細胞の顕微鏡画像マイニングのための繰返しクラスタリング法 杉名夏彦¹, 松垣匠^{1,2}, 馳澤盛一郎^{1,2} (東京大・院新領域,²JST 先端計測)</p>		<p>1pH12 防御から共生へ: LysM型受容体キナーゼの分子進化が可能にしたマメ科植物-根粒菌共生 中川知己¹, 賀来華江¹, 浅水恵理香², 岡崎伸³, 下田宣司⁴, 佐伯和彦³, 河内宏⁴, 渋谷直人¹ (明治大・農,²筑波大・院生命環境,³奈良女子大・理,⁴生物研)</p>					16:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月17日(土) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光合成・呼吸の環境応答／ 新技術	遺伝・生殖	窒素代謝	オルガネラ
9:00	2aA01 ㊦ Switching of the electron transport chain of unicellular cyanobacteria during nitrogen starvation. Takashi Osanai ^{1,2} , Ayuko Kuwahara ¹ , Hiroko Iijima ¹ , Kazuki Saito ^{1,3} , Masami Hirai ^{1,4} (¹ RIKEN/PSC, ² JST/PRESTO, ³ Fac.of Pharm. Chiba Univ., ⁴ JST/CREST)	2aB01 カルシウム動態に着目した重複受精機構の解析 西巻亜 ¹ , 浜村有希 ¹ , 栗原大輔 ^{1,2} , 東山哲也 ^{1,2} (¹ 名大・院・理, ² JST・ERATO)	2aC01 恒常的窒素制限状態のシロイヌナズナにおいて高CO ₂ 環境で顕在化する窒素欠乏の症状 高谷信之 ¹ , 森万里江 ¹ , 宮本哲郎 ¹ , 木羽隆敏 ² , 前田真一 ¹ , 小俣達男 ¹ (¹ 名大院・生命農, ² 理研・PSC)	2aD01 緑藻クラミドモナスではホメオボックス遺伝子 <i>GSPI</i> により非メンデル遺伝が制御される 西村芳樹 ^{1,2} , 鹿内利治 ¹ , 中村宗一 ⁴ , 川合(山田)真紀 ^{2,3} , 内宮博文 ^{2,3,5} (¹ 京大・理, ² 東大・分生研, ³ 埼玉大・理工, ⁴ 琉球大・理, ⁵ 岩手生工研)
9:15	2aA02 ㊦ Heme partitioning in Arabidopsis cells suggests differential roles of ferrochelatase 1 and 2 (FC1 and FC2) in photosystem formation and hemoprotein supply Nino Espinas ¹ , Koichi Kobayashi ¹ , Nobuyoshi Mochizuki ¹ , Tatsuru Masuda ¹ (¹ Graduate School of Arts and Sciences and Graduate School of Science, The University of Tokyo, ² Graduate School of Science, Kyoto University)	2aB02 光ピンセット法を用いた革新的な植物 <i>in vitro</i> 受精系の開発に向けて 永原史織 ¹ , 須崎大地 ¹ , 浜村有希 ¹ , 東山哲也 ^{1,2} (¹ 名大・院・理, ² JST・ERATO)	2aC02 ㊦ Production and characterization of transgenic tomato plants suppressed GABA transaminase by RNA interference technology Satohi Koike ^{1,2} , Chiaki Matsukura ¹ , Mariko Takayama ¹ , Tsutomu Hosouchi ¹ , Kunihiro Suda ² , Hideyuki Suzuki ¹ , Daisuke Shibata ² , Erika Asamizu ¹ , Hiroshi Ezura ¹ (¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ² Kazusa DNA Research Institute, ³ JSPS Research Fellow)	2aD02 葉緑体DNA複製制御の解析 登谷如洋 ¹ , 宮城鳥進也 (遺伝研・新分野)
9:30	2aA03 <i>Synechocystis</i> sp. PCC6803 の <i>fbxA</i> における二系統の発現誘導 光シグナル 岡田克彦 ^{1,2} , 堀井瑛介 ¹ , 田部井陽介 ¹ , 吉田拓也 ¹ , 神谷明男 ³ , 藤原祥子 ^{1,2} , 都筑幹夫 ^{1,2} (¹ 東京薬科大・生命, ² CREST, ³ 帝京大・薬)	2aB03 次世代シーケンサーを用いたイネ雌性配偶体構成細胞のトランスクリプトーム解析 高梨秀樹 ^{1,2} , 平田悠人 ¹ , 大柳一 ^{3,4} , 瓦岡淳子 ³ , 永田俊文 ¹ , 太田垣駿吾 ¹ , 豊田敦 ² , 藤山秋佐夫 ² , 倉田のり ⁴ , 堤伸浩 ¹ (¹ 東大院・農, ² 名大院・理, ³ 三菱スペース・ソフトウェア株式会社, ⁴ 遺伝研・系統生物研究センター, ⁵ 遺伝研・生物遺伝資源情報総合センター)	2aC03 Evidence to support a function of glutamine synthetase1:2 in the primary assimilation of ammonium ions in rice roots Kazuhiro Funayama, Mayumi Tabuchi-Kobayashi, Yuki Sawa, Kojima Soichi, Toshihiko Hayakawa, Tomoyuki Yamaya (Fac. of Agr., Tohoku Univ.)	2aD03 色素体RNA結合タンパク質NUS1は低温ストレス下における葉緑体転写・翻訳装置の発現維持に必須である 植見健介, 堤彩奈, 射場厚 (九州大院・理)
9:45	2aA04 海洋性珪藻の葉緑体カーボニックアンヒドラーゼのチオレドキシンを介した酸化還元調節 菊谷早絵 ¹ , 田中理恵 ¹ , 山崎有希子 ¹ , 原裕 ² , 久堀徹 ² , Peter Kroth ³ , 松田祐介 ¹ (¹ 関学大院・理工, ² 東工大・資源研, ³ Fachbereich Biologie, Universität Konstanz)	2aB04 イネ単離配偶子および受精期のオーム解析による配偶子融合関連因子の探索 安彦真文, 岡本龍史 (首都大院・理工・生命科学)	2aC04 NRT1.1変異株のアモンニア耐性メカニズムの解析 峰谷卓上, 寺島一郎, 野口航 (東大院・理)	2aD04 シロイヌナズナ T87細胞で誘導される葉緑体分化に際した核遺伝子の発現制御 江波和彦, 木山貴史, 田中寛, 華岡光正 (千葉大・院・園芸)
10:00	2aA05 シアノバクテリアの脂質輸送に関わるストレス誘導性 Slr1045 の発現解析 田原寛子 ¹ , 内山純爾 ² , 松本幸次 ³ , 太田高孝 ^{1,2} (¹ 東理大・理, ² 東理大・総研, ³ 埼玉大・理・分子生物)	2aB05 イネの倍数体間交雑における胚乳発生異常の解析 関根大輔 ¹ , 大西孝幸 ¹ , 古海弘康 ² , 吉野みほ子 ¹ , 倉田のり ² , 木下哲 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオサイエンス, ² 国立遺伝学研究所)	2aC05 イネの硝酸誘導型転写抑制因子 OsRIN の機能解析 佐脇直哉 ¹ , 辻本良真 ¹ , 執行美香保 ¹ , 藤原徹 ¹ , 柳澤修一 ^{1,2} (¹ 東大院・農学生命科学, ² 東大・生物生産工学研究センター)	2aD05 イネの triple-targeting CPD 光回復酵素のオルガネラ移行シグナル配列に関する解析 高橋さやか, 高橋正明, 寺西美佳, 日出間純 (東北大・院・生命科学)
		光周性・リズム・時計		
10:15	2aA06 シロイヌナズナの環境栄養応答に関する主要代謝経路のメタボローム測定データを用いた比較ネットワーク解析 佐藤遼, 柳澤修一 (東大・生物生産工学研究センター)	2aB06 Characterization of Methionine Synthase from <i>Cassia obtusifolia</i> Yuki Otsuka ¹ , Yoshiyuki Manabe ² , Yoichi Kawashima ¹ , Shoko Hamaguchi ¹ , Minoru Ueda ² , Nobuyuki Kanzawa ^{1,3} (¹ Fac. of Sci. & Tech., Grad. Sch., Sophia Univ., ² Fac. of Sci., Grad. Sch., Tohoku Univ., ³ Fac. of Sci. & Tech., Sophia Univ.)	2aC06 高い窒素同化効率を持つシロイヌナズナエコタイプ Di-2 のメタボローム解析 齊藤幸司 ¹ , 柿直淳太郎 ¹ , 宮城敦子 ² , 門田慧奈 ¹ , 後藤伸治 ¹ , 内宮博文 ^{2,3} , 射場厚 ¹ (¹ 九州大院・理, ² 埼玉大・環境科学研究センター, ³ 岩手生工研, ⁴ 理研BRC・客員)	2aD06 シロイヌナズナ斑入り変異株 <i>han</i> の解析 清水香里 ¹ , 小林賢太 ² , 有賀大輔 ³ , 中西弘充 ³ , 金子康子 ⁴ , 田口悟朗 ¹ , 松村英生 ⁴ , 林田信明 ¹ (¹ 信大院・工研科, ² 信大・応生系, ³ 信大院・総研科, ⁴ 信大・遺伝子, ⁵ 信大・SVBL, ⁶ 埼玉大・教育)
10:30	2aA07 遅延蛍光による非破壊的光合成評価法のシロイヌナズナへの活用 鳥崎あづみ ¹ , Paweena Chuenwarin ¹ , 清水正則 ² , 小林祐子 ³ , 勝又政和 ³ , 小林裕和 ¹ (¹ 静岡県大院・生活健康・植物機能開発, ² 浜松大・健康プロデュース, ³ 浜松トニクス・中央研)	2aB07 概日時計の光入力系遺伝子 <i>pex</i> の発現抑制と青色光 小林孝行, 查名伸介 (横浜市大・生命ナノ)	2aC07 硝酸イオンによる根の形態変化に異常を示すミヤコグサ新規突然変異体の解析 矢野幸司 ¹ , 寿崎拓哉 ^{1,2} , 佐藤修正 ³ , 田畑哲之 ³ , 河内宏 ⁴ , 梅原洋佐 ⁴ , 川口正代司 ^{1,2} (¹ 基生研, ² 総研大, ³ かずさDNA研, ⁴ 農業生物資源研)	2aD07 ヒメツリガネゴケにおいて葉緑体分裂に関与する D-アラニン・D-アラニンリガーゼ谷所幸治 ¹ , 武智克彰 ¹ , 瀧尾進 ^{1,2} , 高野博嘉 ^{1,3} (¹ 熊大・院・自然科学, ² 熊大・沿岸域センター, ³ 熊大・バイオエレクトロニクス研究センター)

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
遺伝子発現・代謝・輸送 (英語)	情報伝達	光受容体	イオン・塩・金属	シンポジウムS-09	シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	
2aE01 ㊦ Molecular mechanism of cytosolic Zn ²⁺ concentration sensing by a cyanobacterial transcription factor SmtB from <i>Synechococcus</i> sp. PCC 7942. Eugene Hayato Morita ^{1,2} , Shunnosuke Abe ¹ , Takahisa Ikegami ³ , Hidenori Hayashi ^{4,5} (1Lab. Mol. Cell Physiol., Fac. Agr., Ehime Univ., 2Vent. Buis. Lab., Ehime Univ., 3Prot. Res. Inst., Osaka Univ., 4Dept. Chem., Fac. Sci., Ehime Univ., 5CSTRC, Ehime Univ.)	2aF01 シロイヌナズナのホルムアルデヒドストレス応答と活性酸素種(ROS)の関与に関する解析 久保登 ¹ , 榎原均 ² , 栗須孝光 ³ , 朽津和幸 ^{3,4} , 由理本博也 ^{4,5} , 阪井康能 ^{4,5} , 秋田求 ¹ , 大和勝幸 ¹ , 泉井桂 ¹ (1近畿大・院・生物理工, 2理研・PSC, 3東京理科大・総合研究機構, 4東京理科大・院・理工・応用生物科学, 5京都大・院・農, 6近畿大・先端研)	2aG01 気孔孔辺細胞に特異的に発現する遺伝子の探索 小屋畑太, 小野奈津子, 木下俊則 (名古屋大・院理)	2aH01 シアノバクテリアにおける分泌性アルカリフォスファターゼPhoDの塩ストレス応答 景山伯春 ¹ , Rungaroon Waditee-Sirisatttha ² , Ashwani K. Rai ³ , 高倍昭洋 ^{1,4} (1名城大院・総合学術, 2タイ国家遺伝子工学バイオテクノロジーセンター・植物, 3パナナスヒンズー大・植物, 4名城大・総合研)	シンポジウムS-09	シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	9:00
2aE02 ㊦ MORF family proteins: Novel RNA editing factors in mitochondria and plastids of plants Mizuki Takenaka, Anja Zehrmann, Daniil Verbitskiy, Matthias Kugelmann, Barbara Haertel, Axel Brennicke (Mol. Bot. University Ulm)	2aF02 好熱性シアノバクテリアの細胞凝集機構 早乙女敏行 ¹ , 河野 祐介 ² , 田村海也 ¹ , 成川礼 ^{1,2} , 池内昌彦 ¹ (1東大院・総, 2信州大・農, 3JST さきがけ)	2aG02 光周性経路による気孔開口の制御 大西真人 ¹ , 井上晋一郎 ¹ , 松下智直 ² , ワンイン ¹ , 木下俊則 ¹ (1名古屋大・理, 2九州大・農)	2aH02 ㊦ Photosynthetic characterization and microsatellite analysis of eelgrass (<i>Zostera marina</i> L.) in Ise-Mikawa Bay Yoshito Tanaka ¹ , Ayumi Shibata ¹ , Tsukasa Yoshida ² , Minoru Fukaya ³ , Teruhiro Takabe ^{1,4} (1Grad. Sch. of Environ. Human Sci., Meijo Univ., 2Chateau Marine Survey Co., Ltd., 3Fac. Sci. Technol., Meijo Univ., 4Res. Inst., Meijo Univ.)	データベース講習会 (9:00-12:00)	Molecular mechanism of auxin regulation in plants (9:00-12:00)	福島第一原子力発電所事故にともなう植物への放射性物質蓄積 (9:00-12:00)	器官が扁平になるとき…その基本メカニズムとエポデボ (9:00-12:00)	9:15
2aE03 ㊦ Small RNA-mediated translation repression and the role of raptor, the regulatory associated protein of TOR (target of rapamycin) Tomohito Yamasaki ¹ , Heriberto Cerutti ² , Takeshi Ohama ¹ (1Env., Kochi Univ. of Tech., 2PSI, Univ. of Nebraska)	2aF03 Regulation mechanism of DNA replication in cyanobacteria <i>Synechococcus elongatus</i> PCC7942 Ryudo Ohbayashi ¹ , Satoru Watanabe ¹ , Yu Kanesaki ² , Rei Narikawa ¹ , Taku Kibazakura ¹ , Masahiko Ikeuchi ³ , Hirofumi Yoshikawa ¹ (1Dept. of Biosci., Tokyo Univ. of Agric., 2Dept. of Lifesci., Tkyou Univ., 3Dept. of Lifesci., Tkyou Univ.)	2aG03 FTホモログTSFによる気孔開口の促進 安藤英伍, 大西真人, 井上晋一郎, 林優紀, 木下俊則 (名古屋大・院理・生命理学)	2aH03 ㊦ Target genes of AtbHLH106 and their participation in salt stress regulation in <i>Arabidopsis</i> Aftab Ahmad, Yasuo Niwa, Hirokazu Kobayashi (1Lab. Plant Mol. Improv., Grad. Sch. Nutr. Envir. Sci., Univ. Shizuoka)					9:30
2aE04 ㊦ Decapping proteins are involved in the accumulation of miRNA in <i>Arabidopsis thaliana</i> Kazuki Motomura, Thi Nhat Quy Le, Naoyoshi Kumakura, Atsushi Takeda, Yuichiro Watanabe (Grad. Sch. of Arts and Sci., Tokyo Univ.)	2aF04 転写制御配列予測を用いた光ストレス応答性遺伝子ELIP2のプロモーター解析 坂井優作 ¹ , 吉岡洋平 ¹ , 百町満朗 ¹ , 時澤隆朋 ¹ , 小林佑理子 ¹ , 小山博之 ¹ , 井内聖 ² , 小林正智 ² , 石野はるか ¹ , 山本義治 ¹ (1岐阜大・応用生物, 2理研・BRC)	2aG04 FTに誘導される気孔開口のシグナル伝達の解析 渡辺藍子, 大西真人, 井上晋一郎, 富山将和, 木下俊則 (名古屋大・院理・生命理学)	2aH04 ㊦ A putative ER-localized magnesium transporter OsMG1 is involved in aluminum tolerance in rice Zhichang Chen, Naoki Yamaji, Jian Feng Ma (IPSR, Okayama Univ.)					9:45
2aE05 ㊦ Formation of root-knot nematode infection site is impaired by knockdown of a host Polycomb gene Arshana Nor Noorul Amin ¹ , Chris Helliwell ² , Mitsuru Osaki ¹ , Derek Goto ^{1,3} (1Grad Sch Agr, Hokkaido Uni., 2CSIRO Plant Industry, Australia, 3CRIS, Hokkaido Uni.)	2aF05 ユビキチンリガーゼATL31とその標的14-3-3タンパク質によるC/N応答制御 安田盛貴, 前川修吾, 佐藤長嶺, 山口淳二 (北大院・生命)	2aG05 赤外線サーモグラフィによる気孔の青色光シグナル伝達因子の探索 武宮淳史, 藤本宏, 島崎研一郎 (九大院・理)	2aH05 OsMTP8.1 contribute to Mn tolerance by sequestering Mn to vacuoles in shoot of rice Daisei Ueno ¹ , Zonghui Chen ¹ , Takehiro Kamiya ² , Kozo Iwasaki ¹ , Shin-ichiro Kato ¹ , Naoki Yamaji ³ , Jian Feng Ma ⁴ (1Faculty of Agriculture, Kochi University, 2Department of Applied Biological Chemistry, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, 3Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)					10:00
2aE06 ㊦ Role of ALAC4 (ALArm Clock for FWA imprinting 4) in DNA methylation dynamics of endosperm imprinted genes Diana Mihaela Buzas, Yuki Kinoshita, Yukiko Sugimoto, Tetstu Kinoshita (NAIST)	2aF06 シロイヌナズナ活性酸素種生成酵素AtRbohD, AtRbohFの新奇活性制御候補因子の単離と機能解析 新堀仁美, 河原崎朋子, 路川真貴, 今井亜耶, 山本悠太, 賀屋秀隆, 朽津和幸 (東京理科大院・理工・応用生物科学)	2aG06 青色光によらず暗所で気孔が開くシロイヌナズナ突然変異体の探索 梶後文 ¹ , 武宮淳史 ² , 島崎研一郎 ² (1九大院・システム生命, 2九大院・理)	2aH06 イネのマンガン吸収に関与する輸送体遺伝子の機能解析 佐々木明正, 山地直樹, 馬建鋒 (岡山大・植物研)					10:15
2aE07 ㊦ ATXR3, a novel histone methyltransferase, is required for the epigenetic activation of <i>FLC</i> and the flowering repression Yosuke Tamada ^{1,2,3} , Jae-Young Yun ¹ , Ye Eun Kang ⁴ , Seung chul Woo ¹ , Noriko Masuda ¹ , Richard M. Amasino ¹ (1Dept. of Biochemistry, Univ. of Wisconsin-Madison, 2Div. of Evol. Biol., Natl. Inst. of Basic Biol., 3Sch. of Life Sci., Grad. Univ. for Adv. Stud.)	2aF07 イネにおける小胞体ストレス応答の分子機構 林晋平, 若佐雄也, 高橋英之, 川勝泰二, 高岩文雄 (農業生物資源研究所・遺伝子組換え研究センター)	2aG07 シロイヌナズナphot1 LOV2-キナーゼペプチドを用いたLOV2のN末端側領域へのアミノ酸変異導入解析 嘉祥寺谷幸子, 岡島公司, 徳富哲 (大阪府立大・院・理)	2aH07 OsMTP9 is required for root-to-shoot Mn translocation in rice Yumi Fujii ¹ , Yuka Akagi ¹ , Zonghui Chen ¹ , Kozo Iwasaki ¹ , Shin-ichiro Kato ¹ , Naoki Yamaji ² , Jian Feng Ma ³ , Daisei Ueno ⁴ (1Faculty of Agriculture, Kochi University, 2Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)					10:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月17日(土) 午前(9:00-12:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
10:45	2aA08 Synechocystis sp. PCC 6803における高効率なトランスポソング系系の開発 渡部和幸, 三室守, 土屋徹 (京大院・人間環境)	2aB08 構成的アプローチによる、植物の生物時計の組織特異的な役割の解明 遠藤求 ¹ , Kay Steve ² , 荒木崇 ¹ (¹ 京大・院・生命, ² University of California San Diego)	2aC08 ユビキチンリガーゼATL31はC/Nに応じて14-3-3タンパク質安定性を制御する 佐藤長雄, 前川修吾, 安田盛貴, 山口淳二 (北大院・生命)	2aD08 RelA/SpoT ホモログRSHのシロイヌナズナにおける葉緑体機能制御機構の解析 朴木里奈 ¹ , 前川未来 ¹ , 水澤一樹 ¹ , 太田啓之 ² , 増田真二 ² (¹ 東工大・生命理工, ² 東工大・バイオセンター)
11:00	2aA09 Gloeobacter violaceus PCC 7421での形質転換系およびレポーター系の開発 荒木美英, 嶋田友一郎, 三室守, 土屋徹 (京大院・人間環境)	2aB09 一細胞発光イメージングが明らかにするウキウキ個体内における細胞概日時計の性質 村中智明 ¹ , 小山時隆 ^{1,2} (¹ 京大院・理, ² 科学技術振興機構・さきがけ)	2aC09 ラン藻Leptolyngbya boryanaのFd・Fd-GOGAT電子伝達複合体のX線結晶構造解析 新村佳奈子, 村木則文, 吉田綾子, 長谷俊治, 栗栖源嗣 (阪大・蛋白研)	2aD09 シロイヌナズナ葉の炭素制限環境におけるRCB/オートファジー系の生理的意義について 泉正範, 牧野周, 石田宏幸 (東北大院・農)
11:15	2aA10 Improvement of biomass productivity in the oil-producing green microalga Pseudochlorocystis ellipsoidea Junpei Hayakawa ¹ , Hiroaki Fukuda ² , Yuji Yamaguchi ³ , Shigeaki Harayama ¹ (¹ Fac. Sci. and Eng., Chuo Univ., ² DENSO CORP., ³ MicroAlgae CORP.)	2aB10 岩類ゼニゴケを用いた基部陸上植物の概日時計因子の解析 久保田西 ¹ , 喜多祥吾 ¹ , 久保田佐綾 ² , 村中智明 ³ , 石崎公庸 ¹ , 大和勝幸 ³ , 青木根之 ⁴ , 小山時隆 ² , 河内孝之 ¹ (¹ 京大院・生命, ² 京大院・理, ³ 近大・生物理工, ⁴ 名大院・情報科学)	2aC10 ㊦ Site-Directed Mutagenesis of Anabaena sp. PCC 7120 Nitrogenase Active Site to Increase Photobiological Hydrogen Production Hajime Masukawa ^{1,2} , Kazuhito Inoue ^{2,3} , Hidehiro Sakurai ⁴ , Robert Hausinger ^{4,5} (¹ JST PRESTO, ² Res. Inst. for Photobiol. Hydrogen Production, Kanagawa Univ., ³ Dept. of Biol. Sci., Kanagawa Univ., ⁴ Dept. of Microbiol. & Mol. Genet., Michigan State Univ., ⁵ Dept. of Biochem. & Mol. Biol., Michigan State Univ.)	2aD10 植物細胞核の形態形成に関与する核膜タンパク質KAKU4の機能解析 後藤千恵子 ¹ , 田村謙太郎 ¹ , 深尾陽一朗 ² , 嶋田知生 ¹ , 西村いくこ ¹ (¹ 京大・院理, ² 奈良先端大・バイオ・植物グローバル)
11:30	2aA11 単細胞性紅藻Cyanidioschyzon merolaeにおけるヘムオキシゲナーゼの局在解析 小野智央 ¹ , 大庭優作 ¹ , 渡辺智 ¹ , 千葉櫻拓 ¹ , 田中寛 ² , 吉川博文 ¹ (¹ 東京農大・応生科・バイオ, ² 東工大・生物資源)	2aB11 LKP2とZTLはシロイヌナズナの光周性花芽形成をFKF1依存的に抑制する 高瀬智敏 ^{1,2} , 西山雄樹 ^{1,2} , 谷東春奈 ² , 小倉康裕 ^{1,2} , 宮崎裕士 ^{1,2} , 山田裕美子 ¹ , 清未知宏 ^{1,2} (¹ 学習院大・理, ² 香川大・総合生命)	2aC11 ㊦ Analysis of an Arabidopsis mutant sensitive to calcium deficiency Tomoko Hirano ¹ , Yusuke Enomoto ¹ , Mutsumi Yamagami ² , Takehiro Kamiya ¹ , Shinichiro Sawa ¹ , Ryo Tabata ³ , Masashi Yamada ⁴ , Mitsuyasu Hasebe ⁵ , Hideharu Shigenobu ⁵ , Katsushi Yamaguchi ⁶ , Toru Fujiwara ^{1,7} (¹ Grad. Sch. Agr. Life Sci. Univ. Tokyo, ² Institute of Environmental Sciences., ³ Fac.Sci., Kumamoto Univ., ⁴ Duke University, ⁵ National Institute of Basic Biology, ⁶ Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. of Sci., ⁷ CREST/JST)	2aD11 シロイヌナズナにおける細胞核形態を維持する因子の解析 坂本勇貴, 高木慎吾 (大阪大・理)
11:45	2aA12 インプレノイド生産性シアノバクテリアの創出 清田浩史 ^{1,2} , 伊藤美千穂 ¹ , 平井優美 ^{2,3} , 池内昌彦 ¹ (¹ 東京大・理, ² 理研・PSC, ³ 戦略的創造研究推進事業, ⁴ 京大・薬)		2aC12 ㊦ Involvement of an invertase in the plastid signaling-mediated regulation of carbon and nitrogen balance Daniel Padilla-Chacon ¹ , Nozomi Miyazaki ² , Kumi Otori ¹ , Takanori Maruta ³ , Masahiro Tamoi ² , Shigeru Shigeoka ^{1,2} (¹ Dept. Adv. Biosci., Fac. Agr., Kinki Univ., ² Dept. Adv. Biosci., Grad. Sch. Agr., Kinki Univ., ³ Dept. Appl. Biosci. and Biotech., Fac. Life and Environ. Sci., Shimane Univ.)	

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間	
<p>2aE08 ㊦ スターチシンターゼ IIIa (SSIIIa) の欠損及び高発現型澱粉結合性スターチシンターゼ I (GBSSD) による高アミロース米の創出 クロフツ尚子¹, 阿部克², 伊藤紀美子³, 伊藤のみ子⁴, 中村保典⁴, 藤田直子¹ (秋田県立大・生物資源科学,²新潟大・院・自然科学,³新潟大・自然科学,⁴秋田県立大 研究・地域貢献)</p>	<p>2aF08 Identification and Functional Analysis of Tyrosine Phosphorylation dependent MAP Kinase Cascade. Keiichiro Nemoto^{1,2}, Gen-ichiro Arimura^{3,4}, Masahiro Nishihara⁵, Motoaki Seki⁶, Kazuo Shinozaki⁷, Yaeta Endo^{1,2}, Tatsuya Sawasaki^{1,2} (Cell-Free Science and Technology Research Center, Ehime University,²The Venture Business Laboratory, Ehime University,³Global COE Program: Evolution and Biodiversity, Graduate School of Science, Kyoto University,⁴Center for Ecological Research, Kyoto University,⁵Twate Biotechnology Research Center,⁶Plant Genomic Network Research Team, RIKEN Plant Science Center,⁷Gene Discovery Research Group, RIKEN Plant Science Center)</p>	<p>2aG08 フォトリロピンのLOV2領域・N末端側近傍の変異によりキナーゼ活性の抑制機能が失われる 相原悠介¹, 山本隆晴², 岡島公司³, 山本和彦⁴, 鈴木友美⁴, 徳富哲³, 田中一馬², 長谷あきら¹ (京大院・理,²北大・生命,³大阪府大・理)</p>	<p>2aH08 A. thaliana accessions 間におけるLi耐性バリエーションの解析 神山綾子¹, 香取拓¹, 井内聖², 小林正智², 坂田洋一¹, 林隆久¹, 太治輝昭¹ (東京農大・バイオ,²理研・BRC)</p>	シンポジウムS-09		シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	10:45
<p>2aE09 ㊦ Transcriptome regulation of lipid metabolism during fruit development in a biofuel plant <i>Jatropha curcas</i>. Kinya Akashi¹, Masataka Kajikawa¹, Yoshiyuki Ogata², Sony Suharsono³, Utut Widyastuti⁴, Naoki Adachi⁵, Shinji Kondoh¹, Jun Kikuchi^{5,6,7}, Akiho Yokota¹ (Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST,²RIKEN Plant Sci. Center,³Bogor Agric. Univ.,⁴RIKEN Adv. Sci. Institute,⁵RIKEN Biomass Eng. Prog.,⁶Grad. Sch. Bioagri., Nagoya Univ.,⁷Grad. Sch. BionanoSci., Yokohama City Univ.)</p>	<p>2aF09 ㊦ Characterization of phosphorylation of calcineurin B-like calcium sensor proteins by their interacting protein kinases. Kenji Hashimoto¹, Christian Eckert¹, Uta Anschuez², Martin Scholz¹, Katrin Held¹, Rainer Waadt¹, Michael Hippler¹, Dirk Becker², Joerg Kudla¹ (Institut fuer Biologie und Biotechnologie der Pflanzen, Universitaet Muenster, Schlossplatz 4, 48149 Muenster, Germany,²Julius-von-Sachs-Institut fuer Molekulare Pflanzenphysiologie und Biophysik, Universitaet Wuerzburg, Julius-von-Sachs-Platz 2, D-97082 Wuerzburg, Germany)</p>	<p>2aG09 Coordinate dynamics of CHUP1 and cp-actin filaments on moving chloroplasts Sam-Geun Kong, Noriyuki Suetsugu, Masamitsu Wada (Grad. of Sci., Kyushu Univ)</p>	<p>2aH09 シロイヌナズナ accessions におけるセシウム吸収メカニズムの解明 新岡桂平¹, 香取拓¹, 坂田洋一¹, 林隆久¹, 井内聖², 小林正智², 太治輝昭¹ (東京農大・バイオ,²理研・BRC)</p>	シンポジウムS-09		シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	11:00
<p>2aE10 ㊦ Deep-Transcriptome Analysis of <i>Lupinus angustifolius</i> and Its Application to the Identification of Genes Associated with Quinolizidine Alkaloids Biosynthesis Somnuk Bunsupa¹, Keiichi Mochida^{2,3,4}, Mami Yamazaki^{1,5}, Kazuki Saito^{1,3} (Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University,²RIKEN Biomass Engineering Program,³RIKEN Plant Science Center,⁴Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University,⁵CREST, JST)</p>	<p>2aF10 ㊦ Transcriptional regulation of plant defenses against herbivores Ivan Galis^{1,2}, Youngjoo Oh¹, Ian T. Baldwin¹ (Max-Planck Institute for Chemical Ecology, Jena, Germany,²Okayama University, Institute of Plant Science and Resources, Kurashiki, Japan)</p>	<p>2aG10 葉緑体光定位運動変異体における核の光定位運動の解析 比嘉毅¹, 末次憲之², 和田正三² (九大院・シス生,²九州大・院理)</p>	<p>2aH10 <i>Thellungiella</i> 完全長cDNAを用いた耐塩性 Fox hunting により同定された AP 型転写因子の機能解析 上杉晴輝¹, 鈴木江莉奈¹, 坂田洋一¹, 林隆久¹, 篠崎一雄², 箕輪貴司³, 太治輝昭¹ (東京農大・バイオ,²理研・PSC,³物質・材料研)</p>	シンポジウムS-09		シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	11:15
	<p>2aF11 孔辺細胞においてK⁺チャネルを介して気孔開口を促進する転写因子の同定とABAに応答したリン酸化による活性阻害 高橋洋平¹, 蛭子雄太¹, 木下俊則^{1,2}, 土井道生³, 大熊英治⁴, 村田芳行⁴, 鳥崎研一郎¹ (九州大・院理・生物科学,²名古屋大・院理・生命科学,³九州大・高教センター,⁴岡大院・自然科学)</p>	<p>2aG11 フォトリロピン依存の葉の展開に関わる因子 末次憲之¹, 孔三根, 和田正三 (九州大・院理)</p>	<p>2aH11 プロテオーム解析によるヒメツリガネゴケのアルミニウムストレス応答の解析 久田春香, 太治輝昭, 林隆久, 坂田洋一 (東京農大・バイオ)</p>	シンポジウムS-09		シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	11:30
	<p>2aF12 免疫組織学的手法による孔辺細胞細胞膜H⁺-ATPaseの青色光に依存したリン酸化の検出 林真妃, 井上晋一郎, 高橋宏二, 木下俊則 (名古屋大・院理・生命理学)</p>		<p>2aH12 アジサイのアルミニウム輸送に関わる遺伝子の同定と機能解析 根岸孝至¹, 大島健志朗², 服部正平², 吉田久美¹ (名大院・情報科学,²東大院・新領域)</p>	シンポジウムS-09		シンポジウムS-10	シンポジウムS-11	シンポジウムS-12	11:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月17日(土) 午後(13:00-16:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	光化学系	花成	栄養器官の発生・分化2	細胞周期・分裂/細胞壁
13:00	2pA01 門レベルで新規な光合成細菌 " <i>Candidatus Chloracidobacterium thermophilum</i> " の酸素耐性光化学系 I 型反応中心 塚谷祐介 ^{1,2} , Steven P. Romberger ¹ , John H. Golbeck ¹ , Donald A. Bryant ¹ (ペンシルベニア州立大, ³ 立命館大・総合理工)	2pB01 シロイヌナズナの側芽分裂組織の相転換における FT と BRC1/TCP18 の役割の解析 丹羽優喜, 遠藤求, 荒木崇 (京大・生命)	2pC01 環境に応じて単葉と複葉をつくり分ける植物 ニューベキア (<i>Nebeckia aquatica</i>) を用いた葉の表現型可塑性の研究 中山北斗, 木村成介 (京大・総合生命)	2pD01 ㊦ メリステムにおける DNA 複製のイメージング解析 林耕磨 ¹ , 長谷川淳子 ¹ , 豊岡博子 ² , 西浜竜一 ³ , 金鍾明 ⁴ , 石崎公庸 ⁵ , 野崎久義 ² , 河内孝之 ³ , 関原明 ⁴ , 松永幸大 ¹ (東京理科大学・理工・応用生物, ² 東大・院・理・生物科学, ³ 京大・院・生命科学・統合生命科学, ⁴ 理研・植物科学研究センター・植物ゲノム発現)
13:15	2pA02 新規フィコビリソーム・光化学系 I 複合体の機能解析 渡辺麻衣 ¹ , 得平茂樹 ^{2,3} , 成川礼 ^{1,3} , 大森正之 ² , 池内昌彦 ¹ (東大院・総合文化, ² 中央大・理工, ³ JST・さきがけ)	2pB02 リン酸化による bZIP 型転写因子 FD の機能制御機構とタンパク質キナーゼの探索 川本望 ¹ , 遠藤求 ¹ , 笹部美知子 ² , 町田泰則 ² , 荒木崇 ¹ (京大・院・生命, ² 名大・院・理)	2pC02 複葉の小葉パターン決定機構に関する比較発生学的解析 池内桃子 ^{1,2} , 山口貴大 ¹ , 立松圭 ² , 岡田清孝 ² , 塚谷裕一 ¹ (東大院・理, ² 基生研)	2pD02 新奇 APC/C 阻害タンパク質をコードする <i>GIG1</i> と <i>UVA1</i> の機能分担 池田早希 ¹ , 岩田恵里子 ² , 倉田真理子 ² , 松永幸大 ¹ , 伊藤正樹 ² (名古屋大・農, ² 名古屋大・院・生命農, ³ 東理大・理工・応用生物科学)
13:30	2pA03 緑藻クラミドモナスの光化学系 I 複合体のアンテナサブユニットの生化学的解析 高橋裕一郎, 児玉なつ美, 杉本育代, 久保諒太 (岡山大学・院・自然科学)	2pB03 フロリゲンを介した花成制御機構における FE の役割 阿部光知 ^{1,2} , 山口礼子 ^{1,2} , 平井雅代 ^{1,2} , 渡辺綾子 ¹ , 米田好文 ¹ (東京大・理, ² 生研センター)	2pC03 細胞増殖を促す ANGUSTIFOLIA3 の葉原基における時空間的な発現動態 川出健介 ¹ , 谷本博一 ² , 堀口吾朗 ³ , 平井優美 ¹ , 塚谷裕一 ² (理研 PSC, ² 東大・院・理, ³ 立大・理・生命理)	2pD03 植物の細胞質分裂を制御する新しい因子の同定: CDK リン酸化タンパク質を脱リン酸化する新奇プロテインホスファターゼ 笹部美知子 ¹ , 中野理恵 ² , 南明希 ¹ , 町田泰則 ¹ (名古屋大・院・理)
13:45	2pA04 ㊦ Comparison of structures in cyanobacteria and spinach PSII Asako Kawamori ^{1,2} , Hiroyuki Mino ³ , Jian-Ren Shen ¹ (AGAPE-Kabutoyama Institute of Medicine, ² Physics Department, Fac. Sci. Nagoya Univ., ³ Dept. Biology, Fac. of Sci. Okayama Univ.)	2pB04 シロイヌナズナ FE タンパク質による FT 遺伝子の転写制御の仕組み 平井雅代 ^{1,2} , 山口礼子 ^{1,2} , 渡辺綾子 ¹ , 米田好文 ¹ , 阿部光知 ^{1,2} (東大・院理・生物科学, ² 生研センター)	2pC04 シロイヌナズナの葉の発生分化における AS2 と AS1 による ARF 遺伝子の二重の抑制機構と後成的制御 町田千代子 ¹ , 岩崎まゆみ ¹ , 中川彩美 ¹ , 舟橋明華 ¹ , 浅井俊晴 ¹ , 高橋広夫 ¹ , 小島晶子 ¹ , 町田泰則 ² (中部大・応用生物, ² 名大院・理・生命理学)	2pD04 Cytokinins Determine Endocycle Onset by Modulating APC/CCS52A1 Activity in Arabidopsis Root Naoki Takahashi, Masaaki Umeda (NAIST)
14:00	2pA05 光化学系 II 表在性サブユニット PsbP に保存されたヒスチジン残基の役割 井戸邦夫 ¹ , 垣内秀介 ¹ , 西村太志 ² , 佐藤文彦 ^{1,2} , 伊福健太郎 ^{1,3} (京大院・生命, ² 京大・農, ³ JST・さきがけ)	2pB05 花成経路で機能するフィトクロム相互作用因子 VOZ のシグナル伝達解析 安屋佑季子 ¹ , 上本允大 ¹ , 佐藤雅彦 ² , 河内孝之 ¹ (京大・生命科学, ² 京府大・生命環境科学)	2pC05 シロイヌナズナ <i>ASYMMETRIC LEAVES2</i> 遺伝子とリボソーム RNA 前駆体のプロセシングに関わる因子は葉の軸性の確立に必要である 松村葉子 ¹ , 林里香 ¹ , 大林祝 ² , 小島晶子 ³ , Julio Saez-Vasquez ² , Manuel Echeverria ⁴ , 杉山宗隆 ² , 町田千代子 ³ , 町田泰則 ¹ (名古屋大院・理, ² 東京大・理, ³ 中部大・応用生物, ⁴ Perpignan University)	2pD05 細胞分裂周期から核内倍加周期への移行制御メカニズムの解析 小牧伸一郎 ¹ , 石田喬志 ¹ , Nicola Stacey ² , 杉本慶子 ¹ (理研・PSC, ² John Innes Centre)
14:15	2pA06 人工的に合成した [7-ホルミル]-クロロフィル <i>d</i> を含む光化学系 II の色素組成 土屋徹 ¹ , 秋本誠志 ² , 渡部和幸 ¹ , 鞆達也 ^{3,4} , 三室守 ¹ (京大院・人間環境, ² 神戸大・分子フォト, ³ 東理大・理, ⁴ JST・さきがけ)	2pB06 フロリゲン活性化複合体 FAC の活性調節機構の解析 田岡健一郎 ¹ , 大木出 ¹ , 辻寛之 ¹ , 児嶋長次郎 ^{1,2} , 鳥本功 ¹ (奈良先端大・バイオ, ² 大阪大・蛋白質)	2pC06 シロイヌナズナの葉の向背軸分化を特異的に阻害する新奇低分子化合物の探索とその作用機作の解明 中川彩美 ¹ , 大賀一臣 ² , 車炳允 ³ , 禹濟泰 ^{2,3} , 永井和夫 ^{2,3} , 小島晶子 ^{1,2} , 町田泰則 ¹ , 町田千代子 ^{1,2} (中部大・植物バイオ, ² 中部大院・応用生物, ³ 中部大・生物機能開発研, ⁴ 名古屋大院・理)	2pD06 エンドリデュンプリケーションを利用したトマト果実の大型化 WahyudiAnung ¹ , 原亮介 ¹ , 吉積毅 ² , 松井南 ² , 高橋祥子 ¹ , 本橋金子 ¹ (静岡大院・農, ² RIKEN PSC)
14:30	2pA07 光化学系 II 酸化側での有機ペルオキシド生成 真野純一 ¹ , KhorobrykhSergey A. ² , KhorobrykhAndrei, A. ² (山口大・総合科学セ, ² ロシア科学アカデミー・生物学基礎問題研究所)	2pB07 Florigen Hd3a protein acts as a mobile branching signal in rice. 辻寛之 ¹ , 橘知夏 ¹ , 玉置祥二郎 ¹ , 田岡健一郎 ¹ , 経塚淳子 ² , 鳥本功 ¹ (奈良先端大・バイオサイエンス, ² 東大院・農学生命科学)	2pC07 ㊦ Cell biological study of ASYMMETRIC LEAVES2 protein that regulates formation of flat symmetric leaves in Arabidopsis thaliana Lilian Luo ¹ , Sayuri Ando ² , Michiko Sasabe ¹ , Chiyoko Machida ² , Daisuke Kurihara ^{2,3} , Testuya Higashiyama ^{2,3} , Yasunori Machida ¹ (Grad. Sch. of Sci., Nagoya Univ., ² Grad. School of Biosci. Biotechnol., Chubu Univ., ³ JST, ERATO)	2pD07 ヒメツリガネゴケにおける RNAi スクリーニング法の確立と細胞分裂制御因子の機能解析 中園由貴 ¹ , 藤岡竜太 ¹ , 三木智博 ¹ , 久保稔 ² , 日渡祐二 ^{3,4} , 五島剛太 ¹ (名大・理・生命, ² JST-ERATO, ³ 基生研・生物進化, ⁴ 総研大・生命科学)

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
	小胞輸送	光受容体	イオン・金属・レドックス・酸化	シンポジウムS-13	シンポジウムS-14	シンポジウムS-15	シンポジウムS-16	13:00
	2pF01 細胞極性を司る ARF GTPase 制御因子の解析 植本悟史 ^{1,2} , kleine-vehnJurgen ² , robertstephanie ² , 藤本優 ³ , 台信友子 ³ , 上田貴志 ³ , 中野明彦 ^{1,3} , 福田裕穂 ³ , Frimljir ³ (理研・基幹研, ¹ VIB ゲント大, ² 東大院・理)	2pG01 苔類ゼニゴケにおけるフォトリポリン機能欠損変異体の単離と解析 小松愛乃 ¹ , 芦原悠紀子 ³ , 坪井秀憲 ² , 末次憲之 ² , 石崎公庸 ¹ , 和田正三 ² , 河内孝之 ¹ (京大・生命科学, ² 九州大学大学院 理学研究院, ³ 京大・農)	2pH01 Cd超耐性植物ヘビノゴザの Cd 吸収量に及ぼす培地Ca濃度の影響 吉原利一 ^{1,3} , 北崎真由 ^{1,3} , 鈴井伸郎 ² , 柳澤俊輔 ^{1,3} , 石井里美 ² , 山崎治明 ² , 河地有木 ² , 尹永根 ² , 橋田慎之介 ¹ , 庄子和博 ³ , 島田浩章 ³ , 藤巻秀 ² , 後藤文之 ¹ (電中研・環境科学, ² 原子力研究機構・RI イメージング, ³ 東京理科大・基礎工)	シンポジウムS-13	シンポジウムS-14	シンポジウムS-15	シンポジウムS-16	13:00
	2pF02 植物固有型 RAB5, ARA6 のエフェクターによる輸送制御機構の解析 伊藤瑛海 ¹ , 白井貴之 ¹ , 上田貴志 ¹ , 中野明彦 ^{1,2} (東大・院・理・生物科学, ² 理研・基幹研・生体膜)	2pG02 光屈性シグナル伝達因子 RPT2 の phot1 による発現制御機構の解析 酒井達也 ¹ , 植田(間山)智子 ² , 上原由紀子 ² , 松井南 ² (新大院・自然科学, ² 理研・PSC)	2pH02 イネのマンガン・カドミウムトランスポーター 石丸泰寛 ^{1,2} , 高橋竜一 ¹ , バシルケウラム ¹ , シモウゴ ¹ , 瀬野浦武志 ¹ , 杉本和彦 ³ , 小野和子 ³ , 矢野昌裕 ³ , 石川寛 ⁴ , 中西啓仁 ¹ , 西澤直子 ^{1,5} (東大・農, ² 東北大・理, ³ 農生研, ⁴ 農環研, ⁵ 石川県立大・生)	次世代シーケンサーによる高速分子遺伝学会 (13:00-15:50)	植物生命がつむぎだす化学物質…その応用展開の可能性 (13:00-16:00)	持続的農業に向けた作物研究 肥料と汚染物質の問題 (13:00-16:00)	Functional role of the negative regulators in plants (13:00-16:00)	13:15
転写後制御								
2pE01 <i>xrn4</i> 変異は形質導入遺伝子依存的に内在遺伝子のサイレンシングを誘発する 林誠 ¹ , 難波千宮子 ¹ , 齊藤美幸 ¹ , 近藤真紀 ¹ , 竹田篤史 ² , 渡辺雄一郎 ² , 西村幹夫 ¹ (基生研・細胞生物, ² 東大院・総合文化)	2pF03 シロイヌナズナ RAB5 GEF, VPS9a による異なる RAB5 メンバー制御機構の解析 近田麻里子 ¹ , 郷達明 ¹ , 上田貴志 ¹ , 中野明彦 ^{1,2} (東京大・院理系・植物, ² 理研・基幹研・中野生体膜, ³ 神戸大・院理)	2pG03 オーキシン排出輸送体 PIN を介したシロイヌナズナ胚軸の光屈性 芳賀健, 酒井達也 (新潟大院・自然)	2pH03 低カドミウム形質を持つコシヒカリ変異体の特徴 (1) 農業形質・生理的解析 石川寛 ¹ , 井倉将人 ¹ , 安部匡 ¹ , 倉俣正人 ¹ , 石丸泰寛 ² , 中西啓仁 ² , 西澤直子 ^{2,4} (農環研, ² 東大院・農, ³ 東北大・院・理, ⁴ 石川県立大)					13:30
2pE02 イネ <i>OsMac1mRNA</i> の 5' 非翻訳領域による翻訳促進機構の解析 寺村浩 ¹ , 榎本裕介 ¹ , 佐々木忠将 ¹ , 島田浩章 ^{1,2} (東京理科大・生物工, ² 東京理科大・RNA 研究セ)	2pF04 植物における Rab11 コンパートメントの多様化とその機能に関する解析 浅岡遼 ¹ , 植村知博 ¹ , 井藤純 ^{2,3} , 藤本優 ¹ , 上田貴志 ¹ , 中野明彦 ^{1,2} (東大院・理・生物科学, ² 理研・基幹研, ³ 奈良先端大・バイオ)	2pG04 トウモロコシ幼葉鞘の光屈性における IAA 偏差分布の形成部位および、光受容後のシグナル伝達経路の検討 松田さとみ, 梶塚友美, 西村岳志, 門田明雄, 小柴共一 (首都大院・理工・生命科学)	2pH04 低カドミウム形質を持つコシヒカリ変異体の特徴 (2) 分子・遺伝的解析 中西啓仁 ¹ , 石丸泰寛 ² , シモウゴ ¹ , 瀬野浦武志 ¹ , 伊倉将人 ³ , 安部匡 ³ , 倉俣正人 ³ , 石川寛 ³ , 西澤直子 ^{1,4} (東大院・農学生命科学, ² 東北大・理, ³ 農環研, ⁴ 石川県立大・生物資源工学研究科)					13:45
2pE03 ポリ A 鎖除去酵素 AtCCR4 の生理的役割の解明 鈴木悠也 ¹ , Pamela J. Green ² , 山口淳二 ^{1,3} , 千葉由佳子 ^{1,4} (北大・院・生命, ² Delaware Biotech. Inst., Univ. Delaware, ³ 北大・理, ⁴ 北大・創成)	2pF05 TGN に局在する SYP4 (Qa-SNARE) グループが関与する高次機能の解析 植村知博 ¹ , 齊藤知恵子 ² , 海老根一生 ¹ , 上田貴志 ¹ , Paul Schulze-Lefert ¹ , 中野明彦 ^{1,2} (東大院・理, ² 理研・基幹研, ³ Max Planck Institute for Plant Breeding Research)	2pG05 シロイヌナズナ RRC1 蛋白質を介した新奇フィトクロム B シグナル伝達機構の解析 四方明格 ¹ , 柴田磨己 ¹ , 牛島智一 ¹ , 中嶋萌子 ¹ , 孔三根 ¹ , 松岡健 ¹ , Chentao Lin ² , 松下智直 ¹ (九州大・院・農, ² 九州大・院・理, ³ Dept. of Mol. Cell and Dev. Biol., UCLA.)	2pH05 転写因子 IDEF1 の新規鉄結合ドメインによる鉄栄養感知機構 小林高純 ^{1,2,3} , 板井玲子 ² , アウンメイサン ² , 瀬野浦武志 ² , 中西啓仁 ² , 西澤直子 ^{1,2} (石川県大・生物資源工学, ² 東大院・農, ³ 科学技術振興機構 さきがけ)					14:00
2pE04 Antisense RNAs are synthesized by RNA-dependent RNA polymerases under abiotic stress Akihiro Matsui ¹ , Kei Iida ² , Katsushi Yamaguchi ³ , Maho Tanaka ⁴ , Junko Ishida ¹ , Taeko Morosawa ¹ , Shuji Shigenobu ¹ , Kazuo Shinozaki ¹ , Tetsuro Toyoda ² , Motoaki Seki ^{1,5} (RIKEN PSC, Plant Genomic Network Research Team, ² RIKEN BASE, ³ NIBB Core Research Facilities, National Institute for Basic Biology, ⁴ RIKEN PSC, Gene Discovery Research Group, ⁵ Yokohama City University, Kihara Institute for Biological Research)	2pF06 SYP123 と相互作用する因子の探索—SH3P1 の局在解析 市川美恵 ¹ , 三好皓之 ¹ , 鐘尾啓太 ¹ , 深尾陽一郎 ² , 藤原正幸 ² , 佐藤雅彦 ² (京府大・生命環境, ² 奈良先端大・バイオ・植物グローバル)	2pG06 フィトクロム B による選択的スプレイング制御の解析 牛島智一 ¹ , 柴田磨己 ¹ , 四方明格 ¹ , 大川恭行 ² , 松岡健 ¹ , 久原智 ¹ , 松下智直 ¹ (九州大・院・農, ² 九州大・院・医)	2pH06 交雑起源種トウカイコマウセンゴケとその両親種における富栄養条件下での生育阻害要因について 兼松彌々子 ¹ , 後藤孝文 ¹ , 豊田歩 ² , 森島志依名 ¹ , 上野薫 ¹ , 小俣達男 ³ , 南基泰 ¹ , 愛知真木子 ¹ (中部大・応用生物, ² 中部大・院・応用生物, ³ 名古屋大・院・生命農学)					14:15
2pE05 シロイヌナズナ <i>CGSI</i> mRNA における複数のリボソームの停滞とその部分翻訳産物の解析 山下由衣 ¹ , 門倉壽知 ¹ , 尾之内均 ^{2,3} , 内藤哲 ^{1,2} (北大・院生命, ² 北大・院農, ³ JST, CREST)	2pF07 生体顕微鏡マルチスケールリングマップシステムを用いた小胞クラスタの分布と超微形態解析 豊岡公徳 ¹ , 若崎真由美 ¹ , 吉田拓弘 ¹ , 朽名夏磨 ² , 松岡健 ² , 永田典子 ² , 松岡健 ¹ , 櫻井哲也 ¹ , 持田恵一 ^{1,2} , 佐藤蘭子 ¹ (理研・植物センター, ² 東京大・院新領域, ³ 日本女子大・理, ⁴ 九大・院農, ⁵ 理研・バイオマス)	2pG07 フィトクロム B は非共有結合により取り込んだ発色団を用いてシグナルを伝達しうる 松下智直 ¹ , 岡義人 ² , 孔三根 ³ (九大・農, ² 理研・PSC, ³ 九大・理)	2pH07 リン酸欠乏に応答した根毛伸長における <i>PIP5K</i> の機能 和田悠貴香, 安田敬子, 植村知博, 青山卓史 (京大・化研)					14:30

🇬🇧 = 発表の言語は英語

● 第2日 3月17日(土) 午後(13:00-16:00)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
14:45	<p>2pA08 Quality control of Photosystem II: Singlet oxygen produced through lipid peroxidation damages the D1 protein of Photosystem II under light and heat stress Anna Fujiwara¹, Tiffanie Chan¹, Nobuyoshi Nijo¹, Miho Nishimura¹, Aya Imai¹, Yurika Shimizu¹, Noriko Morita¹, Yohei Izumi², Yoko Yamamoto², Naoki Mizusawa¹, Hajime Wada⁴, Yasusi Yamamoto¹, Pavel Pospisil³ (¹Grad. Sch. of Nat. Sci. and Tech., Okayama Univ., ²Inst. Plant Sci., Okayama Univ., ³Dept. Exp. Phys., Palacky Univ., ⁴Dept. of Life Sci., Univ. of Tokyo.)</p>	<p>2pB08 Direct Delivery of The Florigen Hd3a Protein into The Shoot Apex Haruhiko Washida¹, Hiroyuki Tsuji¹, Chojiro Kojima², Kenichiro Taoka¹, Ko Shimamoto¹ (¹Grad. Sch. Bio. Sci., NAIST, ²Inst. protein. Res., Osaka Univ.)</p>	<p>2pC08 ㊦ <i>Physcomitrella</i> <i>WOX</i> genes are necessary for the formation of stem cells from differentiated leaf cells Keiko Sakakibara^{1,5}, Tsuyoshi Aoyama^{2,3}, Sayuri Ando¹, Yoshikatsu Sato¹, Nagisa Sugimoto¹, Masumi Ohshima¹, Takashi Murata^{2,3}, Tomoaki Nishiyama^{1,4}, Mitsuyasu Hasebe^{1,2,3} (¹ERATO, Japan Science and Technology Agency, ²National Institute for Basic Biology, ³School of Life Science, The Graduate University for Advanced Studies, ⁴Advanced Science Research Center, Kanazawa University, ⁵Biological Science, Hiroshima University)</p>	<p>2pD08 共発現ネットワーク解析によるイネ細胞壁形成に関わる因子の網羅的解析 (III) 平野恒¹, 安益公一郎¹, 近藤満理¹, 永松志郎¹, 奥野綾子¹, 佐藤豊², アントニオ B.A.², 並木信和², 宮尾安藝雄², 長村吉見², 松岡信¹ (¹名大・生物機能研究センター, ²農業生物資源研究所・ゲノムリソースユニット)</p>
15:00	<p>2pA09 光化学系IIの光阻害に対する抗酸化物質の役割 井上修平¹, Jens Appel², 高市真一³, 村田紀夫⁴, 西山佳孝¹ (埼玉大院・理工, ²Univ. Kiel, ³日本医大・生物, ⁴基生研)</p>	<p>2pB09 ミトコンドリア・レトログレード・シグナルによる花成関連遺伝子の発現制御 加藤啓介, 嶋田早苗, 村井耕二 (福井県大・生物資源)</p>	<p>2pC09 向背軸に沿った<i>PHB</i>と<i>FIL</i>の動的な発現制御には葉緑体ゲノムの遺伝子が関与する 為重才寛^{1,2}, 近藤真紀¹, 渡辺恵郎², 豊倉浩一^{1,2}, 立松圭¹, 榎本竜二², 西村幹夫¹, 岡田清孝¹ (¹基生研, ²京大・院・理)</p>	<p>2pD09 イネの<i>brown-midrib</i> mutantの解析 小柴太一¹, 村上真也¹, 向井まい¹, 服部武文¹, 宮尾安藝雄², 廣近洋彦², 鈴木史朗¹, 坂本正弘³, 梅澤俊明^{1,4} (¹京大生存研, ²農業生物資源研究所, ³京大院農, ⁴京大生存基盤)</p>
15:15	<p>2pA10 タンパク質合成系の改変による光化学系IIの強光耐性の向上 西山佳孝, 江島加余子 (埼玉大院・理工)</p>	<p>2pB10 リンドウの開花に関与する<i>FT/TFL1</i> 遺伝子群の機能解析 今村智弘, 中塚貴司, 樋口敦美, 西原昌宏, 高橋秀行 (岩手生工研)</p>	<p>2pC10 葉の向背軸パターン形成における<i>WOX</i> 遺伝子の役割 中田未友希^{1,2}, 松本任孝², 榎本竜二², Enno Rikirsch³, Thomas Laux³, 岡田清孝¹ (¹基生研, ²京大院・理, ³Univ. of Freiburg)</p>	<p>2pD10 細胞壁グルコマンナン合成における<i>KONJAC1.2</i>の役割 小竹敏久¹, Jenny Mortimer², 田島憲明¹, 宮崎祐一¹, Yu X-L lan², Paul Dupree², 円谷陽一¹ (¹埼玉大・理工, ²ケンブリッジ大・生化)</p>
15:30	<p>2pA11 PSII-電子伝達阻害剤複合体の結晶構造 硯智史¹, 川上恵典², 田代隆慶¹, 梅名泰史², 沈建仁³, 神谷信夫² (¹大阪市大院・理, ²大阪市大・複合先端研, ³岡山大院・自然科学)</p>	<p>2pB11 キクの<i>FT/Hd3a</i> 様遺伝子<i>CsFTL3</i>は花序分裂組織の分化と花器官の分化・発達を段階的に制御する 小田篤¹, 鳴海貴子², 樋口洋平¹, 住友克彦¹, 深井誠一², 久松完¹ (¹農研機構花き研, ²香川大・院・農)</p>	<p>2pC11 維管束形成に関わる<i>VASCULAR HYPERPLASIA</i> 遺伝子の解析 榎本竜二¹, 石橋桂¹, 寺田志徳¹, 岡田清孝² (¹京大院・理・植物, ²基生研・発生生物)</p>	<p>2pD11 シロイヌナズナにおけるホウ素欠乏初期応答の解析 大岩優貴, 北山香保理, 小柴太一, 小林優, 間藤徹 (京大院・農)</p>
15:45	<p>2pA12 光化学系II・PsbM欠損変異体の2.0Å分解能のX線結晶構造解析 宇藤沙也加¹, 川上恵典², 梅名泰史², 岩井雅子³, 池内昌彦⁴, 沈建仁⁵, 神谷信夫^{1,2} (¹阪市大院・理, ²阪市大複合先端研, ³東工大・バイオセンター, ⁴東大院総合文化, ⁵岡大院自然科学)</p>	<p>2pB12 キクの光周性花成における日長認識モデルの推定 樋口洋平, 小田篤, 住友克彦, 久松完 (農研機構・花き研)</p>	<p>2pC12 シロイヌナズナ<i>Do5.8</i>は転写抑制因子として働いて葉の高次維管束形成を抑制する 小西美穂子^{1,2}, 柳澤修一¹ (¹東大・生物生産工学研究センター, ²学術振興会特別研究員)</p>	<p>2pD12 Observation of plant intracellular structures by the variable incidence angle fluorescence microscopy. Shin-ichi Arimura¹, Kenta Katayama¹, Masaru Fujimoto², Nobuhiro Tsutsumi² (¹Grad. Sch. of Agr. & Life Sci., Univ. of Tokyo, ²Grad. Sch. of Sci. Univ. of Tokyo)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>2pE06 シロイヌナズナ細胞抽出液を用いたシロイヌナズナのシスタチオンンγ-シンターゼmRNAの分解中間体の解析 室田勝功¹, 藤田(萩原)優香¹, 藤田圭介², 尾之内均^{1,4}, 石川雅之³, 内藤哲¹ (1北大・農, 2北大・院先端生命, 3生物研・植微ユニット, 4JST, CREST)</p>	<p>2pF08 ㊦ Gravitropism of <i>Arabidopsis thaliana</i> roots requires the polarization of PIN2 toward the root tip in meristematic cortical cells Abidur Rahman¹, Maho Takahashi¹, Kyohei Shibasaki¹, Shuang Wu², Takehito Inaba³, Seiji Tsurumi⁴, Tobias Baskin⁵ (1Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University, Morioka, Iwate 020-8550, Japan, 2Biology Department, University of Massachusetts, Amherst, Massachusetts, 01003, USA, 3Interdisciplinary Research Organization, Faculty of Agriculture, University of Miyazaki, Miyazaki 889-2192, Japan, 4Center for Supports to Research and Education Activities Isotope Division, Kobe University, Nada, Kobe 657-8501, Japan)</p>	<p>2pG08 フィトクロムを介したイネ節間伸長制御機構の解析 岩本政雄¹, 清田誠一郎¹, 花田篤志², 山口信次郎², 高野誠¹ (1農業生物資源研究所, 2理研・植物科学研究センター)</p>	<p>2pH08 ヤマモガシ科植物 <i>Hakea laurina</i> の低リン耐性における酸性ホスファターゼホモログの役割 和崎達, 丸山隼人 (広島大院・生物園)</p>	シンポジウムS-13	シンポジウムS-14	シンポジウムS-15	シンポジウムS-16	14:45
<p>2pE07 低温ストレス応答に関連したmRNA分解制御 千葉由佳子^{1,4}, 峯田克彦², 平井優美², 鈴木悠也⁴, 高橋広夫², 尾之内均¹, 山口淳二^{4,6}, 内藤哲^{4,7} (1北大・創成, 2北大院・情報, 3理研・植物センター, 4北大院・生命, 5中部大・応用生物, 6北大院・理, 7北大院・農)</p>	<p>2pF09 ㊦ Characterisation of green fluorescent seed12, a vacuolar mis-sorting mutant of <i>Arabidopsis thaliana</i>. Ooi-kock Teh, Kentaro Tamura, Tomoo Shimada, Ikuko Hara-Nishimura (Dept. of Bot., Kyoto Univ.)</p>	<p>2pG09 苔類ゼニゴケは転写因子 PIF を介する赤色光シグナル伝達機構をもつ 井上佳祐¹, 石崎公庸¹, 岡義人², 河内孝之¹ (1京都大・院・生命科学, 2理研・植物科学研究センター)</p>	<p>2pH09 シロイヌナズナの根がリン酸増加に応答する機構 岡田和哉, 大西美輪, 七條千津子, 深城英弘, 三村徹郎 (神戸大院・理)</p>	次世代シーケンサーによる高速分子遺伝学会 (13:00-15:50)	植物生命がつむぎだす化学物質…その応用展開の可能性 (13:00-16:00)	持続的農業に向けた作物研究 肥料と汚染物質の問題 (13:00-16:00)	Functional role of the negative regulators in plants (13:00-16:00)	15:00
<p>2pE08 uORF にコードされるペプチドが関与する遺伝子発現制御機構 戸田智美¹, 渡部峻², 竹本まり子², 蝦名績², 遠洞弥生¹, 小山博彰², 瀬戸隆太¹, 高橋広夫¹, 高橋アツナ⁴, 内藤哲², 尾之内均^{2,5} (1北大・農, 2北大・院農, 3北大・院生命科学, 4中部大・応用生物, 5JST, CREST)</p>	<p>2pF10 液胞選別輸送因子 GFS9 は液胞の形態形成に必要である 市野琢爾¹, 富士健太郎¹, 青木考², 高橋英之², 河本恭子¹, 上田晴子¹, 田村謙太郎¹, 嶋田知生¹, 西村いくこ¹ (1京都大・院・理, 2大阪府大)</p>	<p>2pG10 シアノバクテリオクロムにおける色素のプロトン脱着を介した緑/赤色光変換 広瀬佑¹, Nathan C. Rockwell², Shelley S. Martin², 西山佳織², 成川礼¹, 宇梶裕¹, 猪股勝彦², Clark J. Lagarias², 池内昌彦² (1豊橋技術科大・EIRIS 研究所, 2カルフォルニア大・デイビス校, 3金沢大・院・自然, 4東京大・院・総合文化)</p>	<p>2pH10 シロイヌナズナ野生型系統を用いた Methyl viologen 耐性遺伝子の同定 藤田美紀¹, 井内聖², 山田晃嗣^{3,4}, 藤田泰成^{3,5}, 小林佑理子², 小林正智², 篠崎和子^{3,4}, 篠崎一雄¹ (1理研・PSC, 2理研・BRC, 3国際農研・生物資源利用, 4東大院・農学生命科学, 5筑波大院・生命環境)</p>					15:15
<p>2pE09 uORF がコードするペプチドにより発現が制御されるシロイヌナズナ遺伝子の探索 竹本まり子¹, 渡部峻², 蝦名績², 遠洞弥生³, 小山博彰², 瀬戸隆太², 戸田智美³, 高橋広夫², 高橋アツナ⁴, 内藤哲², 尾之内均^{2,5} (1北大・院農, 2北大・院生命科学, 3北大・農, 4中部大・応用生物, 5JST・CREST)</p>	<p>2pF11 MAIGO5 は COPII 小胞の出芽に関与する 高木純平¹, 高橋英之¹, 河本恭子¹, 田村謙太郎¹, 近藤真紀², 西村幹夫², 嶋田知生¹, 西村いくこ¹ (1京大院・理, 2基生研・細胞生物)</p>	<p>2pG11 青/シアン型シアノバクテリオクロム Thr1999 によるシグナリングへの SH 基の寄与 榎本元¹, 広瀬佑¹, 成川礼^{1,3}, 池内昌彦¹ (1東大・院・総合文化, 2豊橋技術科学大・エレクトロニクス先端融合研究所, 3JST さきがけ)</p>	<p>2pH11 シロイヌナズナにおける葉緑体 H₂O₂ を介した生物学的および非生物学的ストレス応答機構 野志昌弘¹, 丸田隆典², 田茂井政宏¹, 森田行哲³, 吉村和也⁴, 石川孝博², 重岡成¹ (1近畿大・農・バイオ, 2島根大・生資科・生命工, 3鳥取大・農・生資環, 4中部大・応生・食栄)</p>					15:30
<p>2pE10 アサガオの模様を生み出す small RNA の機能と制御 森田裕将^{1,2}, 星野敦¹, 飯田滋^{1,3} (1基生研, 2農研機構・花き研, 3静岡県大院・生活健康)</p>	<p>2pF12 シロイヌナズナの AP 複合体の機能解析 下野裕貴¹, 白川一¹, 深尾陽一郎², 嶋田知生¹, 西村いくこ¹ (1京大・院理, 2奈良先端大・バイオ・植物グローバル)</p>	<p>2pG12 光質が <i>Brassica rapa var. perviridis</i> (コマツナ) の光形態と水関連成分に与える影響 北崎一義, 庄子和博, 後藤文之, 橋田慎之介, 吉原利一 (電中研)</p>	<p>2pH12 チオレドキシンの酸化還元電位とフォールディングとの関係 佐藤貴紀¹, 森美沙子¹, 手島圭三¹, 長谷俊浩² (1広大院・生物園, 2阪大・蛋白質研)</p>					15:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月18日(日) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
	電子伝達・炭素代謝	種子形成, 休眠, 発芽	栄養器官の発生・分化3	細胞壁
9:00	3aA01 シロイヌナズナ <i>pgr5</i> 欠損株は Mehler Ascorbate Peroxidase-pathway の機能が抑制されている 高木大輔 ¹ , 牧野周 ² , 杉本敏男 ¹ , 三宅親弘 ¹ (¹ 神戸大・院・農, ² 東北大・院・農)	3aB01 海生種子植物アマモの種子発芽時に発現する遺伝子の探索 土橋昇平 ¹ , 宮田莉穂 ¹ , 板東由希子 ¹ , 高碩敏 ² , 塩田隆 ^{1,2} (¹ 横浜市立・院・生命ナノシステム科学, ² Eugentech Research Center)	3aC01 ヒメツリガネゴケ原糸体の発生過程における原形質連絡のサイズ排除限界の変化 北川宗典 ¹ , 寺内真 ² , 西山智明 ^{3,4} , 綾部美晴 ¹ , 本村泰三 ⁵ , 藤田知道 ⁶ (¹ Grad. Sch. of Life Sci., Hokkaido Univ., ² Grad. Sch. of Environm. Sci., Hokkaido Univ., ³ JST, ERATO, ⁴ ASRC, Kanazawa Univ., ⁵ Field. Sci. Ctr. for Northern Biosphere, Muroran Marine Stn., Hokkaido Univ., ⁶ Fac. of Sci., Hokkaido Univ.)	3aD01 GH12エンドグルカナーゼに対する植物の防御機構 中野友貴, 齋藤宏昌, 寺内良平, 竹田匠 (岩手生物工学研究センター)
9:15	3aA02 シロイヌナズナの低温順化における alternative electron flow の応答 宮島裕也, 高木大輔, 杉本敏男, 三宅親弘 (神戸大・農)	3aB02 HS3は発芽後の初期生長と貯蔵脂質合成に関与する 金井雅武, 林誠, 近藤真紀, 西村幹夫 (基生研・細胞生物)	3aC02 根毛をもたないシロイヌナズナ変異株 NR23の分子生理学的な特徴 田中奈月 ¹ , 加藤真理子 ¹ , 青山卓史 ² , 富岡利恵 ¹ , 前島正義 ¹ (¹ 名大院・生命農, ² 京大・化研)	3aD02 イネアポプラストにおけるイネいもち病菌由来細胞壁分解タンパク質およびイネ由来防御タンパク質の解析 高橋真智子 ^{1,2} , 齋藤宏昌 ¹ , 寺内良平 ¹ , 竹田匠 ¹ (¹ 岩手生物工学研究センター, ² 岩手大学)
		成長制御		
9:30	3aA03 Physiological functions of O ₂ -dependent alternative electron flow (AEF) in the Cyanobacterium <i>Synechocystis</i> sp. PCC6803 Ryosuke Hayashi ¹ , Satoko Shimizu ¹ , Hiroshi Yamamoto ² , Shimpei Aikawa ³ , Masahisa Hasunuma ³ , Seiji Akimoto ⁴ , Akihiko Kondo ³ , Chikahiro Miyake ¹ (¹ Fac. of Agri., Kobe Univ., ² Fac. of Sci., Kyoto Univ., ³ Fac. of Tech., Kobe Univ., ⁴ Fac. of Sci., Kobe Univ.)	3aB03 ㊦ CLE6 partly mediates growth promotion by gibberellin as systemic signal. Haniyeh Bidadri ¹ , Kimiyo Sage-Ono ² , Keita Matsuoka ³ , Jun Fukushima ⁴ , Masashi Asahina ⁵ , Shinjiro Yamaguchi ⁶ , Shinichiro Sawa ⁷ , Hiroo Fukuda ⁸ , Michiyuki Ono ⁹ , Shinobu Satoh ¹⁰ (¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ² Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ³ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ⁴ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ⁵ Department of Biosciences, Teikyo University, ⁶ Riken Plant Science Center, ⁷ Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University, ⁸ Graduate School of Science, The University of Tokyo, ⁹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ¹⁰ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)	3aC03 シロイヌナズナの表皮細胞分化に関わる R-like bHLH 転写因子の機能 富永るみ ¹ , 温水有夏 ¹ , 佐野良輔 ² , 和田拓治 ¹ (¹ 宮崎大・IR, ² かずさDNA研)	3aD03 イネアラビノキシランのフェルロイル化に関与する BAHD ファミリー遺伝子の機能 青原勉 ¹ , 川越靖 ² , Paul Dupree ³ , 古川純 ¹ , 岩井宏暁 ¹ , 佐藤忍 ¹ , 石井忠 ¹ (¹ 筑波大・生命環境, ² 農業生物資源研究所, ³ Biochem., Univ. Cambridge)
9:45	3aA04 RBCS センスイネにおける個体成長-低温, 低CO ₂ 環境での応答- 須藤恵美, 鈴木雄二, 牧野周 (東北大院・農)	3aB04 ㊦ New Regulatory Peptide that Controls Root Architecture in <i>Medicago truncatula</i> Nadiatul A. Mohd Radzman, Nijat Imin, Michael A. Djordjevic (Australian National University, Research School of Biology, Canberra ACT)	3aC04 メディエーター機能制御因子 <i>MAE2</i> はオーキシン依存的な側根形成を負に制御する 井藤純, 古谷将彦, 田坂昌生 (奈良先端大・バイオ)	3aD04 イネにおけるケイ素欠乏下での二次細胞壁合成の制御 山本剛史 ¹ , 古川純 ¹ , 中村敦子 ¹ , 岩井宏暁 ¹ , 石井忠 ¹ , 馬建鋒 ² , 横山隆亮 ³ , 西谷和彦 ³ , 佐藤忍 ¹ (¹ 筑波大・生命環境, ² 岡山大・植物研, ³ 東北大・院・生命科学)
10:00	3aA05 タバコ <i>rbcl</i> 遺伝子のポブラ <i>rbcl</i> 遺伝子への置換による hybrid Rubisco の形成 鈴木直紀 ¹ , 関谷卓生 ¹ , 表谷拓郎 ¹ , 鈴木雄二 ¹ , 山本宏 ² , 三宅親弘 ³ , 牧野周 ¹ (¹ 東北大院・農, ² 京大院・理, ³ 神戸大院・農)	3aB05 ㊦ Molecular mechanisms for plant epidermal cell-patterning Pawan Jewaria (Graduate school of science, Osaka university)	3aC05 The role of SHY2/IAA3-mediated auxin signaling in <i>Arabidopsis</i> lateral root formation Tatsuaki Goh ¹ , Hiroyuki Kasahara ² , Tetsuro Mimura ¹ , Yuji Kamiya ² , Hidehiro Fukaki ¹ (¹ Dept. of Biol., Grad. Sch. of Sci., Kobe Univ., ² PSC, RIKEN)	3aD05 ㊦ ポブラの二次壁キシログルカン は本部の壁に寄与する 海田るみ ¹ , 小幡谷英一 ² , 田邊純 ³ , 石栗太 ³ , 館野正樹 ⁴ , 谷口亨 ⁵ , 馬場啓一 ⁶ , 林隆久 ¹ (¹ 東京農大・バイオ, ² 筑波大・生命環境, ³ 宇都宮大・農, ⁴ 東大院・理, ⁵ 森総研・バイオ, ⁶ 京大・生存研)

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
転写後/ エピジェネティック制御、その他	輸送/生体膜	病虫害・傷害	乾燥・水分・浸透圧	シンポジウム17	シンポジウム18	シンポジウム19	シンポジウム20	
3aE01 Synchocystis sp. PCC 6803におけるcyAbrB転写因子破壊株の代謝解析 巖谷祐樹 ¹ , 山内優輝 ¹ , 宮城敦子 ² , 川合真紀 ^{1,2} , 内宮博文 ^{2,3} , 金子康子 ^{1,2} , 日原由香子 ^{1,2} (1)埼玉大・院・理工, (2)埼玉大・環境科学研究センター, (3)若手生工研)	3aF01 OsNramp3によるイネの選択的マンガン分配機構 山地直樹, 佐々木明正, 夏継星, 馬建鋒 (岡山大・植物研)	3aG01 ㊦ Convergence Mechanism between Calcium and Phosphorylation Signal via MPK8 in Mechanical Wounding Fuminori Takahashi ^{1,2} , Tsuyoshi Mizoguchi ³ , Richiro Yoshida ⁴ , Kazuya Ichimura ¹ , Kazuo Shinozaki ^{1,2} (1)RIKEN Plant Science Center, (2)RIKEN Biomass Engineering Program, (3)Tsukuba University, (4)Kagoshima University, (5)Kagawa University)	3aH01 シュガービートにおけるベタイン/プロリントランスポーターの基質特異性と組織特異的な発現 山田奈々 ¹ , Suriyan CHA-UM ² , 高倍昭洋 ³ (1)名城大院・総合学術, (2)NASDA・BIOTEC, (3)名城大・総合研)	シンポジウム17	シンポジウム18	シンポジウム19	シンポジウム20	9:00
3aE02 気孔特異的転写因子CDI6の機能解析 森脇宏介 ¹ , 林宜淳太郎 ¹ , 小西美穂子 ² , 柳澤修 ^{1,2} , 射場厚 ¹ (1)九大・院・理, (2)東大・生物生産工学研究センター)	3aF02 Spatial-Temporal Dynamics of Boron Transport and Regulation in Arabidopsis Roots: A Model Study Toru Fujiwara ^{1,2} , Stan Marée ³ , Veronica Grieneisen ³ (1)Univ. Tokyo, (2)CREST JST, (3)John Innes Centre)	3aG02 ㊦ Functional Analysis of bHLH Transcriptional Factors MYL1, 2 and 3 in Jasmonate Signaling Yuko Sasaki-Sekimoto ¹ , Hikaru Saito ² , Shinji Masuda ³ , Hiroyuki Ohta ⁴ , Ken Shirasu ¹ (1)RIKEN PSC, (2)Graduate school of Bioscience and Biotechnology, Tokyo Institute of Technology, (3)Center for Biological Resources and Informatics, Tokyo Institute of Technology)	3aH02 シロイヌナズナのVIP1は浸透圧応答経路に関与する 津釜大佑, 高野哲夫 (東大アジアセンター)	New technology for frontier research of plant environmental perception (9:00-11:45)	微細藻類による燃料生産: 実現への課題と生物学からの解決策 (9:00-12:00)	Open Questions on Rhythmic Response Systems in Plants (9:00-12:00)	Frontier research of plant cell differentiation (9:00-11:50)	9:15
3aE03 シロイヌナズナHsfA2の発現制御に関わるHsfA1dおよびHsfA1eの分子機構 野坂亮太 ¹ , 林秀樹 ¹ , 西澤(横井)彩子 ² , 丸田隆典 ³ , 池田美穂 ⁴ , 高木優 ⁴ , 藪田哲智 ⁵ , 重岡成 ^{1,2} (1)近畿大院・農・バイオ, (2)近畿大・農・バイオ, (3)島根大・生資科・生命工, (4)産総研・生物プロセス, (5)鳥取大・農・生資環)	3aF03 放射性同位体マグネシウム-28を用いたイネにおけるMg吸収様式の解析 田野井慶太郎 ^{1,2} , 齊藤貴之 ² , 岩田直子 ² , 小林奈通子 ² , 広瀬農 ² , 大前芳美 ² , 岩田鍊 ³ , 鈴木寿 ⁴ , 中西友子 ¹ (1)東大生七, (2)東大院・農, (3)東北大・CYRIC, (4)放医研)	3aG03 イネの根特異的ストレス応答RSOsPR10遺伝子のプロモーター解析 富永真規子 ¹ , 高尾翠 ¹ , 行田敦子 ¹ , 西村岳史 ¹ , 駒野照弥 ¹ , 寺川輝彦 ² , 岡本龍史 ¹ , 小柴共一 ¹ (1)首都大院・理工・生命科学, (2)北興化学工業(株))	3aH03 ABAを介した浸透圧ストレス応答におけるbZIP型転写因子ABF1の機能解析 吉田拓也 ¹ , 藤田泰成 ^{2,3} , 圓山恭之進 ² , 篠崎一雄 ⁴ , 篠崎和子 ^{1,2} (1)東大院・農学生命科学, (2)国際農研・生物資源利用, (3)筑波大院・生命環境科学, (4)理研・植物科学セ)					9:30
3aE04 Synchococcus elongates PCC7942のCO ₂ 応答に関わるCmpRによる遺伝子制御機構の解析 武田誠也, 原拓人, 西村崇史, 小保達勇 (名大・院・生命農)	3aF04 落葉性木本植物のリン酸分配・転流機構の解析 栗田悠子 ¹ , 馬場啓一 ² , 大西美輪 ¹ , 姉川彩 ¹ , 七條千津子 ¹ , 深城英弘 ¹ , 三村徹郎 ¹ (1)神戸大院・理・生物, (2)京大・生存研)	3aG04 キトサン処理時にヒメツリガネゴケ (Physcomitrella patens) で観察されるROS生成 伊藤健司 ¹ , 谷垣悠介 ¹ , Mikko Lehtonen ² , Jari Valkonen ² , 秋田求 ¹ (1)近畿大・生物理工, (2)Dept. Plant Biol., Univ. Helsinki)	3aH04 シロイヌナズナにおけるカリウムトランスポーターKUP6を介した浸透圧ストレス応答と成長制御 刑部祐里子 ^{1,2} , 桂彩吾 ² , 有永直子 ² , 長町啓太 ² , 田中秀典 ² , 山田晃嗣 ² , Seo Souk ² , 安保充 ² , 吉村悦郎 ² , 篠崎一雄 ¹ , 篠崎和子 ^{2,3} (1)理研・植物科学セ, (2)東大院・農学生命科学, (3)国際農研・生物資源)					9:45
3aE05 気孔開閉を制御して高濃度オゾンに耐性を付与する新規キメラリプレッサーの同定 永利友佳理 ¹ , 光田展隆 ¹ , 井上晋一郎 ² , 木下俊則 ² , 久保明弘 ³ , 佐治光 ³ , 高木優 ¹ (1)産総研・生物プロセス, (2)名古屋大学院・理学研究科, (3)国立環境研)	3aF05 RSX1 pectate lyase of Arabidopsis thaliana also affected symplastic connections in PPC-SE walls Zhongrui Duan ¹ , Toshiaki Ito ² , Keita Arakawa ² , Yuki Fujiki ¹ , Ikuo Nishida ¹ (1)Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, (2)Graduate School of Agriculture, Hokkaido University)	3aG05 ユキヤナギのアレロケミカルはオーキシン早期応答遺伝子群の発現を誘導する 和佐野直也 ¹ , 菅野真実 ¹ , 西川慶祐 ² , 奥田勝博 ² , 新藤光 ² , 安部洋 ³ , 朴昭英 ¹ , 加茂綱嗣 ¹ , 平館俊太郎 ¹ , 藤井義晴 ¹ (1)農環研, (2)九大, (3)理研)	3aH05 ダイズの環境ストレス応答に関するDREB2A相同遺伝子の機能解析 大堀鉄平 ¹ , 森脇崇 ¹ , 溝井順哉 ¹ , 城所聡 ¹ , 渡邊慶太郎 ¹ , 圓山恭之進 ² , 刑部祐里子 ^{1,3} , 篠崎一雄 ³ , 篠崎和子 ^{1,2} (1)東大院・農学生命科学, (2)国際農研・生物資源利用, (3)理研・植物科学セ)					10:00

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月18日(日) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場
10:15	<p>3aA06 窒素固定型シアノバクテリア <i>Anabaena</i> sp. PCC 7120における炭素・窒素代謝制御得平茂樹^{1,2}, 大森正之¹ (中央大・理工, 科学技術振興機構・さきがけ)</p>	<p>3aB06 内皮・篩部コミュニケーションによる花序形態制御 打田直行¹, Jin Suk Lee², Robin J. Horst², Hung-Hsueh Lai², 梶田良子³, 柿本辰男³, 田坂昌生¹, 鳥居啓子^{2,4,5} (NAIST, Univ. Washington, 大阪大, HHMI, JST・さきがけ)</p>	<p>3aC06 側根形成能が顕著に低下するシロイヌナズナ <i>fewer roots</i> 変異体のサブレッサ変異体の単離と解析 池上聡, 奥村謙一, 郷達明, 三村徹郎, 深城英弘 (神戸大・院・理・生物)</p>	<p>3aD06 放射性ヨウ素がキシログルカンに結合する証拠 林隆久¹, プラヨン ラティガーン¹, 板倉正晃¹, 馬場啓一², 庄司一成³, 海田るみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹ (東京農大・バイオ, 京大・生存研, 東京農大・アイントロブ)</p>
10:30	<p>3aA07 Pyruvate transporting system of the plastid-localized sodium-dependent pyruvate transporter Tsuyoshi Furumoto (Hiroshima Univ. Grad. Sch. of Science)</p>	<p>3aB07 MSG2/IAA19-luciferase fusion protein as a reporter for study on growth and tropic responses of Arabidopsis hypocotyl Kotaro Yamamoto¹, Hisayo Shimizu², Jun Matsuzaki¹, Takashi Okamoto¹, Soichiro Satoh¹, Masaaki Watahiki¹ (Fac. of Sci., Hokkaido Univ., Grad. School of Life Sci.)</p>	<p>3aC07 シロイヌナズナ根の放射パターン形成に関与する <i>RLF</i> 遺伝子の解析 半田華奈子, 郷達明, 三村徹郎, 深城英弘 (神戸大・院・理・生物)</p>	<p>3aD07 樹木におけるセシウムの吸収 安川知里¹, 青木翔子¹, 梅津光¹, 小林陽一¹, 高橋昌也¹, 野中美貴¹, 長谷川綾子¹, 森里美¹, 板倉正晃¹, 馬場啓一², 大林宏也³, 上原巖², 海田るみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹, 林隆久¹ (東京農大・バイオ, 京大・生存研, 東京農大・森林)</p>
10:45	<p>3aA08 Flaveria 属の C4 光合成進化過程における光化学系 I 循環型電子伝達系の発達プロセスの解明 中村有哉, 宗景(中島)ゆり, 岩野恵, 横田明穂 (奈良先端大・バイオ)</p>	<p>3aB08 オーキシン誘導性伸長生長における細胞膜プロトンポンプの活性制御 高橋宏二¹, 林謙一郎², 木下俊則¹ (名古屋大・院理・生命, 岡山理科大・理)</p>	<p>3aC08 根端メリステムの維持に異常を示すシロイヌナズナ <i>fa1</i> 変異体の解析 森本剛司¹, 前田貴史¹, 郷達明¹, 中島敬二², 三村徹郎¹, 小川健一^{3,4}, 深城英弘¹ (神戸大・院・理・生物, 奈良先端大・バイオ, 岡山生物研, JST, CREST)</p>	<p>3aD08 針葉樹・広葉樹における放射性セシウムの動態 青木翔子¹, 梅津光¹, 小林陽一¹, 高橋昌也¹, 野中美貴¹, 長谷川綾子¹, 森里美¹, 安川知里¹, 板倉正晃¹, 馬場啓一², 大林宏也³, 上原巖², 海田るみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹, 林隆久¹ (東京農大・バイオ, 東京農大・森林, 京大・生存研)</p>
11:00	<p>3aA09 Function Analysis of PetO protein in <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> Hiroko Takahashi¹, Jean Alric¹, Fabrice Rappaport¹, Stefan Schmollinger², Michael Schroda², Francis-André Wollman¹, Olivier Vallon¹ (UMR 7141, Institut de Biologie physico-Chimique, CNRS, Max-Planck-Institut für Molekulare Pflanzenphysiologie)</p>	<p>3aB09 気孔開口におけるブラシノステロイドの関与 岩下望己¹, 井上晋一郎², 高橋洋平², 大熊英治⁴, 後藤栄治³, 田畑亮平³, 村田芳行⁴, 土井道生³, 鳥崎研一郎^{1,3} (九大院・システム生命, 名古屋大院・理・生命理学, 九大院・理・生物科学, 岡大院・自然科学)</p>	<p>3aC09 ㊦ Identification of genes that regulate pericycle identity. Ye Zhang¹, Nobutaka Mitsuda², Takeshi Yoshizumi³, Yoichi Kondo³, Masaru Takagi², Minami Matsui³, Tatsuo Kakimoto¹ (Graduate School of Science, Osaka University, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Plant Science Center, RIKEN Yokohama Institute)</p>	<p>3aD09 キシログルカン分子量と細胞壁の伸長性における α-キシロシダーゼの役割 重山拓磨¹, 徳地小夏¹, 渡邊飛鳥¹, 新屋友規¹, 出崎能丈¹, 藤茂雄¹, 桜井直樹², 澁谷直人¹, 川上直人¹ (明大・農・生命科学, 広島大院・生物園科学)</p>
11:15	<p>3aA10 ㊦ Molecular diversity of the storage polysaccharide among the unicellular nitrogen-fixing cyanobacteria, Cyanospora sp. Eiji Suzuki (Fac. of Bioresource Sci., Akita Pref. Univ.)</p>	<p>3aB10 A JAZ-binding protein RSS3 regulates root cell elongation adaptive to environmental conditions in rice Yosuke Toda¹, Maiko Tanaka¹, Kyo Kurata¹, Daisuke Ogawa¹, Kenichi Kurotani¹, Yoshiaki Habu², Kiyomi Abe², Kazuhiko Sugimoto², Tsuyu Ando³, Akihiro Yano², Akio Miyao², Shin Takeda¹, Hirohiko Hirochika², Shin Takeda¹ (Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya University, National Institute of Agrobiological Sciences, Institute of Society for Techno-Innovation of Agriculture, Forestry and Fisheries)</p>	<p>3aC10 The DNA damage response gene <i>ATM</i> induces abnormal meristem phenotype in <i>fas1</i> Tetsuya Hisanaga^{1,2}, Hirokazu Tsukaya¹, Keiko Sugimoto² (Grad. Sch. of Sci., Univ. of Tokyo, RIKEN PSC)</p>	<p>3aD10 VND7による道管要素分化誘導系を用いたキシランキシロシルトランスフェラーゼの生化学的解析 深水祐一郎¹, 中野仁美¹, 山口雅利², 石水毅², 出村拓^{1,4} (奈良先端大・バイオ, 埼玉大・環境科学研究センター, 阪大院・理, 理研・BMEP)</p>
11:30	<p>3aA11 ㊦ Sucrose synthase activity in the sus1/sus2/sus3/sus4 Arabidopsis mutant is sufficient to support normal cellulose and starch production Eduar Baroja-Fernandez¹, Francisco Jose Munoz¹, Jun Li¹, Abdellatif Bahaji², Gozeder Almagro¹, Manuel Montero¹, Ed Etxeberria³, Maite Hidalgo¹, Maria Teresa Sesma¹, Javier Pozueta-Romero¹ (IdAB (CSIC/UPNA/GN), Iden Biotechnology S.L., University of Florida, IFAS, Citrus Research and Education Center)</p>	<p>3aB11 NimA-related Kinases Redundantly Regulate Cell Expansion and Stress Response in <i>Arabidopsis thaliana</i> Hiroyasu Motose¹, Tatsuya Ikeda¹, Yuichiro Takahashi¹, Tatsuya Sakai², Taku Takahashi¹ (Div. of Biosci., Grad. Sch. Natl. Sci. & Tech., Okayama Univ., Dep. of Biol., Grad. Sch. Sci. & Tech., Niigata Univ.)</p>	<p>3aC11 莖頂分裂組織の維持に必要なイネ <i>KNOX</i> 遺伝子の正の自己制御 津田勝利¹, 伊藤幸博², 佐藤豊³, 倉田のり¹ (遺伝研, 東北大・農, 名古屋大・農)</p>	<p>3aD11 VND-INTERACTING 2タンパク質の相互作用因子の探索 松田浩平¹, 山口雅利^{1,2}, 加藤晃¹, 出村拓^{1,3} (奈良先端科学技術大学院大学, 埼玉大学環境科学研究センター, 理化学研究所バイオマス工学研究プログラム)</p>
11:45	<p>3aA12 シヨ糖分配の変化が側根形成に関わるホルモン代謝に及ぼす影響 田茂井政宏, 大島久美, Daniel Padilla-Chacon, 重岡成 (近畿大・農・バイオ)</p>	<p>3aC12 根粒および莖頂メリステム形成に関与するミヤコガサ突然変異体の遺伝学的解析 寿崎拓哉^{1,2}, 川口正代司^{1,2} (基生研, 総研大)</p>	<p>3aC12 根粒および莖頂メリステム形成に関与するミヤコガサ突然変異体の遺伝学的解析 寿崎拓哉^{1,2}, 川口正代司^{1,2} (基生研, 総研大)</p>	

E会場	F会場	G会場	H会場	W会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>3aE06 緑藻 <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> における栄養欠乏条件下での脂質蓄積 岩井雅子, 下嶋美恵, 堀孝一, 太田啓之 (東工大・バイオセンター)</p>	<p>3aF06 Regulation Of Root Hydraulic Conductivity In Gramineous Plants Under Osmotic Stress Nobuya Tsuji, Maki Katsuhara, Mineo Sibasaka (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>	<p>3aG06 Defense response of resistance and susceptibility to pine wood nematode infection in Pinus thunbergii Tomonori Hirao¹, Eitaro Fukatsu², Atsushi Watanabe³ (Forest Bio, FFPRI, ²FTBC, FFPRI, ³FTBC, FFPRI)</p>	<p>3aH06 シロイヌナズナにおけるSnRK2プロテインキナーゼ相互作用因子の探索 最上惺郎^{1,2}, 藤田泰成^{1,3}, 城所聡², 月居住史^{1,2}, 中神弘史⁴, 野村有子⁴, 柳澤修一⁵, 石田哲也², 溝井順哉², 篠崎一雄⁴, 篠崎和子^{1,2} (国際農研・生物資源利用, ²東大院・農学生命科学, ³筑波大院・生命環境, ⁴理研・植物科学セ, ⁵東大・生セ)</p>	シンポジウム17	シンポジウム18	シンポジウム19	シンポジウム20	10:15
<p>3aE07 イネ生殖細胞特異的Argonauteタンパク質MEL1と結合するsmall RNAsの同定 小宮悦宏¹, 大柳一^{2,3}, 新濱充¹, 渡部聡朗¹, 筒井康博⁴, 米田弥生², 望月孝子⁵, 神沼英里⁶, 倉田のり⁷, 野々村賢一^{1,7} (遺伝研・実験圃場, ²遺伝研・植物遺伝, ³三菱・ソフト, ⁴エル大, ⁵東工大・分子生命, ⁶遺伝研・大量遺伝, ⁷総研大・生命科学)</p>	<p>3aF07 苔類ゼニゴケにおける細胞膜プロトンポンプの同定と活性化機構の解析 奥村将樹¹, 井上晋一郎¹, 高橋宏二¹, 石崎公康², 河内孝之², 木下俊則¹ (名古屋大・院理・生命理学, ²京都大・生命科学)</p>	<p>3aG07 タバコから単離した青枯病抑制物質の作用機構の解析 瀬尾茂美¹, 五味剣二², 安部洋³, 小林光智衣¹, 瀬戸秀泰², 一瀬勇規², 光原一朗¹, 大橋裕子¹ (農業生物資源研, 香川大学・農, ²理研バイオリソースセンター, ³農研機構・花き研, ⁴理研, ⁵岡山大・自然科学)</p>	<p>3aH07 巨大孔辺細胞をもつシロイヌナズナ突然変異株の単離および表現型解析 山本植子, 祢宜淳太郎, 渡邊優, 射場厚 (九大・院・理・生物)</p>	New technology for frontier research of plant environmental perception (9:00-11:45)	微細藻類による燃料生産・実現への課題と生物学からの解決策 (9:00-12:00)	Open Questions on Rhythmic Response Systems in Plants (9:00-11:50)	Frontier research of plant cell differentiation (9:00-11:50)	10:30
<p>3aE08 ヒメツリガネゴケの転写因子E2Fによるリプログラミング制御機構 石川雅樹^{1,2}, 西山智明^{1,3}, 倉田哲也^{1,4}, 日渡祐二^{2,5}, 久保裕^{1,2}, 長谷光宗^{1,2,5} (JST・ERATO, ²基生研・生物進化, ³金沢大・学際・ゲノム, ⁴奈良先端大・バイオ, ⁵総研大・生命科学)</p>	<p>3aF08 液胞膜プロトンポンプH⁺-PPase機能欠失株と過剰発現株の生理学的特性の解析 浅岡真理子¹, 瀬上紹嗣¹, 佐藤ちひろ¹, Ali Ferjani², 前島正義¹ (名古屋大・生命農, ²東京学芸大・教育生命)</p>	<p>3aG08 Search For <i>Oryza sativa</i> Proteins That Could Interact With CMV 2b Protein Hirotaaka Tajima^{1,2}, Takashi Shimizu¹, Atsunori Ninomiya², Yuta Saka¹, Toshiyuki Nagata^{1,2} (Institute for Sustainability Research and Education, Hosei University, ²Faculty of Bioscience and applied Chemistry, Hosei University)</p>	<p>3aH08 ㊦ ABC Transporter AtABC22 is a Novel Factor in the Stomatal Regulation Takashi Kuromori, Eriko Sugimoto, Kazuo Shinozaki (RIKEN PSC)</p>					10:45
<p>3aE09 DNAメチル化を制御するシロイヌナズナ19SプロテアソームサブユニットRPT2aの機能解析 佐古香織¹, 金井知行¹, 加藤絵里子¹, 藤原正幸², 深尾陽一朗², 山口淳二¹ (北大院・生命, ²奈良先端大・バイオ・植物グローバル)</p>	<p>3aF09 シロイヌナズナの高温ストレス応答に関する細胞膜型アクアポリン土平純子¹, 半場祐子², 前島正義¹ (名大院・生命農, ²京都工繊大)</p>	<p>3aG09 シロイヌナズナ-アザミウマ-トスボウイルスによる3者間相互作用に関する研究 安部洋¹, 富高保弘², 下田武志³, 瀬尾茂美¹, 櫻井民人³, 釘宮聡一⁵, 津田新哉¹, 小林正智¹ (理化学研究所バイオリソースセンター, ²中央農業総合研究センター, ³農業生物資源研究所, ⁴農業環境技術研究所, ⁵東北農業研究センター)</p>	<p>3aH09 ㊦ Comparative Analysis of Root Transcriptome Profiles of Two Pairs of Drought-tolerant and susceptible rice Near-isogenic lines under different Drought Stress Ali Mouslemi^{1,2}, Kouji Satoh¹, Hiroaki Kondoh¹, Takayuki Asano¹, Aeni Hosaka¹, Ramiah Venuprasad¹, Rachid Serraf¹, Arvind Kumar¹, Hei Leung², Shoshi Kikuchi¹ (Agrogenomics Research Center, NIAS, ²Rice Research Institute of IRAN, ³National Agricultural Research Center, ⁴Africa Rice Center, ⁵ICARDA, ⁶IRRI)</p>					11:00
<p>3aE10 シロイヌナズナAtXYP2の挙動に関する解析 小林裕樹¹, 本瀬宏康², 福田裕穂¹ (東大・院・理, ²岡山大・院・自然科学)</p>	<p>3aF10 シロイヌナズナの金属耐性に関わる新規の膜タンパク質 中西洋二, 佐古建志, 佐藤世理, 前島正義 (名大院・生命農)</p>	<p>3aG10 ナミハダニの共生微生物はリママメの間接防御に影響する 小澤理香¹, 植田浩一^{1,2}, 松田一彦², 後藤哲雄³, 高林純示¹ (京都市大・生恵研, ²近畿大・農, ³茨城大・農)</p>	<p>3aH10 ㊦ Regulation of epidermal cell proliferation under stress condition. Archana Kumari (Graduate School of Science, Osaka University)</p>					11:15
<p>3aE11 植物代謝システムの特徴を明らかにするための方法論の構築 Kansuporn Sriyudthsak^{1,2}, 澤田有司¹, 山下由衣³, 千葉由佳子⁴, 尾之内均^{2,5}, 内藤哲^{3,5}, 白石文秀⁶, 平井優美^{1,2} (理研PSC, ²JST, CREST, ³北大院・生命, ⁴北大・創成, ⁵北大院・農, ⁶九大院・農)</p>	<p>3aF11 液胞膜バルブ構造の動態と生理的役割の解析 瀬上紹嗣, 牧野沙知, 三宅愛, 浅岡真理子, 前島正義 (名古屋大・生命農)</p>	<p>3aG11 みどりの香り化合物に曝露されたトマトのジャスモン酸非依存的なハスモンヨトウ防衛誘導 杉本真一^{1,2}, 松井健二¹, 小澤理香², 今西俊介³, 秋武翔太¹, 岡田憲典⁴, 山根久和¹, 矢崎一史⁵, 高林純示² (山口大・医学系, ²京都大・生恵セ, ³農研機構・野茶研, ⁴東京大・生工セ, ⁵京都大・生存研)</p>	<p>3aH11 光による水分屈性発現調節機構の解析 森脇哲平, 宮沢豊, 藤井伸治, 高橋秀幸 (東北大・院・生命科学)</p>					11:30
<p>3aE12 酵母細胞を利用したシロイヌナズナのMCA1とMCA2の低浸透圧応答性の研究 中野正貴^{1,2}, 飯田和子³, 丹生谷博⁴, 飯田秀利¹ (東京学芸大・教育・生命科学, ²東京農工大・連合農学, ³都医学研・細胞膜, ⁴東京農工大・遺伝子実験施設)</p>	<p>3aF12 酵母細胞を利用したシロイヌナズナのMCA1とMCA2の低浸透圧応答性の研究 中野正貴^{1,2}, 飯田和子³, 丹生谷博⁴, 飯田秀利¹ (東京学芸大・教育・生命科学, ²東京農工大・連合農学, ³都医学研・細胞膜, ⁴東京農工大・遺伝子実験施設)</p>		<p>3aH12 環境ストレス耐性に関与するペプチドの探索 中南健太郎¹, 岡本昌憲¹, 樋口美栄子², 吉積毅², 清水みなみ³, 大橋千広³, 田中真帆¹, 松井南², 篠崎一雄², 関原明⁴, 花田耕介³ (理研PSC・植物ゲノム発見, ²理研PSC・植物ゲノム機能, ³理研PSC・機能開発, ⁴横浜市大・木原生研)</p>					11:45

㊦ = 発表の言語は英語

一般講演（ポスター）プログラム

第53回日本植物生理学会年会 座長リスト

第1日 3月16日(金) 午前

1aA 光合成色素／光捕集 遠藤 剛
田中 亮一
小林 正美

1aB 植物ホルモン・成長調節物質1 鈴木 馨
平山 隆志
中野 雄司

1aC 生殖器官の発生・分化／栄養器官の発生・分化1
金岡 雅浩
篠原 秀文
賀屋 秀隆

1aD 細胞骨格／オルガネラ 村田 隆
富永 基樹
朽名 夏磨

1aE 糖質・脂質
二次代謝 川合 真紀
下嶋 美恵
水谷 正治

1aF メタボロミクス・技術開発 草野 都
光田 展隆
松田 史生

1aG 共生・免疫 吉岡 博文
小八重 善裕
河野 洋治

1aH 重力・温度 三屋 史朗
今井 亮三
森田(寺尾) 美代

第1日 3月16日(金) 午後

1pA 光合成・呼吸の環境応答 鈴木 雄二
野口 航
増田 真二

1pB 植物ホルモン・成長調節物質2 嶋田 幸久
綿引 雅昭
笠原 博幸

1pC 老化・細胞死、その他
胚発生、細胞分化 横山 隆亮
相田 光宏
伊藤(大橋) 恭子

1pD オルガネラ 真野 昌二
奥田 賢治
稲葉 丈人

1pE タンパク質修飾／分解・酵素 柘植 知彦
柳川 由紀
佐々木 伸大

1pF オミックス・バイオインフォマティクス 福島 敦史
山本 義治
尾形 善之

1pG 共生・UV・光受容体 日出間 純
七條 千津子
川口 正代司

1pH 免疫 渋谷 直人
上中 弘典
蔡 晃植

第2日 3月17日(土) 午前

2aA 光合成・呼吸の環境応答／新技術 土屋 徹
松田 祐介
平井 優美

2aB 遺伝・生殖
光周性・リズム・時計 岡本 龍史
木下 哲
遠藤 求

2aC 窒素代謝 田茂井 政宏
早川 俊彦
藤田 祐一

2aD オルガネラ 華岡 光正
石田 宏幸
楠見 健介

2aE 遺伝子発現・代謝・輸送(英語) 山崎 朋人
明石 欣也
後藤 デレック

2aF 情報伝達 佐古 香織
朽津 和幸
吉川 博文

2aG 光受容体 岡島 公司
武宮 淳史
木下 俊則

2aH イオン・塩・金属

太治 輝昭
吉田 久美
山地 直樹

第2日 3月17日(土) 午後

2pA 光化学系

西山 佳孝
伊福 健太郎
成川 礼

2pB 花成

阿部 光知
田岡 健一郎
村井 耕二

2pC 栄養器官の発生・分化2

立松 圭
小島 晶子
堀口 吾朗

2pD 細胞周期・分裂／細胞壁

伊藤 正樹
本橋 令子
小竹 敬久

2pE 転写後制御

玉田 洋介
松井 章浩
尾之内 均

2pF 小胞輸送

佐藤 雅彦
植村 知博
豊岡 公徳

2pG 光受容体

松下 智直
孔 三根
酒井 達也

2pH イオン・金属・レドックス・酸化

愛知 真木子
吉村 和也
中西 啓仁

第3日 3月18日(日) 午前

3aA 電子伝達・炭素代謝

三宅 親弘
津山 孝人
宗景(中島) ゆり

3aB 種子形成、休眠、発芽
成長制御

林 誠
本瀬 宏康
打田 直行

3aC 栄養器官の発生・分化3

深城 英弘
富永 るみ
壽崎 拓哉

3aD 細胞壁

林 隆久
岩井 宏暁
米田 新

3aE 転写後／エピジェネティック制御、その他

日原 由香子
高木 優
倉田 哲也

3aF 輸送／生体膜

前島 正義
田野井 慶太郎
石崎 公庸

3aG 病虫害・傷害

渡辺 敦史
瀬尾 茂美
市村 和也

3aH 乾燥・水分・浸透圧

黒森 崇
菊池 尚志
城所 聡